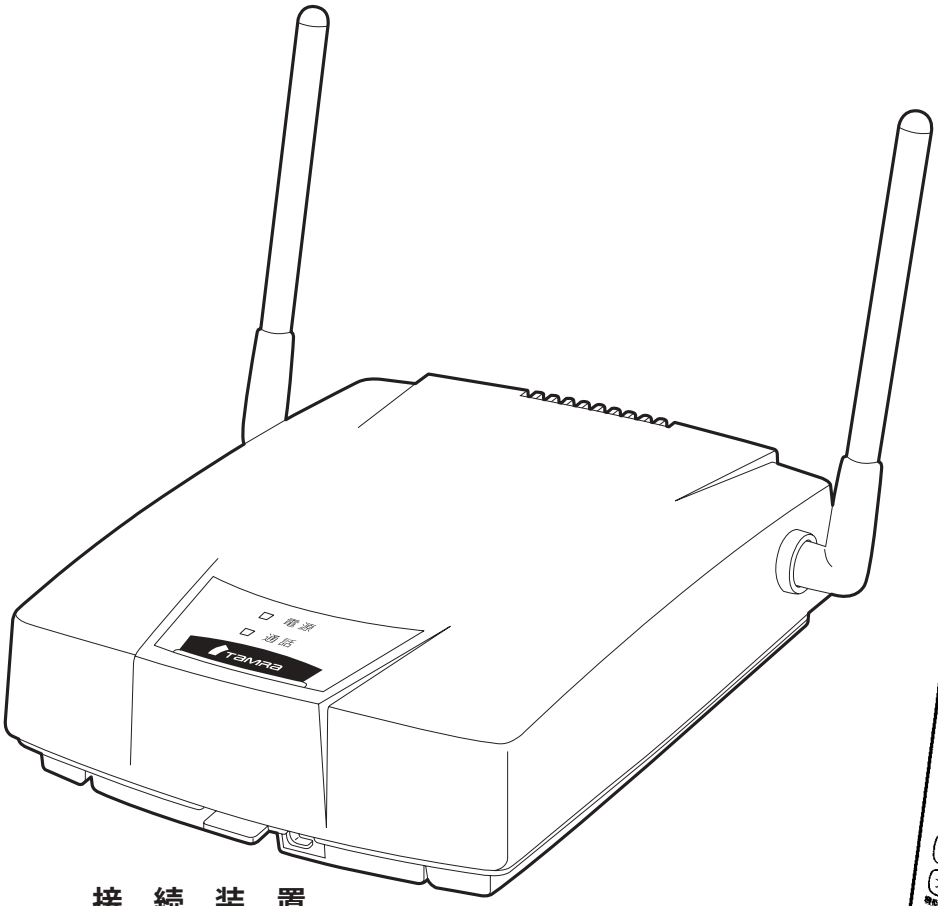
取扱説明書

デジタルコードレス電話機

DC200電話機

技術基準適合認定品

TAMRA



接続装置

デジタルコードレス電話機

このたびは、DC200電話機をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときにお読みください。

DC200電話機をご使用になる、お客様のニーズに合わせて、2種類のシステム構成がありますので、この取扱説明書を利用し正しくお使いください。

	MT100se/sx	MT200se/sx
適用回線	デジタル回線 （INSネット64） アナログ回線	デジタル回線 （INSネット64） アナログ回線
外線収容数 （最大）	デジタル：2 アナログ：2 最大４ポートまで収容できます。	デジタル：6 アナログ：4 最大12ポートまで収容できます。
DC200電話機数	最大７台	最大８台

目　次

準　備　編

お使いになる前に

主な特長…… 1
安全にお使いいただくために…… 2
セットの確認…… 11

各部の名称とはたらき

DC200電話機 …… 12
　接続装置…… 12
　デジタルコードレス電話機…… 13
　充電器…… 15
　表示部…… 16

デジタルコードレス電話機をお使いになる前に

電池パックを取り付ける…… 17
充電する…… 18
電源を入れる…… 19
外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける…… 21

各種音量の調整

着信音量／受話音量…… 22

基　本　編

電話をかける（発信）

電話番号を押してから電話をかける
　［プリセットダイヤル］…… 23
未使用外線を自動的につかむ［自動選局発信］… 24
再度かけ直す［リダイヤル］…… 24
　続けて電話をかける…… 25
電話帳ボタンの登録…… 26
短縮ダイヤル、電話帳の登録方法…… 27
電話帳発信…… 30
短縮発信…… 31
短縮簡易検索発信…… 32
短縮ダイヤルの確認／消去／変更…… 33
着信記録からの短縮ダイヤル登録…… 35
ワンタッチ登録…… 37
ワンタッチで発信／確認／消去／変更…… 39
発信記録から発信…… 40
発信記録の消去…… 41
発信記録の個別消去…… 42
着信記録から発信…… 43
着信記録の個別消去…… 44
名前を確認してから電話をかける
　［メモリダイヤル］…… 45

電話を受ける（着信）

電話がかかってきたら発信／応答ボタンを押す
　［自動選局応答］…… 48
電話がかかってきたら外線ボタンを押す
　［任意外線応答］…… 48

保留・転送

保留…… 49
内線通話後に外線を転送する［自動転送］…… 50
内線通話をしないで直接外線を転送する
　［強制転送］…… 51
内線相手に呼びかけて転送する［口頭転送］…… 52

内線通話

内線を信号音で呼び出す［信号音個別呼出］…… 53
内線代理応答…… 54
一斉呼出・電話機グループ呼出…… 54

応　用　編

内線通話

内線名前表示…… 55
スライド着信…… 56
内線独占保留…… 56
内線システム保留…… 57
内線保留転送…… 57
不在設定…… 58
不在転送…… 59
コールウェイティング…… 59
内線リコール…… 60
リセットコール…… 60

端末機能の設定方法

キーロックの設定…… 61
機能モードの使い方…… 61
　機能項目一覧表…… 62
　文字入力表…… 63
自営発信モードの設定…… 64
パスワードロックの設定・解除…… 65
カレンダー時刻の設定…… 66
アラームの設定…… 67
バイブレータ（振動着信）の設定…… 68
着信音種の選択…… 69
リレー着信モードの設定…… 70
キータッチトーンの設定…… 71
Ｆキーモードの設定…… 72
ワンタッチダイヤルの設定…… 73
パスワードの設定…… 74
ＬＣＤコントラストの設定…… 75
圏外警告音の設定…… 75
全設定初期化…… 76

その他の便利な機能

ダイヤル回線で相手応答後プッシュに切り替わる
　［自動ＰＢ切替］…… 77
キャッチホンサービスなどを受ける
　［フラッシュ機能］…… 78
チェーンダイヤル…… 78
外線会議通話…… 79
内線会議通話…… 80
外線会議転送…… 80
ネスティングダイヤル…… 81
指定外線捕捉…… 81
コールピックアップ…… 81
外線通話割込…… 82
送話ミュート付き外線通話割込…… 82
Ｆランプのリセット…… 83
送話ミュート…… 83
外線着信鳴動拒否…… 83
通話時間表示…… 84
通話料金表示…… 84
夜間モード切替…… 85
通話料金集計、システム／テナント…… 87
通話料金集計、外線／電話機…… 88
通話料金集計の消去、システム／テナント…… 89
通話料金集計の消去、外線／電話機…… 90
話中設定…… 91

オプション編

ドアホン

ドアホンからの呼び出しで通話する
　［ドアホン通話］…… 93
ドアホンのまわりをモニタする
　［ドアホンモニタ］…… 94

テレビドアホン

テレビドアホンからの呼び出しで通話する
　［テレビドアホン通話］…… 95
テレビドアホンのまわりをモニタする
　［テレビドアホンモニタ］…… 95

ファクシミリ（ＦＡＸ）

ＦＡＸへ転送する…… 96

外線転送機能

外線転送について…… 97
転送先電話番号の登録…… 98
転送先電話番号の確認／変更／消去…… 99
外線自動転送セット／変更…… 100
外線自動転送解除…… 101
外線自動転送の時刻登録…… 102
外線自動転送の時刻確認／解除…… 103
一次応答付き外線自動転送…… 104
外線手動転送…… 105
外線転送コールバック…… 106

その他のオプション

ドアロック解除…… 107
ページング（構内放送）機能…… 107
お待たせメッセージ応答［手動応答のしかた］… 108

ISDN（INSネット64）編

INSネット64 …… 109
サブアドレス通知…… 109
迷惑電話おことわり（いたずら電話防止）…… 110
INSボイスワープ …… 112
　INSボイスワープの設定 …… 113
INSナンバーディスプレイ …… 117

参　考　編

停電について…… 118
故障かな？とお考えになる前に…… 118
主な仕様…… 120

［索引］…… 121

主な特長

1．通話品質が良く、盗聴されにくい

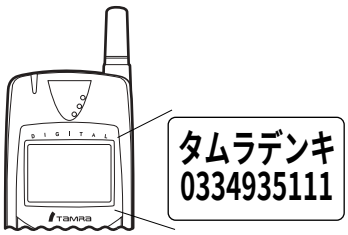
信号の送受信がデジタル方式なので、アナログ方式のコードレス電話機と比べ通話品質が良く、盗聴されにくくなっています。

2．振動（バイブレータ）で着信を知らせる

音に気をつかう場所でも、着信音を鳴らさずに振動（バイブレータ）で着信を知らせます。

3．メモリダイヤル機能

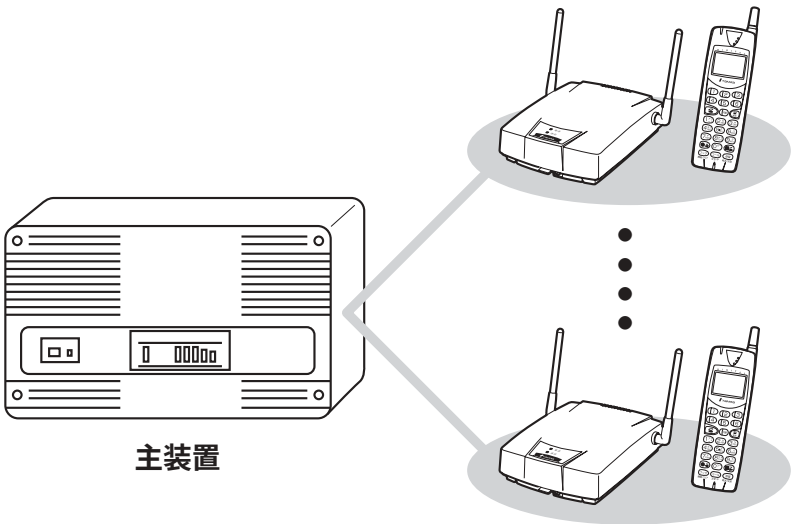
300件までの名前と電話番号が登録でき、簡単に電話がかけられます。



4．アラーム機能

２種類のアラーム機能により、タイムマネジメントに有効です。

5．MT100se/sxは１システム７台まで、MT200se/sxは１システム８台まで、接続できます。



安全にお使いいただくために 必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を表しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書は大切に保存し、必要なときにお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 危 険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表しています。
⚠ 警 告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡また重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を表しています。

■ 次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容を表しています。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

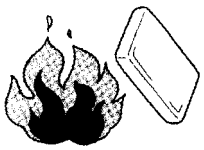
この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧や電話交換方式の異なる海外では使用できません。
本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、発信や通話などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社はいっさいの責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
本製品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。
本製品を分解したり改造することは、法律で禁止されていますので絶対に行なわないでください。
必ずこの取扱説明書をよく読み、理解したうえでお使いください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックは、誤った取り扱いをすると、爆発、発熱、破裂、液漏れ、発火の恐れがあります。
必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

⚠危険

加熱しないで下さい



絶対に火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。
液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

火のそば、ストーブのそばや炎天下など高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。発熱、発火の原因となります。

指定以外の機器に使用しないでください

指定の電話機以外の機器には使用しないでください。

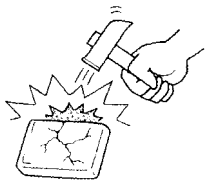
充電には、必ず専用の充電器を使用してください。

接続や短絡を避けてください

充電端子(⊕⊖端子)を逆にして使用しないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。

充電端子(⊕⊖端子)を針金などの金属類で接続したり、接触したりしないでください。また、
金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、
保管しないでください。
火災・けが・故障の原因となります。

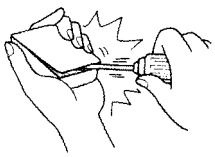
衝撃を与えないでください



針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、
投げつけたりしないでください。

分解・改造しないでください

直接ハンダ付けしないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となります。



コードを引き抜いたり、
分解や改造は絶対しないでください。

電池パックを直接、電源コンセントに接続しないでください。発熱、破裂の原因となります。

万一、電池パック内部の液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

引火、爆発の恐れのある場所へ持ち込まないでください。

電池パックをデジタルコードレス電話機に取り付けるときには、電池コネクタの方向を確認してから正しく接続してください。

⚠警告

液漏れしたり、変色、変形、その他今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。

不要になった電池パックを一般ゴミと一緒に捨てないでください。

不要になった電池パックは個別回収に出されるか、販売店などにお引き渡しください。
所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを電子レンジや高圧容器に入れると、発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

万一、電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがあります。直ちにきれいな水で洗い流してください。

液漏れしたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
漏れた電解液に引火し発火、破裂の原因となります。

⚠注意

電池パックの動作温度範囲は、０～40℃です。この範囲外で使用すると、液漏れ、発熱、機能低下、寿命低下の原因となります。

お買い上げ後、初めて使用の際にサビや発熱、その他異常があると思われたときは、使用しないで販売店などにお引き渡しください。

電池パックは子供の手の届くところへ置かないでください。

子供が使用する場合、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示のとおり使用しているかをご注意ください。

電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。
また、使用する際にも、乳幼児が電池パックをデジタルコードレス電話機から取り外さないように注意してください。

水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
発熱やサビの原因となります。

デジタルコードレス電話機の取り扱いについて

本電話機は、誤った取り扱いをすると、火災・感電・やけど・故障・性能や寿命の劣化の原因となります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

⚠警告

引火・爆発

⃠ 引火・爆発の恐れがある場所での使用および充電はしないでください。本電話機は防爆型ではありません。プロパンガス、ガソリン、引火性ガスなどの発生するような場所では、絶対に使用および充電しないでください。本電話機の電源を必ず切ってください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しないでください

⃠ 電子機器が誤作動したりするなどの影響を与える可能性があります。
ご注意いただきたい電子機器の例：補聴器、ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認ください。

歩行中に使用しないでください

⃠ 安全のため歩行中の使用はおやめください。転倒などの原因となります。

湿気、水気を避けてください

⃠ そばに花瓶、コップ、化粧品、薬品や液体の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

⃠ ぬれた手で電池パックを交換しないでください。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

⃠ 液体をかけたり、液の中につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

⃠ ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。

❗ 万一、内部に水などが入った場合は、直ちに電源を切り、販売店などへご連絡ください。

衝撃を与えないでください

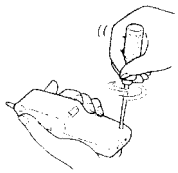
⃠ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。故障の原因となります。

雷に注意

❗ 野外で使用していて雷が鳴り出したら、使用を中止し直ちに安全な場所に避難してください。

専用の電池パックおよび充電器を使用してください

修理依頼は販売店などへご連絡ください



分離・改造し、内部に触れないでください。指定部分以外の点検・調整・清掃・修理は販売店などへご連絡ください。
また、無線機の分離・改造は法律で禁じられています。

万一、煙が出たり、異臭がした場合は、直ちに充電をやめ、ACアダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して販売店などへご連絡ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一、本電話機などを落としたり、ケースを破損した場合は、直ちに充電器のACアダプタを電源コンセントから抜いて、販売店などへご連絡ください。

⚠ 注意

高温に注意

窓を閉め切った自動車の中、直射日光の当たるところなど温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

熱器具に近づけないでください。機器自体が溶けることがあります。

油飛び・湿気・ほこりを避けてください

調理台のそばなど油飛びする場所や湿気の多い場所、ほこりの多い場所に置かないでください。故障の原因となります。

けがに注意

本電話機のアンテナの先端が目にささらないようにご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
また、本製品の上に重い物を置かないでください。

本製品の上に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。けがや故障の原因となることがあります。

アンテナを持たないでください。雑音が増えたり、故障の原因となります。

充電器（ＡＣアダプタも含む）の取り扱いについて

充電器は誤った取り扱いをすると、火災・感電・やけど・故障・断線・性能や寿命の劣化の原因となります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

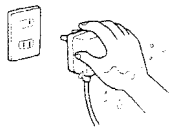
⚠警告

湿気・水気を避けてください

そばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や液体の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・けが・故障の原因となります。

充電器やACアダプタをぬれた手でさわらないでください。感電・故障の原因となります。

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。



ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。感電の恐れがあります。

充電端子に水滴がついたまま充電しないでください。火災・故障の原因となります。

万一、内部に水などが入った場合、直ちにＡＣアダプタを電源コンセントから抜いて、販売店などへご連絡ください。

電源電圧・電源コードについて

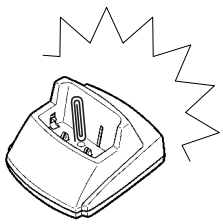
AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。

電源コードを束ねたり、ねじったり、重たい物を乗せないでください。火災や感電の原因になります。

ACアダプタは電源コンセントに確実に差し込んでください。

近くに雷が発生したときは、ACアダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によって火災・感電の原因となることがあります。

短絡を避けてください

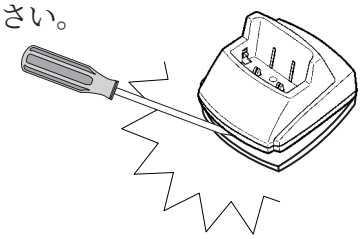


充電器の充電端子を指輪、ヘアピン、クリップなどの金属片で
絶対に接触させないでください。発熱・故障の原因となります。

充電器の内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、ＡＣアダプタを電源コンセントから抜いて販売店などにご連絡ください。

必ず指定の付属品を使用してください

ACアダプタは必ず付属品を使用し、それ以外は絶対に使用しないでください。



修理依頼は販売店などへご連絡ください

分解・改造し、内部に触れないでください。指定部分以外の
点検・調整・清掃・修理は、販売店などへご連絡ください。

万一、煙が出たり、異臭がした場合は、直ちに充電をやめ、ACアダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店などへご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、落としたり、ケースを破損した場合は、直ちに充電器のACアダプタを電源コンセントから抜いて、販売店などへご連絡ください。

引火、爆発の恐れがある場所での使用および充電は、しないでください。
例：プロパンガス、ガソリン、引火性ガスなどが発生する場所

⚠ 注意

高温に注意

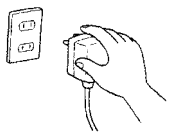
直射日光の当たることろや温度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

油飛び・湿気・ほこりを避けてください

調理台のそばなど油飛びする場所や湿気の多い場所、ほこりの多い場所に置かないでください。発火・感電・けが・故障の原因となります。

電源コードの扱いに注意



ACアダプタを抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災・感電・けがの原因となります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被膜が溶けて、火災・感電・けが・故障の原因となります。

けがに注意

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
また、製品の上に重い物を置かないでください。

製品の上に乗らないでください。特に小さいお子様がいるご家庭では、ご注意ください。けがの原因となることがあります。

乳幼児の手の届くところへは置かないでください。

長時間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタを電源コンセントから抜いてください。

お手入の際は安全のためＡＣアダプタを電源コンセントから抜いて行なってください。水滴がついたら乾いた布でふき取ってください。

STOP お願い

本電話機左側面のイヤホンマイクジャックと右側面の外部接続端子に取り付けられたゴムキャップを取り外さないでください。万一、このゴムキャップが、ちぎれるなどして破損したときは、販売店に修理を依頼してください。破損したゴムキャップはなくさずに、修理に出すまで取り付けておいてください。（ゴムキャップが無いまま、ぬれた手でお使いになると、故障や感電の原因となります）

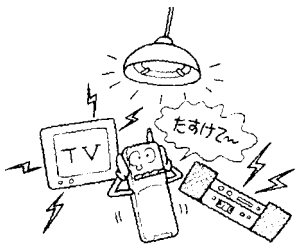
温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると、本電話機の寿命が短くなる場合があります。

いちじるしく温度が高くなるところ（40℃以上）や逆に極端に低くなるところ（０℃以下）では、お使いにならないでください。

鉄筋コンクリートやアルミ箔を使った断熱材でできた天井や壁で囲まれたところでお使いになると、電波が届きにくくなることがあります。

寒い戸外から急に暖かい室内に本電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、本電話機内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が生じたときは、電源を切って水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください。結露したままでお使いになると、故障の原因となります。

電気製品（パソコン、テレビ、ステレオ、冷蔵庫、電子レンジ、無線機、蛍光灯）の近くでお使いになると、電話がつながらないことや途中で切れることがあります。また逆に、本電話機からの電波がそれらの機器に影響を与えることがあります。

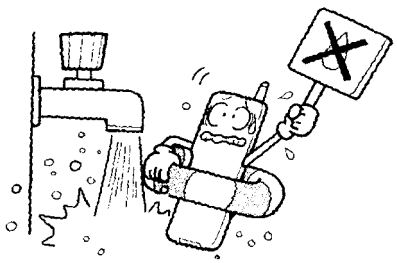


本電話機をお使いになるときは、必ず電波の状態を確認して、電波の良好な所で電話をおかけください。また、通話も電波の状態の良好なところで行なってください。

STOP お願い

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にしみこませ、かたく絞ってからふいてください。ベンジンやシンナーなどでふかないでください。変色や変形の原因なることがあります。

本電話機は防水仕様ではありませんので、以下の点について注意してください。



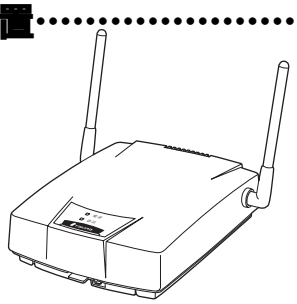
・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
・水道水などの流水に直接当てないでください。
・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
・ぬれたまま、０℃以下になる場所に放置しないでください。
・受話口や送話口の穴に水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください（音が小さくなることがあります）。
・デジタルコードレス電話機の充電端子に水滴が付いたままで、充電器に置かないでください。
・屋外で使用するときは、直接雨が当らないようにご使用ください。

本電話機のシステムはデジタル方式を採用しているので盗聴されにくくなっていますが、電波を利用しているため、通常の手段を超えた方法で第三者が故意に通話の内容を傍受する場合が、まったくないとはいえません。この点を十分に留意してご使用ください。

セットの確認

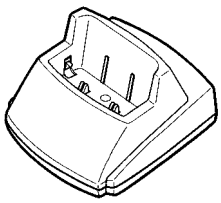
はじめてお使いになる前に、次のものがそろっているかを確認してください。
万一、足りないものがあったときはお買い上げになった販売店にご連絡ください。

接続装置……1



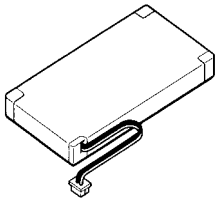
デジタルコードレス電話機……1

充電器……1



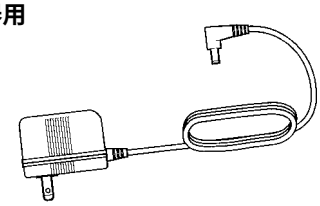
電池パック（BP3742L-A）……1

※電池パックをデジタルコードレス電話機に取り付ける方法は17ページをご覧ください。

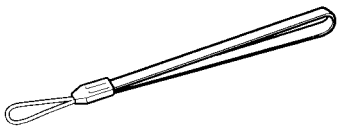


ACアダプタ（TE−815L）……1

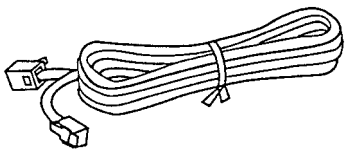
※充電器用



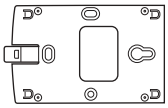
ハンドストラップ……1



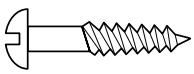
電話機コード（2m）…1



工事に必要な各部品です。
取付プレート……1



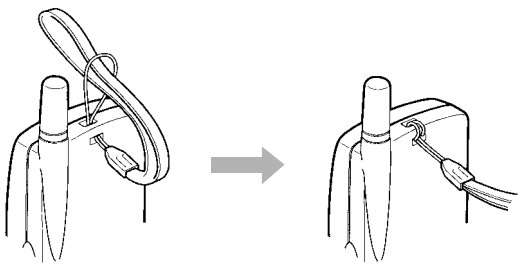
木ネジ（4.1×25）…2



取扱説明書……1
操作早見表……1

ハンドストラップの取り付けかた

デジタルコードレス電話機のハンドストラップの取付方法は、次のとおりです。



DC200電話機

接続装置

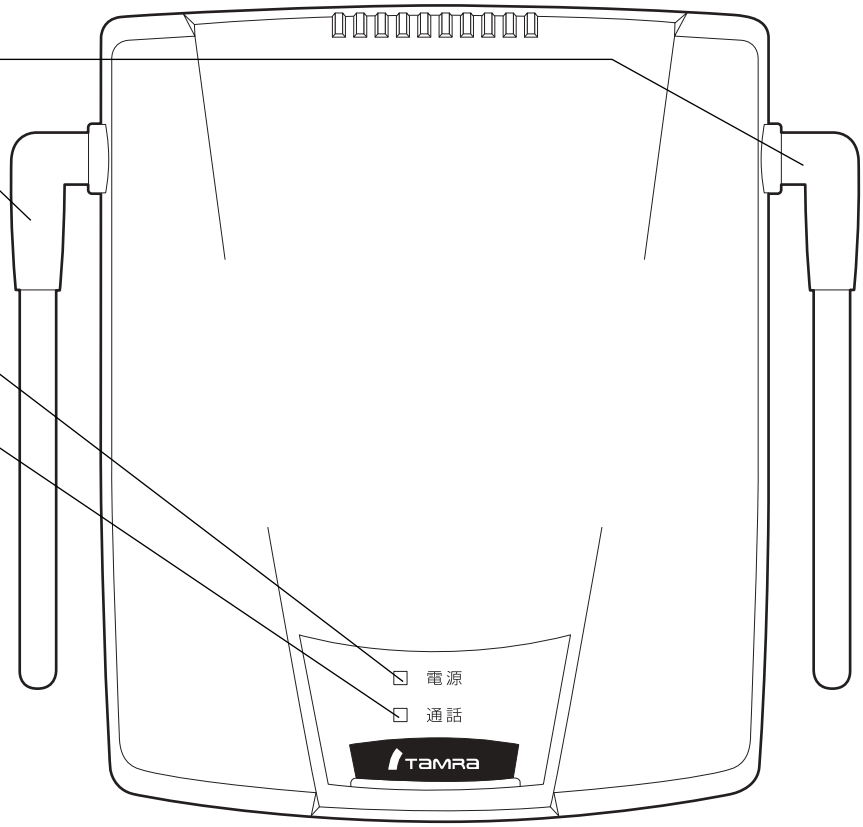
アンテナ
アンテナは立ててお使いください。

電源ランプ（赤色）
通電中に点灯します。
※消灯のときは電源が
供給されていません。
※電源供給直後は一時
的に点滅します。

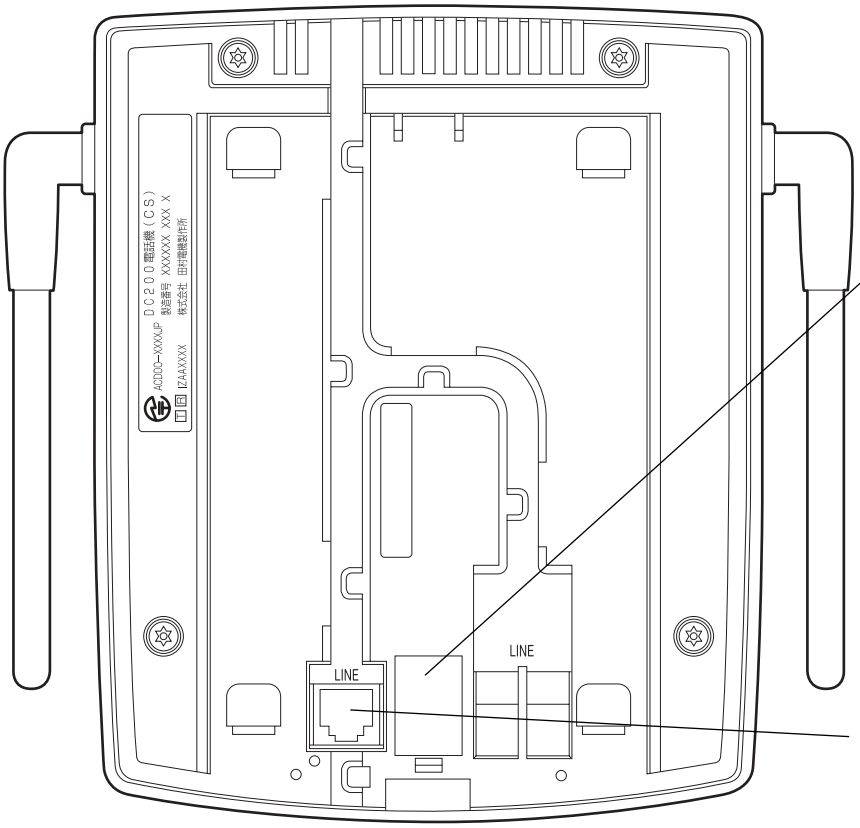
通話ランプ（緑色）

緑　色	点灯：正常状態です。
	点滅：無線のチャンネルを使用している状態です。 （通話中などのとき、点滅します）

※ 電源供給直後は数秒間点滅します。
※ 両ランプの点灯または点滅パターンが上記以外か、消灯している場合は、故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。



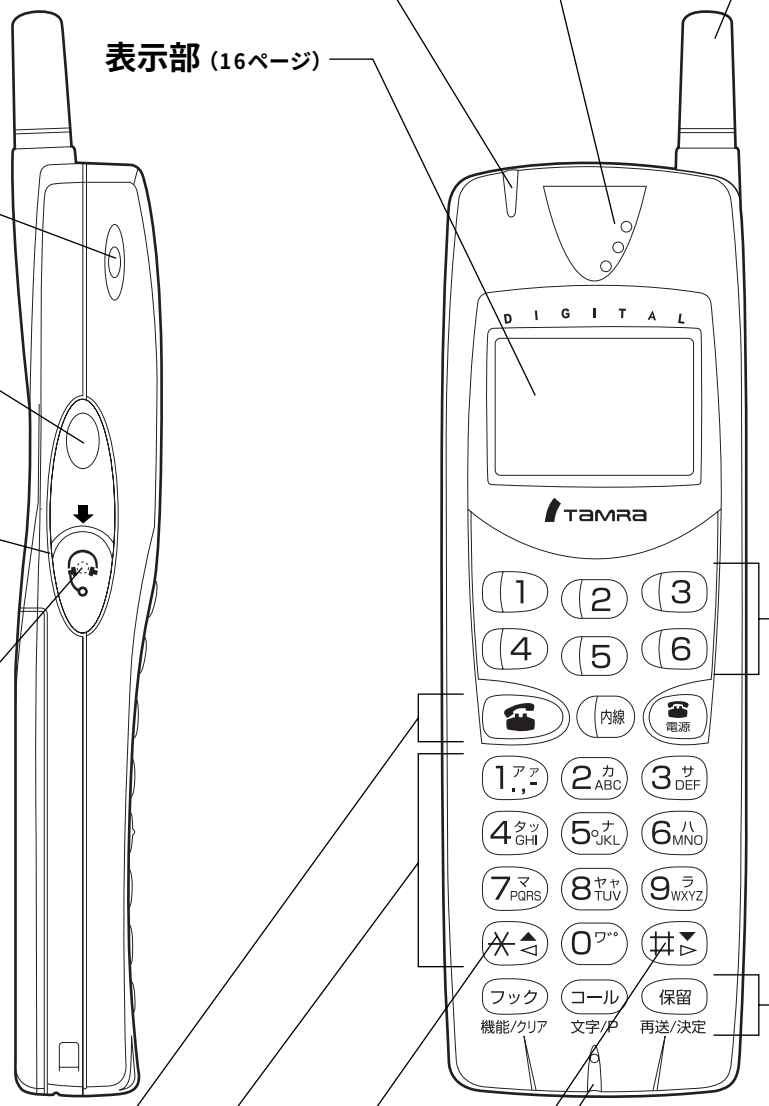
（裏面）



ディップスイッチ
工事担当以外は、さわらないでください。
※お買い上げ時は1：ON，2：OFFです。

モジュラージャック
電話機コードのモジュラー部を差し込みます。
主装置と接続されます。

デジタルコードレス電話機



受話口

着信／メッセージ／充電ランプ
着信のときに赤ランプが早く点滅します。ボイスメールの通知のときに赤ランプがゆっくり点滅します。また、充電中は赤ランプが点灯し、充電完了で緑ランプが点灯します。

アンテナ
伸縮式です。

表示部（16ページ）

サウンダ
着信音や呼出音などが聞えます。

音量ボタン
着信音量や受話音量を調節するときに押します。

ゴムキャップ
※爪先などで、矢印方向（⬇）へ押してゴムキャップを持ち上げるとイヤホンマイクジャックがあります。

イヤホンマイクジャック
イヤホンマイクを接続します。

（発信／応答）ボタン／ランプ（緑色）
電話をかけるときや電話を受けるときに押します。電話をかけるときに（ ）を押すと、未使用の外線を自動的につかみ、ランプは外線通話中に点灯します。

（内線）ボタン／ランプ（緑色）
内線をかけるときなどに押します。ランプは内線通話中に点灯します。

（切）ボタン
通話を終了するときなどに押します。また、電源を入れたり、切るときに長く押し続けます。

※通常は電源を入れた状態で使用します。長時間お使いにならないときは電源を切ってください。

送話口

ダイヤルボタン
電話番号をダイヤルするときやメモリダイヤルの名前を登録するときなどに押します。

（アスタリスク）ボタン
メモリダイヤルの名前や電話番号を逆順に表示させるときなどに押します。

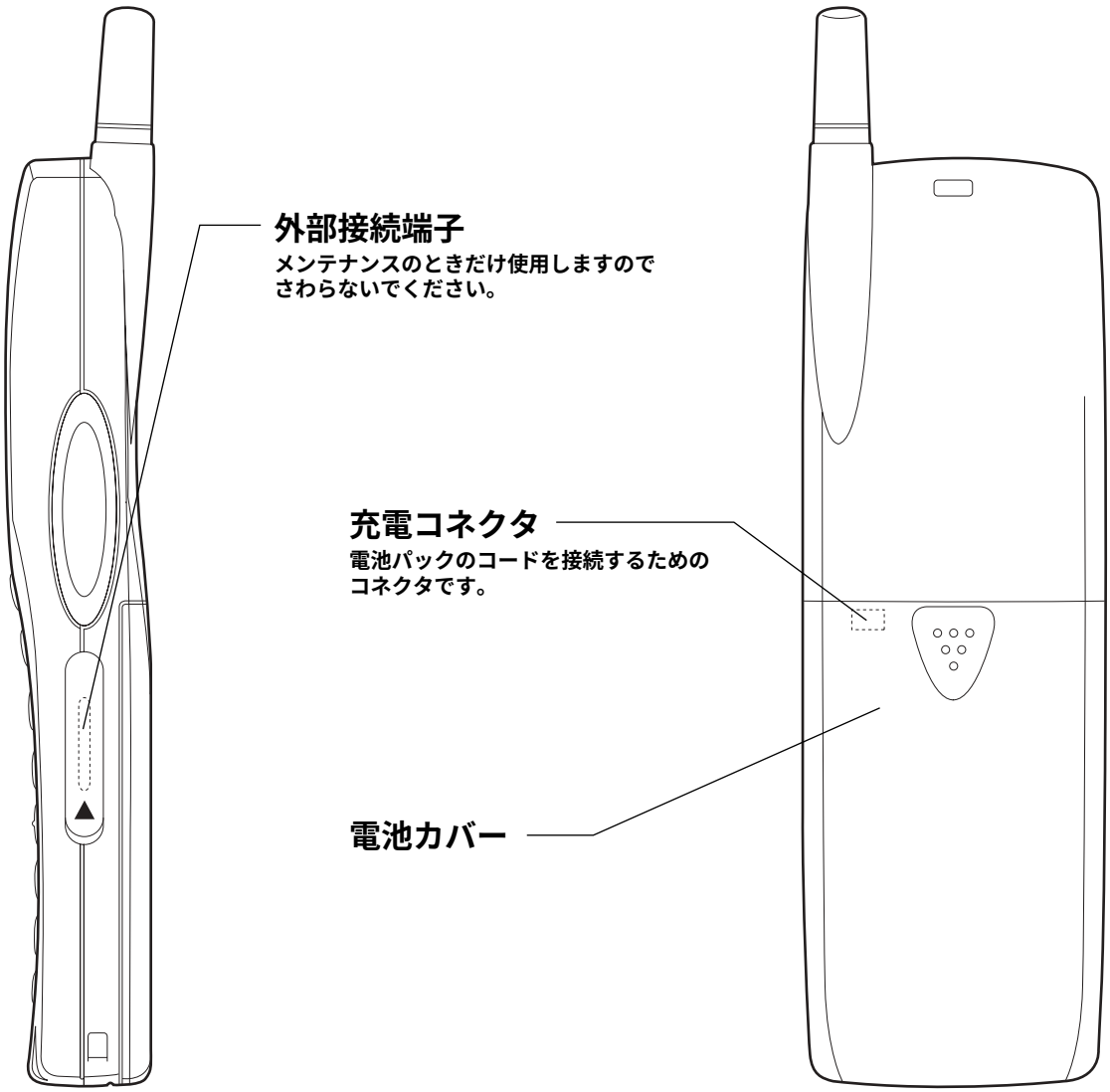
（シャープ）ボタン
メモリダイヤルの名前や電話番号を順番に表示させるときなどに押します。

充電端子（2ヶ所）
電池パックを充電するための端子です。

外線ボタン／ランプ

外線1～6ボタンは外線をかけるときなどに押します。自分が使用中のときは緑色、他人が使用中のときは赤色で点灯します。また、各種機能のボタンとして設定できます。

※保留したあとに (☎ 電源) ボタンを押したときなどのランプ表示は変化することがあります。



外部接続端子

メンテナンスのときだけ使用しますのでさわらないでください。

充電コネクタ

電池パックのコードを接続するためのコネクタです。

電池カバー

(フック) ／機能／クリアボタン

(フック)：キャッチホンサービスなどを受けるときに押します。
機能：待機状態で、ダイヤルボタンと組み合わせて便利な端末機能を選ぶときなどに押します。
ｸﾘｱ：登録したメモリダイヤルを消去するときなどに押します。

(コール) ／文字／Ｐボタン

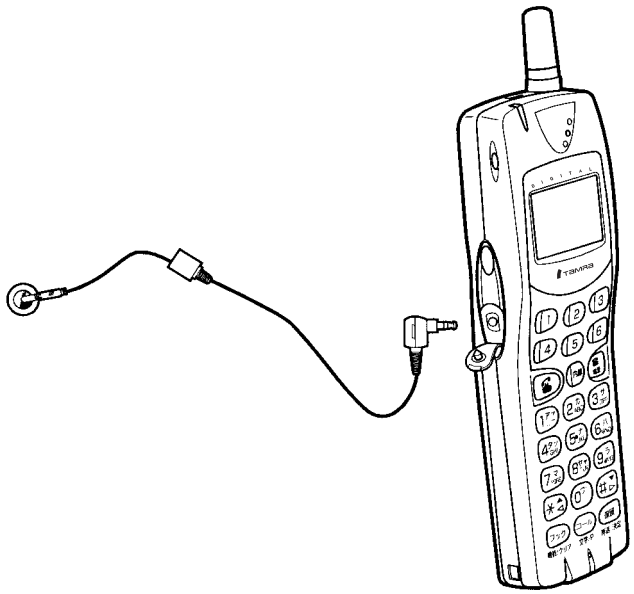
(コール)：メモリダイヤルに名前や電話番号を登録したり、登録したメモリダイヤル（最大300件）の内容を表示させ発信するときなどに押します。
文字：メモリダイヤルの登録や検索をする場合、カナ／英字／数字のいずれかに切り替えるときに押します。
Ｐ　：メモリダイヤルにポーズを登録するときなどに押します。

(保留) ／再送／決定ボタン

(保留)：外線・内線の通話を保留するときなどに押します。
再送：リダイヤル（25ページ）のメモリの呼び出しなどに使います。
決定：端末機能の設定や、メモリダイヤルの登録／検索で入力したデータを決定するときなどに押します。

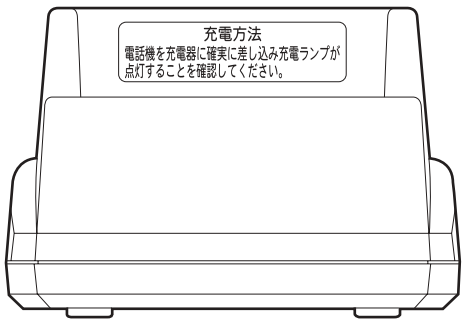
イヤホンマイク用ジャック

∅2.5mmタイプ（イヤホン：32Ω 3極ミニプラグ）のイヤホンマイク（市販品）を接続して使用できます。

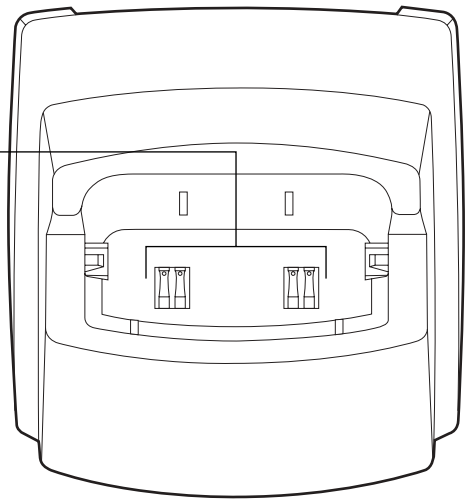


充電器

正面

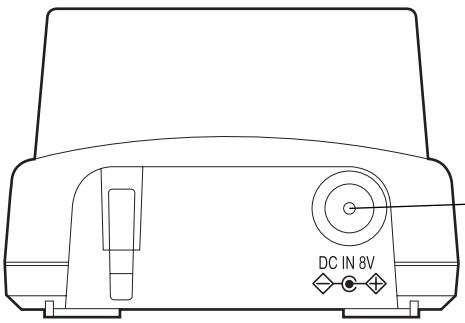


上面



充電端子（2ヵ所）

背面



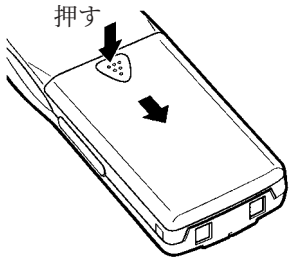
電源ジャック
ＡＣアダプタ（ＴＥ－８１５Ｌ）を接続します。

表示部

番号	表　　示	内　　容
①		接続装置の電波を受信し着信可能な待ち受け状態になったときに表示されます。
②		4段階の電波の強さ（電界強度）が表示されます。
③	家庭	この表示は使用しません。
④		
⑤	圏外	電波の届かない場所にいると表示されます。
⑥		不正利用防止のためのパスワードロックを設定しているときに表示されます。
⑦		4段階の電池残量が表示されます。
⑧	表示例： 10/10(火)11:10AM ﾀﾑﾗﾃﾞﾝｷ ﾅｲｾﾝ 10	カレンダー、時刻、ダイヤルした番号、メッセージ、内線番号、通話料金などが表示されます。
⑨	1 2 3 4 5 6	外線（または機能割り付け）ランプと連動して表示されます。（点灯および遅い点滅のみ）
⑩	ｶﾅ(またはAB)	メモリダイヤルの登録や検索のときの入力モードが表示されます。
⑪		バイブレータを設定しているときに表示されます。
⑫		待ち受け中または着信中は５段階の着信音量が表示されます。通話中は３段階の受話音量が表示されます。

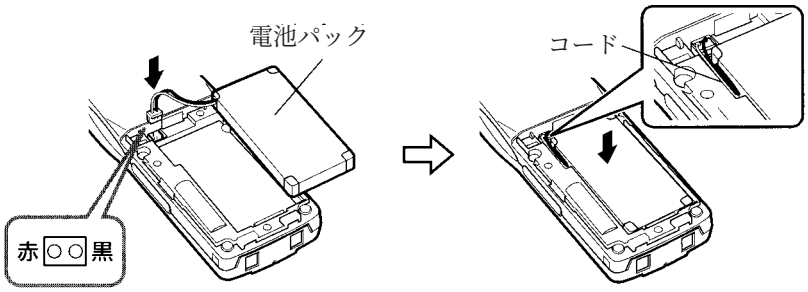
電池パックを取り付ける

1 電池カバーを押しながらスライドさせて取り外す

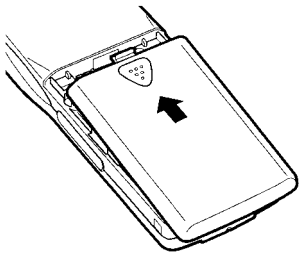


2 電池パックを取り付ける

※コードはしっかりと差し込み、図のように挟まないように注意して収納してください。



3 電池カバーを取り付ける



メモ

デジタルコードレス電話機の電源が入ったままで電池パックを外すと、故障の原因となります。

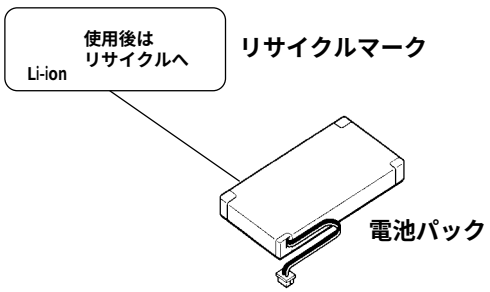
電池パックの交換

電池パックの交換は、必ず電源を切ってから行なってください。
電池パックは消耗品です。いっぱいに充電しても、続けて通話できる時間が極端に短くなった場合は新しい当社指定の電池パック（BP3742L－A）をお買い求めのうえ交換してください。

※ 電池パックの購入方法などについては、お買い上げになった販売店などへお問い合わせください。

■ リサイクル推進へのお願い

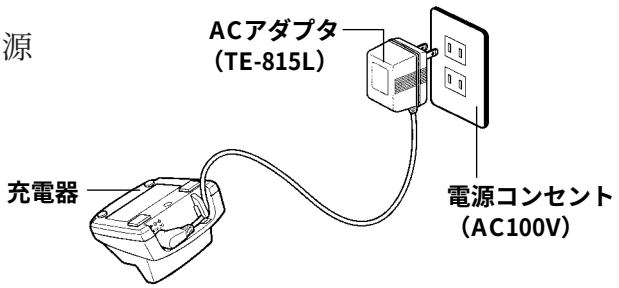
電池パックはリサイクル可能な貴重な資源です。電池交換等で使用済みの電池の廃棄に際しては、お買い上げになった販売店または、お近くのリチウムイオン電池リサイクル協力店へお待ちいただき、リサイクル推進に御協力をお願い致します。



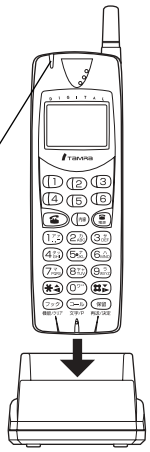
充電する

ACアダプタの接続およびデジタルコードレス電話機の充電は、次のようになります。
はじめてお使いになるときや、新しい電池パックに交換したときは、必ず3.5時間以上、充電してください。

1 ACアダプタを充電器と電源コンセントに差し込む



2 図のようにデジタルコードレス電話機を充電器におく
充電を開始する。
※デジタルコードレス電話機を充電器におくとき、方向をまちがえると充電できません。



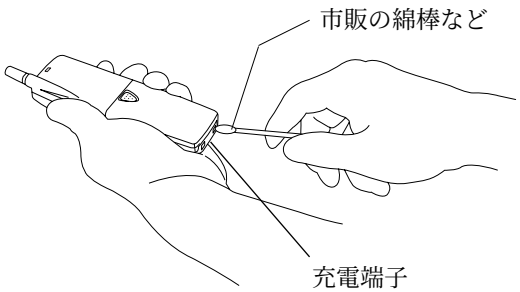
※1 充電ランプが点灯しない場合は、再度デジタルコードレス電話機を充電器におき直してください。それでも、充電ランプが点灯しない場合、充電端子が汚れていないかを確認してください。

メモ

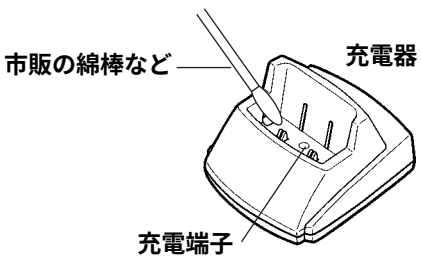
充電中のデジタルコードレス電話機や充電器、およびＡＣアダプタは温かくなりますが、異常ではありません。
満充電後の使用可能時間
連続通話をする場合……約５時間、連続待ち受けの場合……約150時間※2
※2 通話をしないで電源が入った状態で、接続装置の電波だけを正常に受信できる平均的な時間です。それ以外は短い時間となります。
充電器は平らなところに置いてください。充電器が傾いていると充電できない場合があります。

■充電端子のお手入れ

1 デジタルコードレス電話機と充電器の充電端子（金属の部分）は、いつもきれいに保つようにしてください。

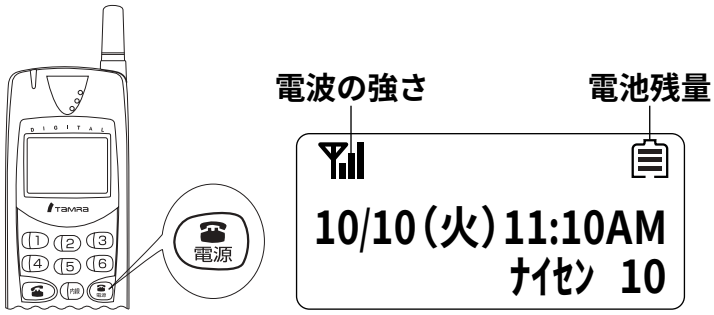


2 充電端子が汚れていると充電できなくなることがありますので、月に1回または汚れているときは、やわらかい布でからぶきするか、市販の綿棒などでふいてください。
※ シンナー、ベンジンなどを使用すると表面を痛めたり、変色するときがありますので使用しないでください。



電源を入れる

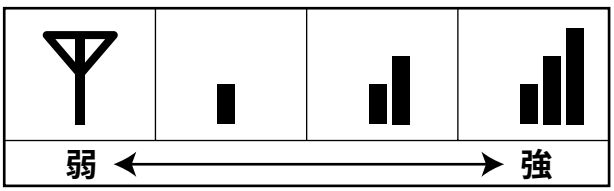
充電してから電源ボタンを長く押し続けると、電源が入り表示部が点灯します。



■電波の強さ

接続装置（12ページ）からの電波状態を４段階で表します。

※電話をかける前に電波の強さを確認してください。



（強）……受信状態が良好です。

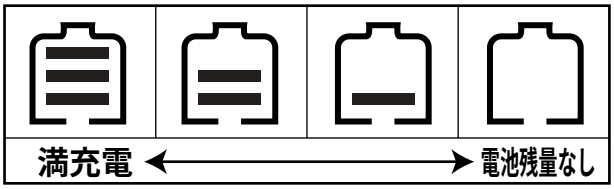
（弱）……電話がかかりにくくなったり、通話が切れることがあります。（電波状態の良い場所へ移動してください）

圏外……電話をかけることも受けることもできません。また、一時的に圏外となっている場合は、発信できることもあります。

※圏外に近づくと、警告音「ピッ　ピッ ……（断続）」が鳴り、圏外に出ると通話が切れます。

■電池残量

電池残量を４段階で表示しますので充電の目安としてお使いください。



……満充電です。

……電池残量なしの状態です。

※通話中に電池残量なしの状態になると、電池切れ警告音が「ピーッピーッ」と30秒ごとに鳴ります。

メモ

デジタルコードレス電話機の内線番号や名前などの待機時表示を変更しても、その内容が更新されないときは、再度、発信捕捉したあとに切る操作をしてください。
※他の電話機を使って変更したときも、対象となるデジタルコードレス電話機で上記の操作をしてください。
デジタルコードレス電話機の時計データ（年月日、曜日、時分）は、システムから自動的にダウンロードされます。
※他の電話機の時計表示とは一致しないことがあります。（誤差が生じます）。
※デジタルコードレス電話機は、待機状態のカレンダー・時計表示形式は、他の電話機と異なります。
※システムのカレンダー・時計設定をしたときや電池パックを取り外したときなどは、デジタルコードレス電話機で発信捕捉し、その状態での時刻（分）表示が変わるのを待って切る操作をすると、時計データをすぐに更新することができます。

電源を切る

再度、電源ボタンを長く押し続けます。⊟ 表示が消える

メモ

デジタルコードレス電話機は、電源が「入」・「切」のどちらでも充電できます。

外線ボタンに各種機能のボタンを割り付ける

外線ボタン（１～６）に発信ボタン、応答ボタン、会議ボタン、キノウ（F）ボタン、短縮ボタン、オートダイヤルボタン、Ｆオート13ボタン、Ｆオート14ボタンを割り付けることができます。

発信ボタンは電話をかけることなどができます。
応答ボタンは電話をうけることなどができます。
会議ボタンは内線保留を解除したり、外線・内線の会議通話などができます。
Ｆボタンは不在転送の設定や外線通話割込みなどができます。
短縮ボタンは短縮ダイヤルの発信などができます。
オートダイヤルボタン、Ｆオート13ボタン、Ｆオート14ボタンは短縮ダイヤルやオートダイヤルの登録などができます。

※お買い上げ時は、外線ボタンです。

割り付けのしかた

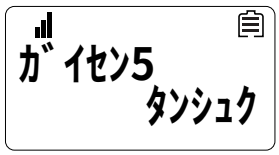
1 内線 ＃▷ を押す

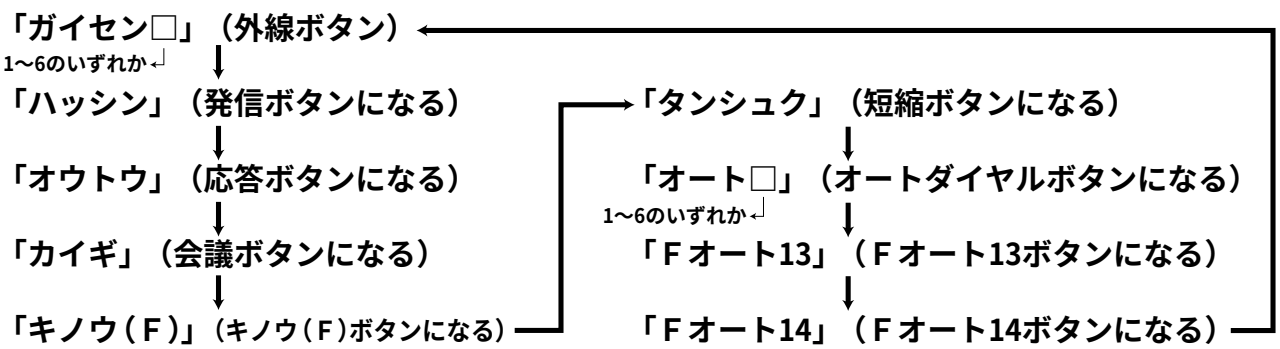
2 外線１～外線６ のいずれかを押す

3 ＃▷（または ＊◁）で割り付けるボタンを選ぶ

⇨ ＃▷ を押すたびにボタン表示が順番に切り替わります。
（＊◁ は逆順に切り替わります）

⇨ 表示例：外線５（短縮ボタン）





4 ☎ を押す

⇨ 割り付け完了

5 割り付けを終えるときは 電源 を押す

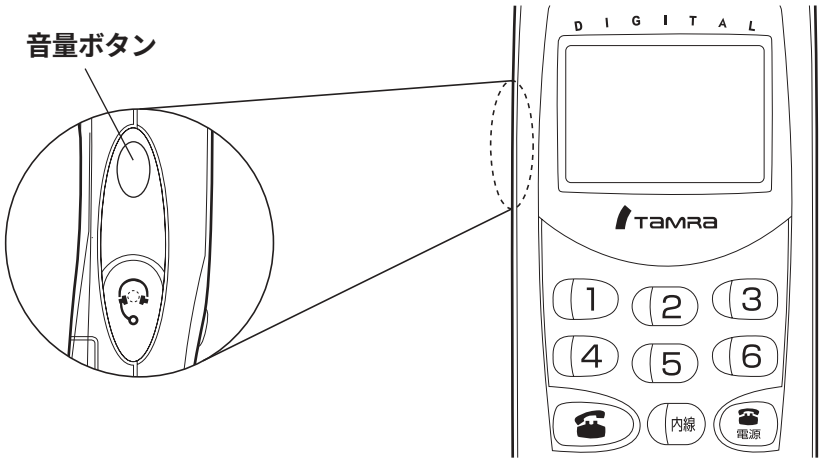
※続けて他の外線に割り付けるときは、電源 を押さずに、操作２から押します。

メモ 同じ機能のボタンを重複して割り付けたときは、後からの割り付けが有効となり、前の割り付けは外線ボタンに戻ります。

確認のしかた

内線 → ＃▷ → 外線１ ～外線６ のいずれかを押す→ 電源

着信音量／受話音量



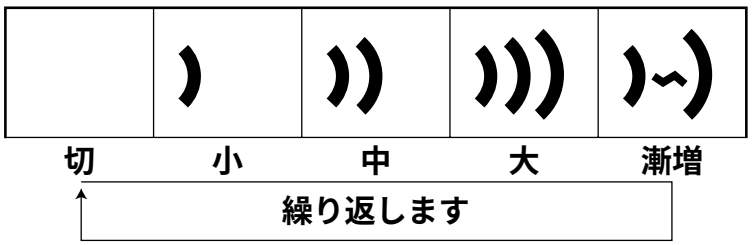
音量ボタンを押すことで着信音量、受話音量を調節できます。

着信音量

電話機未使用時で音量ボタンを押すと、外線着信音、内線呼出音、ドアホン呼出音などを「切、小、中、大、漸増（ぜんぞう）」の５段階で調節できます。

※ お買い上げ時は「小」です。

⊟表示



メモ

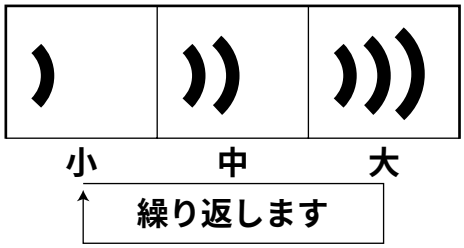
ドアホン呼出音以外の着信音は、その鳴動中に（電源）を押すと、着信音が停止します。
着信音量を「切」に設定すると、システムの設定や工事設定に関係なく着信音は鳴動しません。
また、夜間モードの設定状態表示（システムで着信音を鳴動する／しないの設定をした場合）については、発信捕捉状態にすると確認できます。
待機状態以外（着信中など）で音量ボタンを押すと、受話音量の調節になります。

受話音量

外線通話、内線通話、ドアホン通話などの通話中に、音量ボタンを押すことにより、デジタルコードレス電話機から聞こえる相手の音声の大きさを「小・中・大」の３段階で、調節できます。

※ お買い上げ時は「小」です。

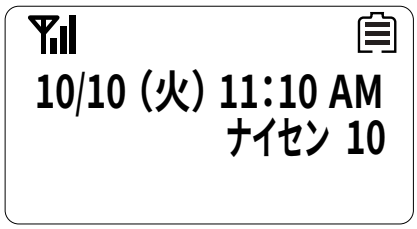
⊟表示



電話番号を押してから電話をかける〔プリセットダイヤル〕

1 表示部を確認する

⇨表示例：待機状態

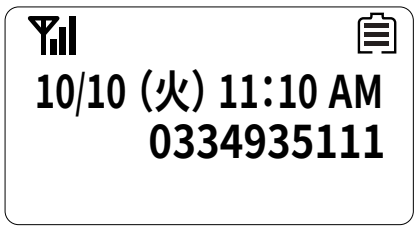


※電池がないときや「圏外」が表示されているときは発信できません。

2 電話番号を押す

電話番号の最後に (#) を押すと、操作３ですぐに発信します。
(#) を押さなくても操作３で約５秒後に発信します。

⇨ 表示例：電話番号



3 (☎)（または (外線) ）を押す

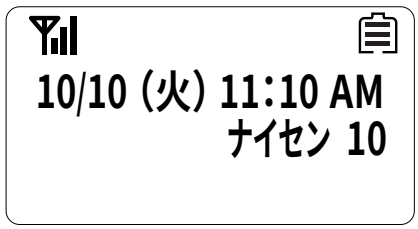
⇨☎ ランプ：緑点灯
⇨ 捕捉した外線ランプ：緑点灯
操作2、3が逆でも電話がかけられます。(押し間違えた場合、(電源) を押して再度、電話をかけ直してください)
※ (外線) に各種機能を割り付けた場合は、指定外線捕捉（81ページ）の操作を行います。

4 外線相手が応答したら通話する

5 通話が終ったら (電源) を押す

⇨☎ ランプ：消灯
⇨ 外線ランプ：消灯

⇨ 表示例：待機状態



メモ

プリセット中に着信などがあると、入力中のダイヤルはキャンセルされます。また、待機状態でないときは、プリセットダイヤルができません。

操作２で電話番号を押し間違えた場合

(フック 機能/クリア) を押すと、最後の1桁の電話番号が消えます。そこから正しい電話番号を押します。

(電源) を押すと、すべての電話番号が消えます。最初から正しい電話番号を押します。

ポーズ（待ち時間）は操作２のダイヤル中に、(コール 文字/P) を押すとポーズが入力され、そのあとポーズ後のダイヤルをします。

操作３の (☎)（または (外線) ）を押してからのポーズ入力はできません。

デジタルコードレス電話機は、使用中の (外線) を押すと、話中音「プープー……（連続）」が鳴り、使用中の内線番号が表示されます。

構内交換機（PBX）に接続している場合の外線発信は、相手の市外局番の電話番号の前にPBXへアクセスする番号をダイヤルします。

未使用外線を自動的につかむ〔自動選局発信〕

(☎) を押すと未使用外線をつかみます。
(☎) のかわりに、(外線) に割り付けた(発信) でも同じです。(21ページ)
外線自動選局を行なうとき、お買い上げ時は老番の外線番号から選びます。
発信ボタンなどを押した時、指定した種別の外線(お買い上げ時は局線&ISDN)を捕捉します。

1 (☎) を押す
⊟(☎) ランプ：緑点灯
⊟ 老番の未使用外線ランプ：緑点灯

2 電話番号を押す
電話番号の最後に(#▷) を押すと、すぐに発信します。
(#▷) を押さなくても操作3で約5秒後に発信します。

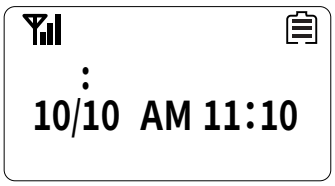
3 外線相手が応答したら通話する

メモ
操作1の (☎) を押したあと、空き外線がないときはエラートーン「プープー……(連続)」が鳴り(「Busy」が表示され、しばらくすると「Error」表示になる)電話をかけることができません。
(電源) を押したあと、しばらくして再度、電話をかけ直してください。

再度かけ直す〔リダイヤル〕

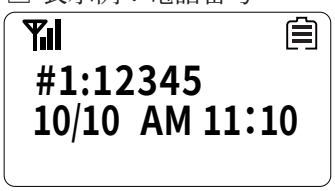
最後にかけた相手に、もう一度簡単な操作でかけ直すことができます。

1 (短縮) を押す
⊟ 短縮ランプ：緑点滅



2 (#▷) を押す
電話番号が表示されます。
(短縮) が緑点滅しているときには押さないでください。

⊟ 表示例：電話番号



3 (☎) を押す
⊟ 老番の未使外線ランプ：緑点灯

メモ
(外線) に (短縮) を割り付けます。(21ページ)

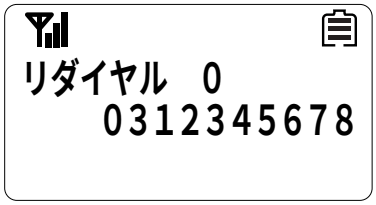
〔リダイヤル〕

デジタルコードレス電話機が持つ、リダイヤル機能を利用することもできる

1 保留 再送/決定 を押す

保留 再送/決定 を押すごとにリダイヤル０～９までを表示します。

＊ または # を押すと、リダイヤル０～９を移動します。



2 ☎ を押す

⊟ 老番の未使外線ランプ：緑点灯

メモ

デジタルコードレス電話機が持つ、リダイヤル機能の留意事項について

⊟ プリセットダイヤル（23ページ）で発信したときのみ記憶されます。

⊟ 電池がなくなるとリダイヤルに記憶された電話番号が消えます。

⊟ 短縮ダイヤル（27ページ）および指定外線捕捉（81ページ）の電話番号は、リダイヤルの電話番号として記録されません。

続けて電話をかける

通話が終わって、続けて電話をかけるときや、相手番号を押し間違えてかけ直すときなどに、下記の操作を行います。

外線通話中に フック 機能/クリア を押す➡ 発信音「ツー」

電話帳ボタンの登録

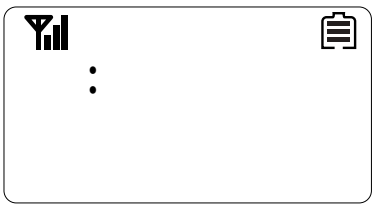
本システムは、短縮ダイヤルに電話番号と、名前を登録することができます。名前のカナから、短縮番号を検索（電話帳検索）することもできます。名前の登録や電話帳検索には、オートダイヤルボタンに電話帳ボタンを設定する必要があります。

電話帳 は、お買い上げ時、外線６ボタンに登録されています。登録を変更する場合は、工事設定が必要です。（「オートダイヤル登録指定」を「電話機ごと」に変更します。）

※ 外線６ボタンをオートダイヤルボタンに割り付けた時は、電話帳ボタンとして使用します。

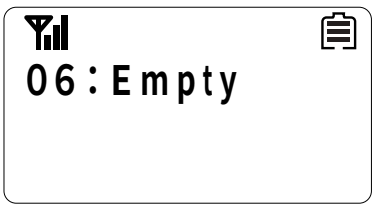
登録のしかた

1 短縮 を押す



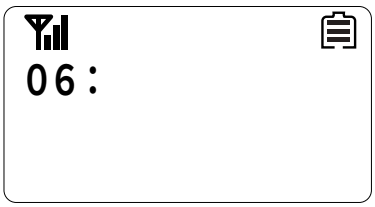
⇨ 表示例：オート06に登録

2 電話帳ボタンを登録する オート を押す



3 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅



4 2カABC を押す

5 1ア、- 6ハMNO を押す

6 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯

メモ

オート1、オート2 には登録しないでください。一部電話帳ボタンとして使用できません。

外線 に キノウ(F) と 短縮 と オート を割り付け（21ページ）してから、電話帳 の登録をします。

短縮ダイヤル、電話帳の登録方法

電話番号をあらかじめ登録しておくと、簡単な操作で電話がかけられます。
登録できる短縮ダイヤル数を変更するには、工事設定が必要です。

種　　類	お買い上げ時	変　更　時	変　更　時
個　別　短　縮	な　し	80～99（20ヵ所）	な　し
全電話機共通短縮	00～99（100ヵ所）	00～79（80ヵ所）	000～999（1000ヵ所）

登録のしかた

1 短縮 を押す

2 個別短縮番号、共通短縮番号、(米) のいずれかを押す

(米) を押すと、共通短縮番号の未登録番号を若番から検索し表示します。
未登録の短縮が無い場合は、「ミトウロク　タンシュク　ナシ」がが表示されます。

⊟ 表示例：短縮番号00

3 キノウ(F) を押す

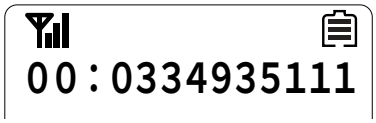
⊟ キノウ（F）ランプ：赤点滅

4 電話番号を入力する（最大24桁）

⊟ キノウ（F）ランプ：赤点滅

電話番号が13桁以上になると下12桁を表示します。（短縮番号２桁の場合）
内線番号の登録はできません。
電話番号登録後、名前と識別着信音を登録しない場合は操作９へ進みます。

⊟ 表示例：0334935111を入力



メモ

電話番号入力時に以下のこともできます。

⊟ ポーズ（待ち時間：お買い上げ時は約３秒）は 短縮 を押します。デジタル回線からの発信では、電話番号の途中にポーズをいれないでください。相手につながらないことがあります。
（登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）

⊟ (フック 機能/クリア) を押すと「―」（ハイフン）を入力することができます。

⊟ ダイヤル回線（ＤＰ）で、「プッシュモード」を登録するときは (米) 、(#) を押します。

⊟ 会議 を押すと最後の１桁（または、カーソル位置）を削除します。

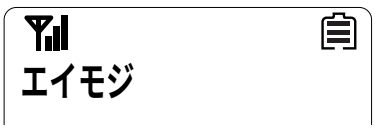
5 (☎) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

電話帳(26ページ)を押すと、カナモジ→エイモジ→表示なし(数字)の順にモードが切り替わります。

名前を登録しない場合は操作7へ進みます。

⇨ 表示例：エイモジの場合



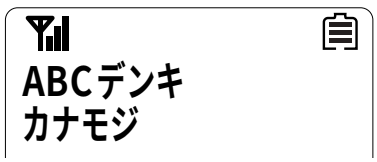
6 カナ文字登録

名前を登録します。(最大16文字)

下表を見ながらダイヤルボタンを押して1文字ずつ登録します。

(下記メモ欄の「登録例：ＫＫタムラ」を参照してください。

⇨ 表示例：ABCデンキを入力



登録できる文字・数字一覧表

ボタン名称	カタカナモード	英文字モード	表示なし(数字)
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	ｽﾍﾟｰｽ(空き)	1
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0	ﾜﾝﾞﾟ ー・！？、。	@.〜／：＿！？ ｰ＆() ”$％+ ,;＜＝＞[\] ^`{¦} 「」＊＃	0
＊	カーソル左移動で文字消去(またはカーソル位置の文字消去)		
＃	カーソル右移動(同じ文字を続けて入力するときなどに押します)		
フック	入力した文字を全て消去		

メモ

カナ文字入力時に以下のこともできます。

⇨ 会議 押すと最後の１桁(またはカーソル位置)を削除します。

構内交換機(ＰＢＸ)に接続している(ＰＢＸと一般回線との混在収容も含む)ときは、必ずＰＢＸから外線へのアクセスする番号を登録します。(アクセスする番号の後にポーズを登録する必要はありません。)

入力モードが「数字」の場合に「＊」および「＃」は、入力できません。「英文字」モードで入力します。

例：操作6および操作7により「ＫＫタムラ」を登録します。

各ボタンを括弧内の回数押してください。

電話帳、(5 2回)、内線、(5 2回)、(電話帳 2回)、(4 1回)、(7 3回)、(9 1回)

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

「エイモジ」 「K」 カーソル右移動 「K」 「カナモジ」 「タ」 「ム」 「ラ」

外線に キノウ(F) と 会議 と 短縮 を割り付けます。(21ページ)

短縮登録時に短縮番号の変わりに (☆) を入力すると、全電話機共通短縮の中から未登録の短縮番号を若い番号から検索することができます。(未登録短縮検索機能)検索後の共通短縮登録のしかたは前項同様に登録します。

内線 を押すと、右にカーソル移動します。

29ページへ続く

7 (☎)を押す

識別着信音を登録しない場合は操作９へ進みます。

8 各種識別着信音に対応した番号を押す

(1ｱｧ)：着信音１　(2カ ABC)：着信音２　(3サ DEF)：着信音３
(4タッ GHI)：着信音４　(5ナ JKL)：着信音５　(6ハ MNO)：着信音６
(7マ PQRS)：着信音７　(8ヤャ TUV)：着信音８　(9ラ WXYZ)：着信メロディ

あらかじめ短縮ダイヤルに識別着信音種別（１～８、着信メロディ）を登録しておくことにより、ＩＳＤＮ外線または、携帯電話アダプタへの着信時に発信者番号と短縮ダイヤルに登録されている電話番号が一致した場合、短縮ダイヤルに登録されている識別着信音種別にて着信音を鳴動させることができます。

※デジタルコードレス電話機では、識別着信音で鳴動しません。
着信音種の選択（69ページ）で選択した着信音で鳴動します。

⇨ 表示例：識別着信音１

9 (キノウ(F))を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯

連続登録する場合は操作3～9を繰り返します。

電話帳発信

電話帳を登録すると、名前を検索して簡単に発信することができます。
※ 個別短縮は検索されません。

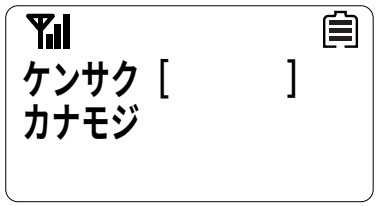
1 電話帳（26ページ参照）を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅

共通短縮が登録されていないと、「タンシュク　トウロク　ナシ」が５秒間表示されます。

必要に応じて電話帳を押して入力モードを変更します。

「カナモジ」→「エイモジ」→ 表示なし（数字）

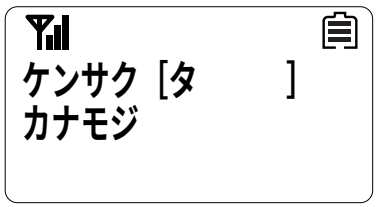


2 ダイヤルボタンで、検索する文字を入力する

検索できる文字数は最大５文字までです。

内線を押すと、右にカーソル移動します。

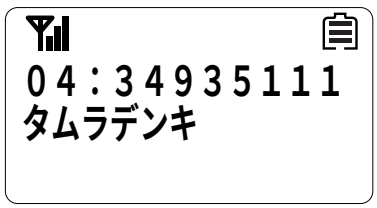
⇨ 表示例：「タ」を入力



3 ▷ を押す

候補がない場合は近い名前が表示されます。

⇨ 表示例：「タムラデンキ」を表示



4 ▷（または ◁）を押す

▷ を押すと表示されている名前の優先順位の一つ後の名前を表示します。

◁ を押すと表示されている名前の優先順位の一つ前の名前を表示します。

5 ☎ を押す

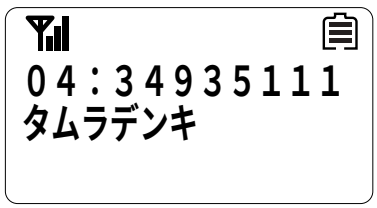
未使用外線を自動選択し表示されている電話番号へ発信します。

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯

⇨ ☎ ランプ：緑点灯

⇨ 老番の未使用外線ランプ：緑点灯

⇨ 表示例：「タムラデンキ」を表示



メモ

電話帳検索で、文字の表示優先順位は、次のとおりです。

「ー（バー）」→「゛（濁点）」→「゜（半濁点）」→「ア」→「ァ」→「イ」→「ィ」→（中略）→「ヲ」→「ン」→「A」→「a」→「B」→「b」→（中略）→「Z」→「z」→「0」→「1」→「2」→（中略）→「9」→「！」→「“」→「#」→「$」→「%」→「&」→「‘」→「（」→「）」→「＊」→「＋」→「,」→「－（マイナス）」→「.」→「／」→「：」→「；」→「＜」→「＝」→「＞」→「？」→「@」→「[」→「¥」→「]」→「^」→「＿」→「｀」→「{」→「|」→「}」→「～」→「。」→「「」→「」」→「、」→「・」→「　（スペース）」

短縮発信

かけかた

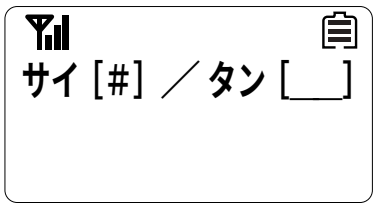
1 ☎（または 外線 ）を押す

⇨ ☎ ランプ：緑点灯

⇨ 捕捉した外線ランプ：緑点灯

2 短縮 を押す

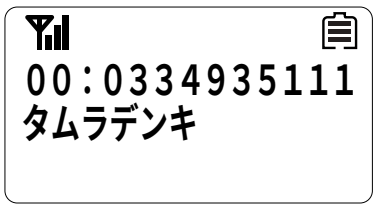
⇨ 表示例：短縮番号入力待ち



3 個別短縮番号または共通短縮番号を押す

表示された電話番号へ自動発信します。

⇨ 表示例：短縮番号00に登録された0334935111のタムラデンキ



メモ

短縮番号が未登録の場合は「Ｅｍｐｔｙ」を表示します。

外線 に 短縮 を割り付けます。（21ページ）

短縮簡易検索発信

短縮番号から簡易検索してかける

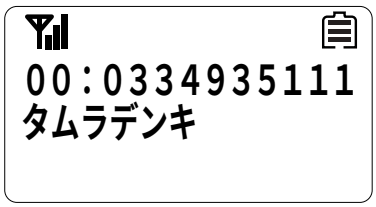
1 短縮 を押す

⇨ 表示例：短縮番号入力待ち

2 個別短縮番号または共通短縮番号を押す

短縮番号等の表示は約20秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。
電話番号が14桁以上の場合 会議 を押すと続きの電話番号が表示されます。（短縮番号３桁の場合は13桁）

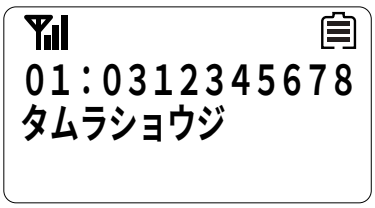
⇨ 表示例：短縮番号00



3 #▷（または *◁）を押す

#▷ を押すと表示されている短縮番号のひとつ後の短縮番号が表示されます。
*◁ を押すと表示されている短縮番号のひとつ前の短縮番号が表示されます。

⇨ 表示例：#▷ を押した場合



4 ☎（または 外線 ）を押す

⇨ 捕捉した外線ランプ：緑点灯
⇨ ☎ ランプ：緑点灯

メモ

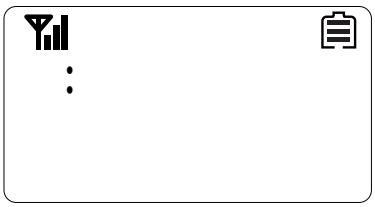
外線 に 短縮 を割り付けます。（21ページ）

短縮ダイヤルの確認／消去／変更

確認のしかた

1 短縮 を押す

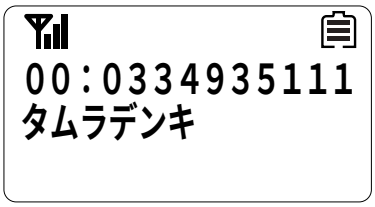
表示例：短縮番号入力待ち



2 個別短縮番号または共通短縮番号を押す

電話番号が14桁以上の場合 会議 を押すと続きの電話番号が表示されます。（短縮番号３桁の場合は13桁）
名前が登録されている場合は、名前も表示されます。

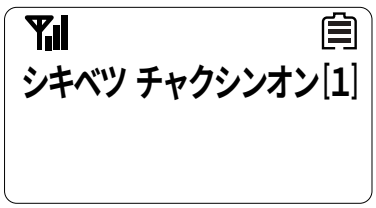
表示例：短縮番号00を表示



3 保留 を押す

短縮番号識別着信音の表示は、約20秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。

表示例：識別着信音１を表示



消去のしかた

電話番号を消去する場合

27～29ページの「登録のしかた」の操作1、2、3、会議・・・会議※、9の順に行います。

※ 電話番号が10桁の場合、会議を10回押します。

※ 電話番号を消去して名前登録が残った場合、電話番号のところに＜メッセージ＞と表示されます。再度電話番号を登録すると＜メッセージ＞の表示は消えます。

名前を消去する場合

27～29ページの「登録のしかた」の操作1、2、3、5、フック 機能/クリア、9の順に行います。

※ 「電話番号」と「名前」の消去は、同時にできません。

識別着信音を消去する場合

27～29ページの「登録のしかた」の操作1、2、3、☎、☎、米、9の順に行います。

変更のしかた

電話番号を変更する場合

27～29ページの「登録のしかた」の操作1、2、3、会議・・・会議※、新しい電話番号を入力、9の順に行います。

※ 変更前の電話番号が消えるまで会議を押します。

名前を変更する場合

27～29ページの「登録のしかた」の操作1、2、3、5、フック 機能/クリア（名前消去）6、9の順に行います。

識別着信音を変更する場合

27～29ページの「登録のしかた」の操作1、2、3、☎、☎、新しい着信音の番号（1～9）、9 の順に行います。

メモ

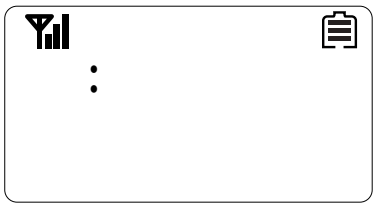
外線に会議を割り付けます。（21ページ）

着信記録からの短縮ダイヤル登録

「発信者番号サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで50件まで記録し、短縮ダイヤルに登録することができます。着信記録を表示させるにはあらかじめオートダイヤルに 着信記録 を登録する必要があります。（36ページメモ参照）

着信記録からの登録のしかた

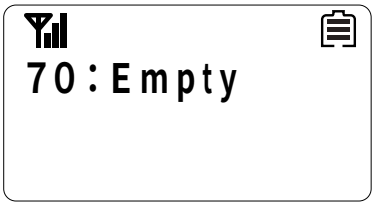
1 短縮 を押す



2 登録する短縮番号または ✳⇆ のいずれかを押す

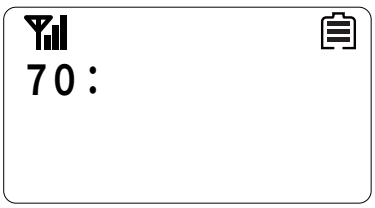
✳⇆ を押すと、共通短縮番号の未登録番号を若番から検索し表示します

⇨ 表示例：短縮番号70に登録



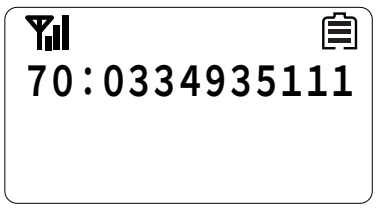
3 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅



4 着信記録 を押す

着信記録 を押すたびに記録されている電話番号が表示されます。



5 ☎ を押す

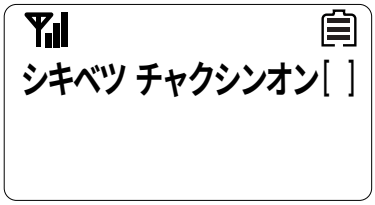
電話帳 を押すと文字入力モードが（カナ→英→数字→カナ…）が切り替わります。

6 名前を登録する（最大16文字）

登録方法の詳細は、28ページ「短縮ダイヤル、電話帳の登録方法」の操作６をご覧ください。

⇨ 表示例：タムラデンキを入力

7 (☎) を押す

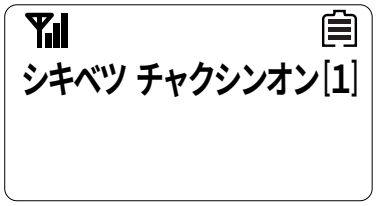


8 各種識別着信音に対応した番号を押す

登録方法の詳細は、29ページ「短縮ダイヤル、電話帳の登録方法」の操作８をご覧ください。

※デジタルコードレス電話機では、識別着信音で鳴動しません。着信音種の選択（69ページ）で選択した着信音で鳴動します。

⇨ 表示例：識別着信音１



9 **キノウ(F)** を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯

メモ

着信記録 ボタンの登録方法

短縮 ➡ **オート** ➡ **キノウ(F)** ➡ 2カ ABC 1アァ 4タッ GHI ➡ **キノウ(F)**

オート1、**オート2** には登録しないでください。一部着信記録ボタンとして使用できません。

外線 に **キノウ(F)** と **オート** と **短縮** を割り付けます。（21ページ）

電話帳 ボタンの登録方法は、「電話帳ボタンの登録」（26ページ）をご覧ください。

ワンタッチ登録

オート に電話番号または短縮番号を登録することでワンタッチで発信できます。
お買い上げ時の オート の登録と消去は全電話機共通です。

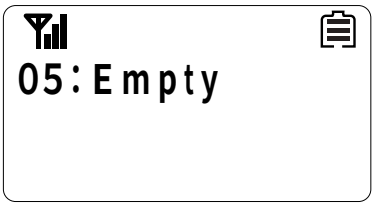
登録のしかた

全電話機共通のときは、指定子機（初期設定は、内線10または11）から登録します。

1 短縮 を押す

2 オート を押す

⇨ 表示例：オート５に登録



3 キノウ(F) を押す

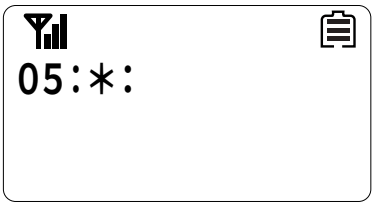
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅

4 次のボタンから選択する

＊ ：電話番号を登録したい場合

0 ：短縮番号を登録したい場合

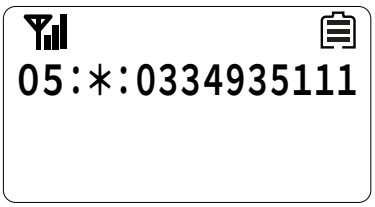
⇨ 表示例：電話番号を登録



5 登録したい電話番号（最大24桁）または、短縮番号を押す

電話番号または短縮番号の登録後、名前を登録しないときは操作８へ進みます。

⇨ 表示例：0334935111を登録



メモ

登録したい番号入力するときに以下のこともできます。

⇨ ポーズ（Ｐ表示）（待ち時間：お買い上げ時は約３秒）は 短縮 を押します。（電話番号登録時）
デジタル回線からの発信では、電話番号の途中にポーズをいれないでください。相手につながらないことがあります。（登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）

⇨ フック 機能/クリア を押すと「―」（ハイフン）を入力することができます。

⇨ ダイヤル回線（ＤＰ）で、「プッシュモード」を登録するときは ＊ 、 # を押します。（電話番号登録時）

6 （☎）を押す

必要に応じて（電話帳）を押して入力モードを変更します。

「カナモジ」→「エイモジ」→ 表示なし（数字）

⇨ 表示例：名前入力待ち状態

7 名前を登録する（最大16文字）

登録方法の詳細は、28ページ「短縮ダイヤル、電話帳の登録方法」の操作６をご覧ください。

⇨ 表示例：「タムラデンキ」を入力

8 （キノウ(F)）を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯

連続登録する場合は、操作１～８を繰り返します。

登録できる文字・数字一覧表

ボタン名称	カタカナモード	英文字モード	表示なし（数字）
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	ｽﾍﾟｰｽ（空き）	1
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0	ﾜﾝﾞﾟ ー・！？、。	@.〜／：_！？ ｰ＆（）”$％+ ,;＜＝＞［\］＾`{¦} 「」＊＃	0
＊	カーソル左移動で文字消去（またはカーソル位置の文字消去）		
＃	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します）		
フック	入力した文字を全て消去		

メモ

ポーズ（Ｐ表示）（待ち時間：約３秒）はポケベルの呼出番号などのあとに登録します。（短縮）を押すとポーズが入力できます。（デジタル回線で発信する場合、ポーズのあとの登録番号は、プッシュ信号で送出します。）

構内交換機（ＰＢＸ）に接続されている（ＰＢＸと一般回線との外線混在収容も含む）ときは、必ずＰＢＸから外線へアクセスする番号を登録します。（アクセス番号のあとにポーズを登録する必要はありません。）

登録する電話番号が25桁以上のときは、別々の（オート）（例：オート1、オート2）で登録し、チェーンダイヤル（78ページ）で発信します。

（外線）に（キノウ(F)）と（短縮）と（オート）を割り付けます。（21ページ）

（電話帳）ボタンの登録方法は、「電話帳ボタンの登録」（26ページ）をご覧ください。

カナ文字入力時に以下のこともできます。

（会議）を押すと、最後の１桁（またはカーソル位置）を削除します。

（内線）を押すと、右にカーソル移動します。

ワンタッチで発信／確認／消去／変更

かけかた

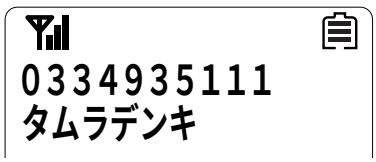
1 (☎) を押す

⇨ ☎ ランプ：緑点灯
⇨ 老番の未使用外線ランプ：緑点灯

2 (オート) を押す

※ 工事設定により、(オート) を押すだけで発信できるようにすることもできます。

⇨ 表示例：タムラデンキへ発信

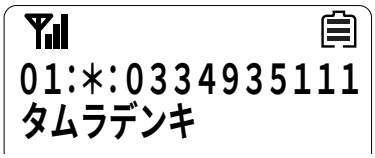


確認のしかた

1 (短縮) を押す

2 (オート) を押す

電話番号が表示桁数以上の場合は、(会議) を押すと続きの電話番号が表示されます。
表示は約20秒後に、カレンダー時計表示に戻ります。



消去のしかた

電話番号および短縮番号を消去する場合

「登録のしかた」（37〜38ページ）1、2、3、4、(会議)・・・(会議)※、8の順に行います。

※ 電話番号が10桁の場合、(会議) を10回押します。

※ 電話番号を消去して名前登録が残った場合、電話番号のところに〈メッセージ〉と表示されます。再度電話番号を登録すると＜メッセージ＞表示は消えます。

名前を消去する場合

「登録のしかた」（37〜38ページ）の操作1、2、3、6、(フック 機能/クリア)、8の順に行います。

※ 短縮番号、電話番号、名前を同時消去するときは、「登録のしかた」（37ページ）の操作1、2、3、(会議)、8の順に行います。

変更のしかた

電話番号および短縮番号を変更する場合

「登録のしかた」（37〜38ページ）の操作1、2、3、4、(会議)・・・(会議)※、新しい番号を入力、8の順に行います。

※ 変更前の電話番号または短縮番号が消去されるまで、(会議) を押します。

名前を変更する場合

「登録のしかた」（37〜38ページ）の操作1、2、3、6、(フック 機能/クリア)（名前消去）、7、8の順に行います。

メモ

(外線) に (会議) を割り付けます。（21ページ）

発信記録から発信

最後にかけた電話番号から10件まで記録し、その10件の中から選んでかけ直すことができます。

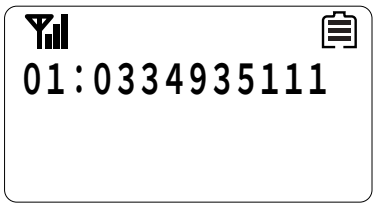
かけかた

1 短縮 を押す

2 #▷ を押す

電話番号が14桁以上の場合は、会議 を押すと続きの電話番号が表示されます。
※MT100se/200seの場合は13桁以上です。

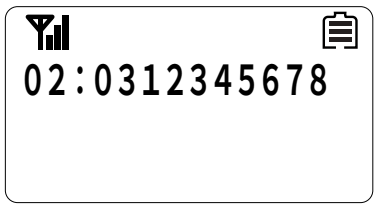
⇨ 表示例：最後にかけた電話番号



3 #▷ を押すたびに１件ずつ、最新の発信記録から古い記録を表示します。

#▷ を押すと、表示されている電話番号の１件前に発信した電話番号が表示されます。
＊◁ を押すと、表示されている電話番号の１件後に発信した電話番号が表示されます。
表示されている発信記録は約20秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。

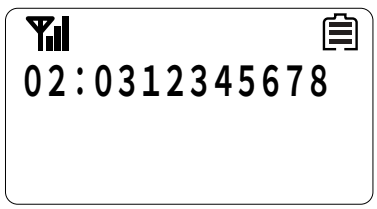
⇨ 表示例：最新から２番目電話番号



4 ☎ を押すと、表示された電話番号へ発信します

⇨☎ ランプ：緑点灯
⇨ 老番の未使用外線ランプ：緑点灯

⇨ 表示例：0312345678へダイヤル



メモ

操作１、２の 短縮 、#▷ は、発信記録 として オート （未使用 外線 ）に登録できます。
（ 短縮 → オート → キノウ(F) → 2カ ABC 1、アア 3サ DEF → キノウ(F) の操作で 発信記録 は登録できます）
登録後は、 発信記録 で最後にかけた電話番号が表示され、 #▷ を押すたびに1件前の発信記録が表示されます。また、＊◁ を押すたびに１件後の発信記録が表示されます。発信記録の確認後、 ☎ （または 外線 ）の操作により発信します。
外線 に キノウ(F) と 会議 と 短縮 と オート を割り付け（21ページ）してから、発信記録 を登録します。
発信記録がない場合、操作２を行うと「データ　ナシ」が５秒間表示されます。
MT100se/200seの場合、発信記録の表示が異なります。表示例「#01：0334935111」

発信記録の消去

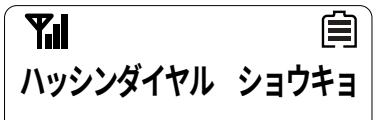
発信記録の消去のしかた（一括消去）

1 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点灯

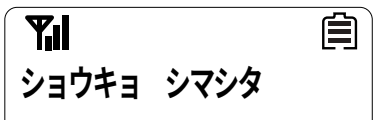
2 5 ナ JKL ＃ を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅



3 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯



メモ

1、2、3の操作は、オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）
発信記録の消去は、電話機毎に一括で消去されます。
外線 に キノウ(F) を割り付けてから消去します。（21ページ）
デジタルコードレス電話機が持つリダイヤル（25ページ）のメモリは、消去されません。

発信記録の個別消去

発信記録の消去のしかた（個別消去）

1 短縮 を押す

⇨ 会議ランプ：赤点滅

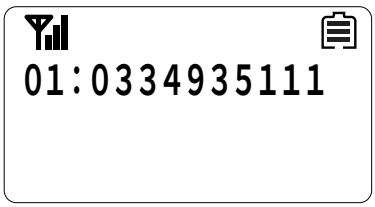
2 #▷ を押す

⇨ 会議ランプ：消灯

電話番号が14桁以上の場合は、会議 を押すと続きの電話番号が表示されます。

※MT100se/200seの場合は13桁以上です。

⇨ 表示例：最後にかけた電話番号



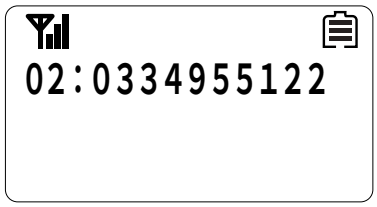
3 #▷ を押すたびに１件ずつ、最新の発信記録から古い記録を表示します。

#▷ を押すと、表示されている電話番号の1件前に発信した電話番号が表示されます。

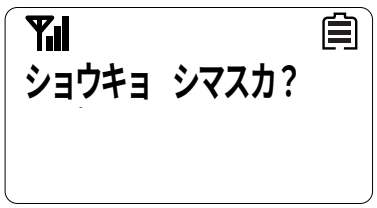
＊◁ を押すと、表示されている電話番号の1件後に発信した電話番号が表示されます。

表示されている発信記録は約20秒後に、カレンダー・時計表示に戻ります。

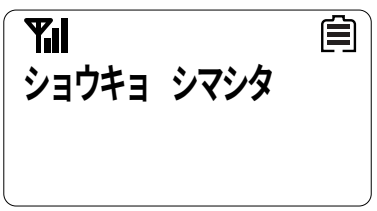
⇨ 表示例：最後から２番目の電話番号



4 短縮 を押す



5 キノウ(F) を押す



メモ

操作５の キノウ(F) 押下で１件消去後、操作３の #▷ の操作に戻ることにより、連続消去ができます。

発信記録がなくなると、「データ　ナシ」が５秒間表示されます。

操作１、２の 短縮 、#▷ は、 発信記録 として オート（未使用 外線 ）に登録できます。

発信記録 ボタンの登録方法は、「発信記録から発信」のメモ欄（40ページ）をご覧ください。

デジタルコードレス電話機が持つリダイヤル（25ページ）のメモリは、消去されません。

MT100se/200seの場合、発信記録の表示が異なります。表示例「#01：0334935111」

着信記録から発信

「発信者番号通知サービス」で表示された電話番号を最新の記録からシステムで100件までを記録し、表示することができます。また、表示された電話番号へ自動発信することができます。

※ 名前が登録してある共通短縮ダイヤルと電話番号が一致している場合には、名前が表示されます。
※ 着信記録には、最後にその通話に応答した内線番号が記録されます。
※ デジタルコードレス電話機では、自動的に繰り返しかけ直すことができません。
※ MT100se/200seの場合は、システムで50件まで着信記録を表示します。

1 会議 を押す

⇨ 会議ランプ：赤点滅

2 応答 を押す

⇨ 会議ランプ：消灯

応答 を押すたびに1件ずつ、最新の着信記録から古い記録を表示します。

応答 を押したあとに #▷ を押すと、表示されている電話番号の１件前の着信記録が表示されます。

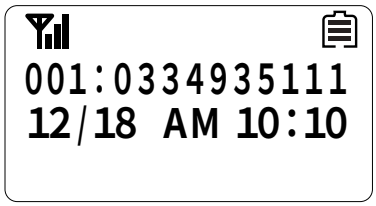
＊◁ を押すと、表示されている電話番号の１件後の着信記録が表示されます。

着信記録は、約20秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。

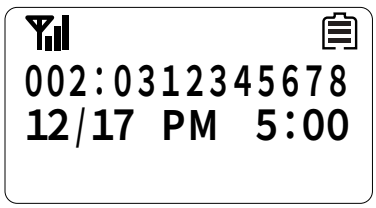
着信記録はシステムで100件まで電話番号などを表示します。

※MT100se/200seの場合はシステムで50件まで表示します。

⇨ 表示例：12月18日午前10：10に0334935111からの着信（最新の着信記録）



⇨ 表示例：12月17日午後５：00に0312345678からの着信（最新より一つ古い着信記録）



3 ☎（または 外線 ）を押す

⇨ 捕捉した外線ランプ：緑点灯

⇨ ☎ ランプ：緑点灯

表示している着信記録へ自動発信します。

メモ

着信記録を消去する場合は キノウ(F) ➡ 5ナ JKL ＊◁ ➡ キノウ(F) で消去できます。（一括消去）

消去する操作は、 オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

操作１、２の 会議 、 応答 は、 着信記録 として オート（未使用 外線 ）に登録できます。

着信記録 ボタンの登録方法は、「着信記録からの短縮ダイヤル登録」のメモ欄（36ページ）をご覧ください。

登録後は、 着信記録 で最新の着信記録が表示され、 #▷ を押すたびに１件前の着信記録が表示されます。また、＊◁ を押すたびに１件後の着信記録が表示されます。着信記録の確認後、 ☎ （または 外線 ）の操作により発信します。

着信記録表示の状態から、 保留 を押すとその通話への最後に応答した内線番号（または内線名前）と相手先電話番号を確認することができます。

着信記録がない場合、操作２を行うと「データ　ナシ」が５秒間表示されます。

MT100se/200seの場合、着信記録の表示が異なります。表示例「＊01：0334935111」

着信記録の個別消去

着信記録の消去のしかた（個別消去）

1 会議 を押す

⊟ 会議ランプ：赤点滅

2 応答 を押す

⊟ 会議ランプ：消灯

応答 を押すたびに1件ずつ、最新の着信記録から古い記録を表示します。

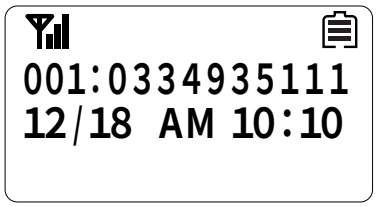
応答 を押したあとに ＃▷ を押すと、表示されている電話番号の１件前の着信記録が表示されます。

＊◁ を押すと、表示されている電話番号の１件後の着信記録が表示されます。

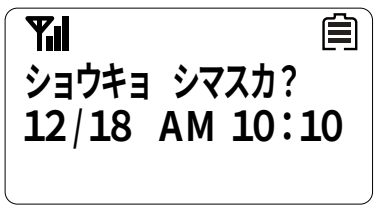
着信記録は、約20秒後にカレンダー・時計表示に戻ります。

着信記録はシステムで100件まで電話番号などを表示します。

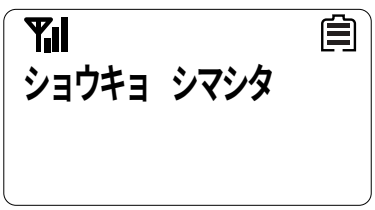
※MT100se/200seの場合はシステムで50件まで表示します。



3 短縮 を押す



4 キノウ(F) を押す



メモ

操作４の キノウ(F) 押下で１件消去後、操作２の 応答 の操作に戻ることにより連続消去ができます。

操作１、２の 会議 、 応答 は、 着信記録 として オート （未使用 外線 ）に登録できます。

着信記録 ボタンの登録方法は、「着信記録からの短縮ダイヤル登録」のメモ欄（36ページ）をご覧ください。

MT100se/200seの場合、着信記録の表示が異なります。表示例「＊01：0334935111」

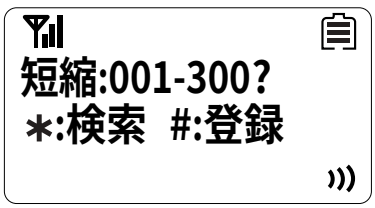
名前を確認してから電話をかける〔メモリダイヤル〕

名前と電話番号を、デジタルコードレス電話機に登録しておきます。
登録しておくと簡単な操作で、相手の名前と電話番号を表示部で確認しながら、電話をかけられます。

登録のしかた

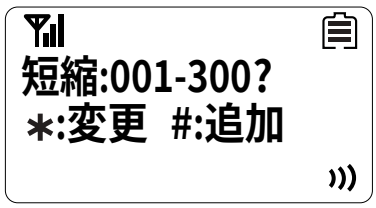
電話番号、名前の順に登録します。300件まで登録できます。

1 (コール 文字/P) を押す



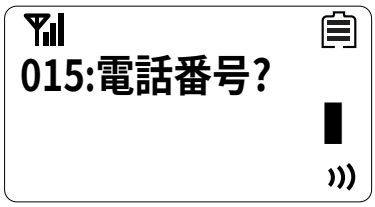
2 (＃▷) を押す

メモリダイヤルの登録モードになります。



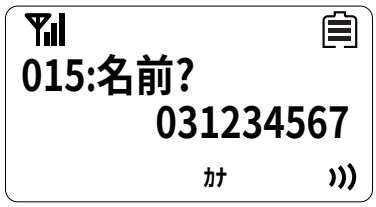
3 登録の追加をするときは (＃▷) を押す

電話番号の入力モードになります。
※ (＃▷) の代わりにメモリダイヤル番号（001～300のいずれか）を直接入力して登録することもできます。



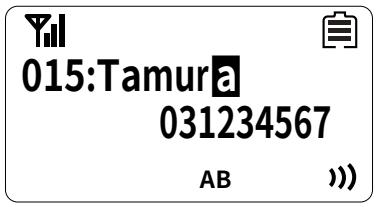
4 電話番号を数字ボタンで入力して、(保留 再送/決定) を押す

名前入力モードになります。



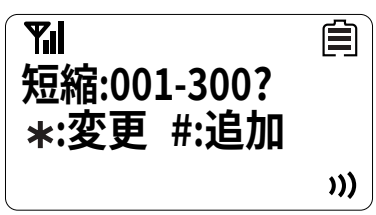
5 数字ボタンで文字を入力する

（63ページの文字入力表を参照してください）
最大12文字まで登録できます。（濁点「゛」「゜」も１文字としてカウントします）
(コール 文字/P) を押すことでカナ→AB→（数字）の入力モードが切り替わります。



6 文字を入力したら (保留 再送/決定) を押す

メモリダイヤルに登録されます。
続けて登録するときは (＃▷) (＃▷) を押します。

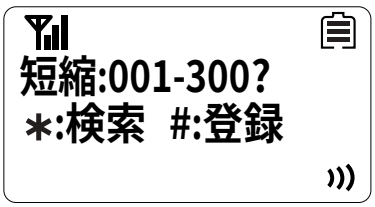


かけかた

名前から文字検索をして発信することができます。

1 (コール 文字/P) を押す

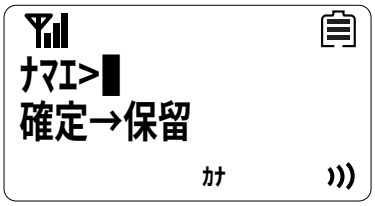
メモリダイヤルのメニューを表示します。



2 (＊) を押す

検索モードになります。

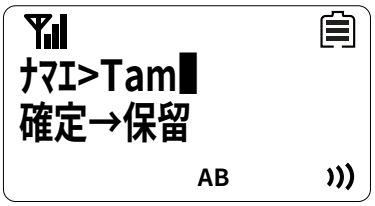
(＊) の代わりにメモリダイヤル番号（001～300のいずれか）を直接入力することもできます。



3 検索する文字を１文字から最大12文字で入力する

（63ページの文字入力表を参考にしてください）

文字を入力しないで (保留 再送/決定) を押すと、若番に入力されたメモリダイヤルが表示されます。



4 (保留 再送/決定) を押す

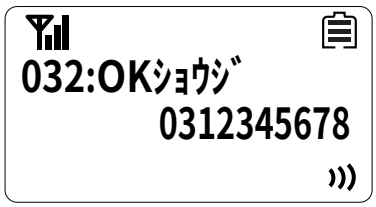
検索結果を表示します。

該当する文字列がなかった場合には、「見つかりません」と表示します。ただし、１文字のみの検索のときは、１文字の次文字で始まる名前を表示することができます。

5 (＊)（▲）または (＃)（▼）を押す

検索結果の次のデータを表示します。

(＊) または (＃) を押し続けると、自動的にスクロール表示となります。

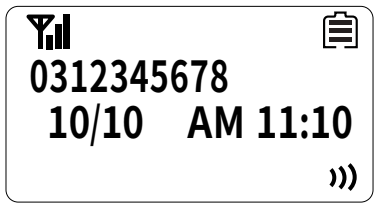


6 かけたい番号が表示されているときに (☎) を押す

⊟☎ ランプ：緑点灯

⊟ 老番の未使用外線ランプ：緑点灯

その番号で発信できます。

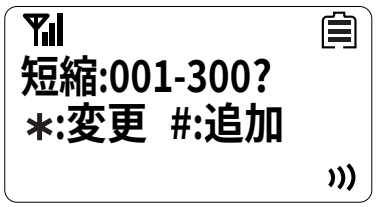


47ページへ続く

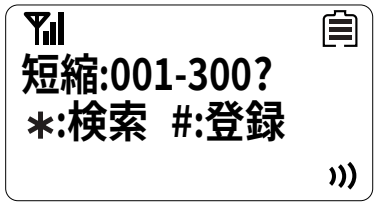
変更または消去のしかた

すでに登録してある内容に変更や修正を加える必要が生じたときや、不要になったメモリダイヤルを消去（削除）するときは、次の例を参考にしてください。
※下記の操作３または４のときに（フック 機能/クリア）を長く押すと、名前と番号が同時に消去できます。

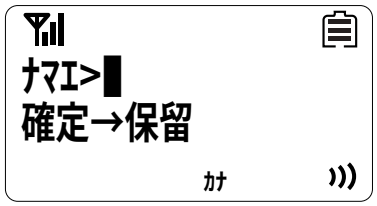
1 （コール 文字/P）を押す



2 （＃）を押す
メモリダイヤルの登録モードになります。

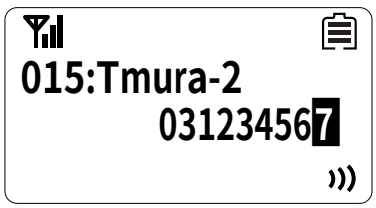


3 （＊）を押す
変更モードになります。
※（＊）の代わりにメモリダイヤル番号（001～300のいずれか）を直接入力して変更することもできます。

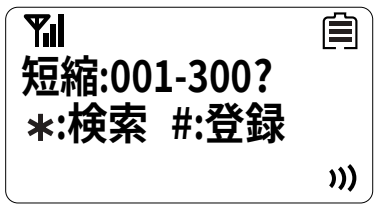


4 変更したい名前を入力して、（保留 再送/決定）を押す
名前変更モードになります。

5 名前の登録を変更して（保留 再送/決定）を押す
番号変更モードになります。
名前に変更がないときは（保留 再送/決定）だけを押します。
※名前の登録時に、（＊）でカーソル（▮）が左へ、（＃）でカーソルが右へ移動します



6 電話番号を入力して（保留 再送/決定）を押す
変更が完了します。
番号に変更がないときは（保留 再送/決定）だけを押します。



メモ

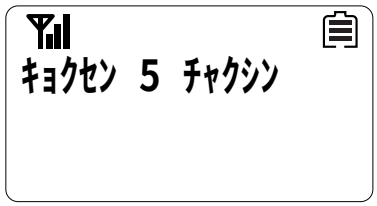
重要な内容（登録した名前や電話番号など）は必ず紙などに控えておいてください。
デジタルコードレス電話機は、使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。
本製品の故障、誤動作、不具合などにより、利用の機会を逸したために発生した損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの純粋経済損害の保証につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話がかかってきたら発信／応答ボタンを押す〔自動選局応答〕

※外線に割り付けた応答（21ページ）を押しても同様に応答できます。

1 着信音が鳴る

- 外線ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：赤点滅



2 ☎を押す

- 外線ランプ：緑点灯
- ☎ランプ：緑点灯
- 着信ランプ：消灯

3 外線相手と通話する

4 通話が終ったら電源を押す

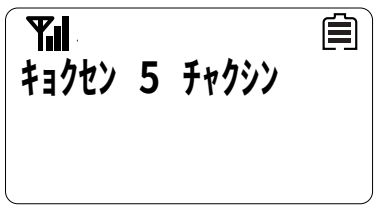
- 外線ランプ：消灯
- ☎ランプ：消灯

電話がかかってきたら外線ボタンを押す〔任意外線応答〕

※外線着信音が鳴動または停止にかかわらず、外線ボタンを押すと応答できます。
※かかってきた外線に対応するボタンがないときや、各種機能を割り付けた外線ボタン（21ページ）については、指定外線捕捉（81ページ）またはコールピックアップ（81ページ）の操作をします。

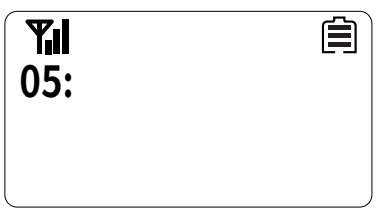
1 着信音が鳴る

- 外線ランプ：赤点滅
- 着信ランプ：赤点滅



2 外線を押す。

- 外線ランプ：緑点灯
- ☎ランプ：緑点灯
- 着信ランプ：消灯



3 外線相手と通話する

保留

保留操作により外線通話中の相手に待ってもらうときに、保留音を流します。

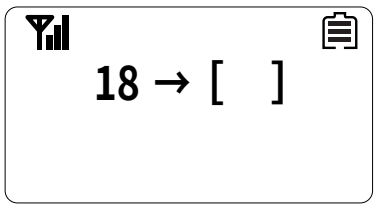
※保留後３分経過すると保留警報音「プルル　プルル　プルル　プルル…(断続)」が鳴ります。
　工事設定により１分、２分、４分、無制限のいずれかに変更できます。

1 外線通話中に 保留/再送/決定 を押す

- 外線ランプ：緑点滅
- 内線ランプ：緑点灯

外線相手に保留音が流れます。

表示例：内線18



2 再通話するときは、保留中の 外線 を押す

- 外線ランプ：緑点灯
- 内線ランプ：消灯
- ☎ ランプ：緑点灯

外線に対応する外線ボタンがないときは 内線 → 9ラWXYZ 6ハMNO 2カABC を押す

メモ

操作１のあと、電源 を押すと、外線ランプの緑（点滅）は赤（点滅）に変わります（点滅周期も変わります)。なお、外線ランプは 電源 を押してから約10秒後、自動的に消灯しますが、このときに 電源 などのボタンを押すことで再度、約10秒間表示させることができます。

ただし、発信操作や着信があった場合の外線ランプは、通常通りの表示となります。

また、デジタルコードレス電話機を充電器に置いているときの外線ランプは常時表示となります。

※アンテナの表示が消えている間（ 電源 を押したあとなど）の外線ランプは消灯します。

複数の外線を保留したときは、「 内線 → 9ラWXYZ 6ハMNO 2カABC 」の操作で最後に保留した外線に再応答します。

その後は、保留されている外線の若番から順番に再応答します。

内線通話後に外線を転送する〔自動転送〕

※工事設定により自動転送が停止できます。

転送する側　例：内線18

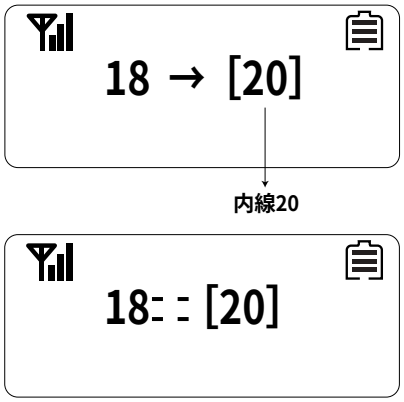
1 外線通話中に 保留 再送/決定 を押す

⇨ 外線ランプ：緑点滅
⇨ 内線ランプ：緑点灯
外線相手に保留音が流れます。

2 内線番号を押す

⇨ 呼出音「プープー…（連続）」

⇨ 内線相手の番号表示



3 内線相手と通話する

転送することを伝えてください。

4 電源 を押す

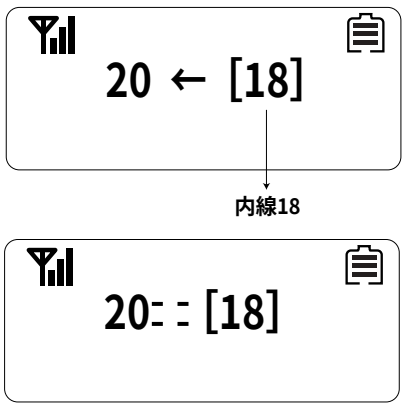
⇨ 外線ランプ：赤点灯
⇨ 内線ランプ：消灯

転送される側　例：内線20

1 内線呼出音が鳴る

⇨ 内線ランプ：緑点滅
⇨ 着信ランプ：赤点滅

⇨ 内線相手の番号表示



2 内線 を押す

⇨ 内線ランプ：緑点灯
⇨ 着信ランプ：消灯

3 内線相手と通話する

4 外線相手と通話する

内線相手が通話を切ると、自動的に外線相手とつながります。
⇨ 外線ランプ：緑点灯
⇨ ☎ ランプ：緑点灯

内線通話をしないで直接外線を転送する〔強制転送〕

※工事設定により強制転送が停止できます。

転送する側

1 外線通話中に 保留 再送/決定 を押す

- 外線ランプ：緑点滅
- 内線ランプ：緑点灯

外線相手に保留音が流れます。

2 内線番号を押す

- 呼出音「プープー…（連続）」

3 電源 を押す

- 外線ランプ：赤点滅
- 内線ランプ：消灯

※転送される側が応答しないで、約30秒経過したときは、４’、５’の操作をします。

4’ 保留警報音「プルル　プルル　プルル　プルル…（断続）」が鳴るので、保留中の 外線 を押す

- 外線ランプ：緑点滅から緑点灯に変わる
- 着信ランプ：赤点滅から消灯に変わる
- ☎ ランプ：緑点灯

5’ 再度、外線相手と通話する

転送される側

1 内線呼出音が鳴る

- 着信ランプ：赤点滅
- 外線ランプ：緑点滅

2 約30秒以内に保留中の 外線 を押す

- 外線ランプ：緑点灯
- 着信ランプ：消灯
- ☎ ランプ：緑点灯

3 外線相手と通話する

内線相手に呼びかけて転送する〔口頭転送〕

転送する側

1 外線通話中に 保留 再送/決定 を押す

- 外線ランプ：緑点滅
- 内線ランプ：緑点灯

外線相手に保留音が流れます。

2 ☎ 電源 を押す

- 外線ランプ：赤点滅
- 内線ランプ：消灯

3 口頭で呼びかける

転送される側

1 ☎ 電源 、保留中の **外線** を押す

- 内線ランプ：緑点灯
- 外線ランプ：赤点滅から緑点灯に変わる

外線に対応するボタンがないときは、指定外線捕捉の操作をします。

2 外線相手と通話する

メモ

転送される側の操作１で、外線ランプが消えているときは、先に ☎ 電源 を押すと外線ランプの状態がわかります。
操作３で、口頭で呼びかける場合は、保留した外線が何番か伝えるようにして下さい。

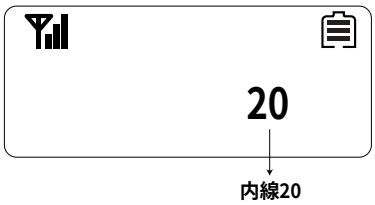
内線を信号音で呼び出す〔信号音個別呼出〕

デジタルコードレス電話機は、工事設定に関係なく信号音の内線呼出音が鳴ります。
※デジタルコードレス電話機には、音声個別呼出（内線を音声で呼び出す）ができません。

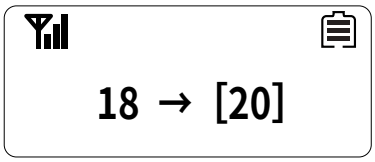
呼び出し側　例：内線18

1 内線番号を押す

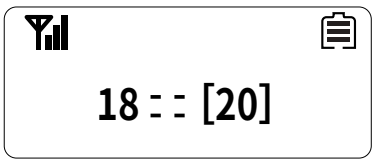
⊟ 内線相手の番号表示



2 (内線) を押す
⊟ 内線ランプ：緑点灯
操作1、2が逆でも呼び出せます。



3 内線相手と通話する

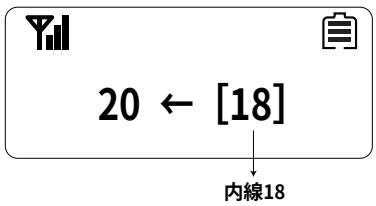


4 内線通話が終ると (電源) を押す
⊟ 内線ランプ：消灯

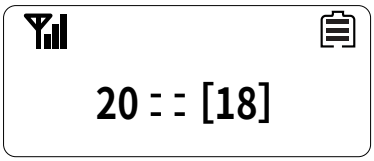
受ける側　例：内線20

1 内線呼出音が鳴る
⊟ 内線ランプ：緑点滅
⊟ 着信ランプ：赤点滅

⊟ 内線相手の番号表示



2 (内線) を押す
⊟ 内線ランプ：緑点灯
⊟ 着信ランプ：消灯



3 内線相手と通話する

4 内線通話が終ると (電源) を押す
⊟ 内線ランプ：消灯

内線代理応答

呼び出されている内線の代わりに他の内線で応答ができます。
※自テナント内で内線代理応答ができます。

9 6 1※1 → 内線※1 → 内線相手と通話する
※1「内線 → 9 6 1」でも操作できます。

一斉呼出・電話機グループ呼出

※電話機グループ呼出を行なう場合、電話機ごとにグループA～Cのいずれかに工事設定します。

呼び出し側

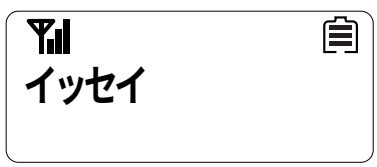
1 内線特番（3桁）を押す
- 9 7 0 **：音声一斉呼出**
- 9 7 1 **：グループA**
- 9 7 2 **：グループB**
- 9 7 3 **：グループC**
- 9 7 7 **：未使用の全電話機と構内放送からの呼び出しを同時に行なう**

2 内線 を押す
⇨ 内線ランプ：緑点灯
操作1、2が逆でも呼び出せます。

3 内線相手と通話する

受ける側

1 内線呼出音が鳴る



2 内線 を押す
⇨ 内線ランプ：緑点灯

3 9 7 4 を押す

4 内線相手と通話する

メモ
呼び出された側（受ける側）では、内線相手の音声が出ません。（他のPF・TD・FD・WS電話機で確認できます）
個別の着信中の一斉着信についての表示は、個別着信のままになります。

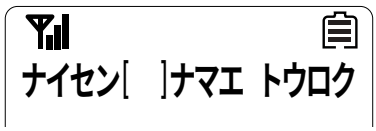
内線名前表示

あらかじめ内線番号に対応させて名前をカナ登録（最大７文字）しておくと、内線の発着信時、他の人が使用している外線ボタンを押下した時に登録されている内容が表示されます。
※(外線)に(キノウ(F))を割り付けます。（21ページ）

登録のしかた

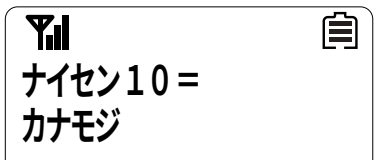
1 (キノウ(F)) を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点灯

2 (9ラ WXYZ) (6ハ MNO) を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅



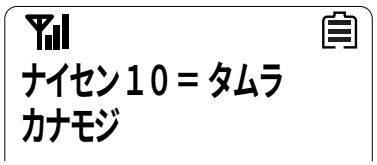
3 内線名前を登録する内線番号をダイヤルする
内線番号は10～89の間で割り付けられています。

⇨ 表示例：内線番号10の名前を登録



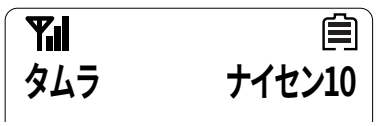
4 カナの名前は、最大７文字まで登録できます
(電話帳)（26ページ参照）を押すと、カナモジ→エイモジ→表示なし（数数字）の順に入力モードが切替ります。

⇨ 表示例：名前にタムラを登録



5 (キノウ(F))を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：消灯
連続登録する場合は操作１～５を繰り返します。

⇨ 表示例：内線番号10に「タムラ」表示



登録できる文字・数字一覧表

ボタン名称	カタカナモード	英文字モード	表示なし（数字）
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	ｽﾍﾟｰｽ（空き）	1
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8	ﾔｭﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0	ﾜｦﾝﾞﾟ ー・！？、。	@.〜／：＿！？ﾞ＆（）’$ %+ ,;＜＝＞［\］^`{¦}「」＊＃	0
＊	カーソル左移動で文字消去（またはカーソル位置の文字消去）		
＃	カーソル右移動（同じ文字を続けて入力するときなどに押します）		
フック	入力した文字を全て消去		

消去のしかた

内線名前を消去する場合は、登録操作1、2、3を行った後に、(フック 機能/クリア)、(キノウ(F))と押してください。

スライド着信

工事設定により代表番号を呼び出したとき、内線の代表番号が話し中の場合は、指定した電話機を呼び出します。
※工事設定で内線のグループ編成をし、内線代表電話機の設定ができます。

内線代表番号を押す ➡ 内線が通話中 ➡ 内線グループ内の次の内線番号を呼び出す

内線独占保留

内線通話を独占して保留することができます。
※内線相手に保留音を流します。
※内線通話を保留した電話機のみ、再通話の操作が可能です。（独占保留）

内線通話中に 保留（再送/決定） を押す ➡ 再通話するときは 会議 を押す

メモ

内線通話中に 保留（再送/決定）、 電源 を押すと、会議ランプが消えますので、再通話するときは、 内線 会議 を押します。
外線 に 会議 を割り付けます。（21ページ）

内線システム保留

内線通話をシステムで保留することができます。

※ 内線相手に保留音を流します。
※ 内線通話を保留にした電話機以外でも再通話が可能です。
※ 内線システム保留はシステムで1つです。
※ 外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

内線通話中に キノウ(F) を押す➡ 3 サ DEF

同じ操作を繰り返すと再通話ができます。

内線保留転送

内線通話中の内線を他の内線に転送することができます。

内線通話中に 保留 再送/決定 を押す➡ 内線番号を押す➡ 内線呼出音が鳴る➡
➡ 他の内線と通話する➡ ☎ 電源 ➡ 他の内線に自動的に転送される

不在設定

席を離れるときなどに内線呼出し音をストップするようセットします。

設定のしかた

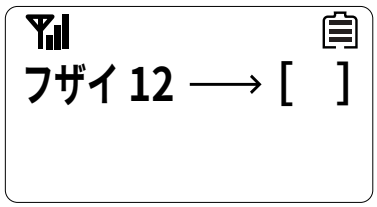
1 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 6 MNO 0 ワ゛ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

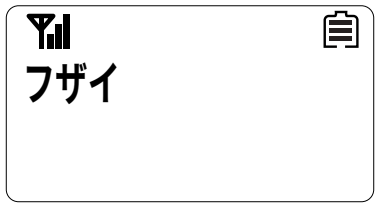
⇨ 表示例：内線12



3 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤ゆっくり点滅

⇨ 約５秒後に表示が消えます。



解除のしかた

1 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

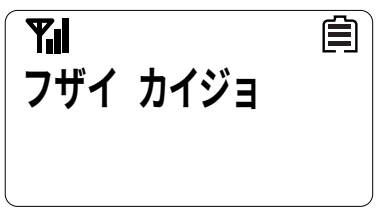
2 6 MNO 9 WXYZ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

3 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

⇨ 約５秒後に表示が消えます。



メモ

設定のしかたおよび解除のしかたの操作1、2、3は、オート（未使用外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

すべての電話機の不在設定を解除するときは 6 MNO 9 WXYZ の代わりに 6 MNO 8 TUV を押します。

外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

不在転送

自分にかけてきた内線を別の内線番号の電話機へ転送することができます。

設定のしかた

設定後に発着信などの操作があると、キノウ(F)ランプは赤点滅となります。
(不在転送の設定が確認できます)

キノウ(F) ⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯 → 6 0 ⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅 →

→ 転送先の内線番号を押す → キノウ(F) → 電源 ⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

解除のしかた

キノウ(F) ⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯 → 6 9 ⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅 →

→ キノウ(F) ⇨ キノウ(F)ランプ：消灯
「フザイカイジョ」表示 → 電源

メモ

外線 に キノウ(F) を割り付けます。(21ページ)

コールウェイティング

呼び出した内線相手が通話中の場合、そのまま待っていれば内線相手の通話が終わりしだい呼び出します。

コールウェイティングをする

内線番号を押す※1 → 内線※1 → 内線相手が通話中のときにビジートーン「プープー…(連続)」が鳴る

※1「内線 → 内線番号」でも操作できます。

コールウェイティングに応答する

内線相手の通話が終る → 内線相手側が電源を押す → 内線相手の電話機から内線呼出音が鳴る →

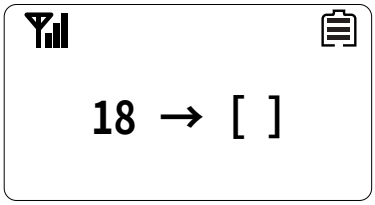
→ 内線相手側が内線を押す → コールウェイティングを行なった自分のデジタルコードレス電話機と内線通話をする

内線リコール

内線通話が終わり内線相手が電話を切ったときに、（自分のデジタルコードレス電話機は電話を切らないまま）ビジートーンが聞こえたり、または接続されていない内線番号を押したときにエラートーンが聞えます。そのときフックボタン、内線番号を押すと新たに内線通話ができます。
※ ビジートーン、エラートーンとも「プープー・・（連続）」が鳴ります。　⊟表示例：Busy

1 ビジートーンまたはエラートーンが鳴っているときに フック 機能/クリア を押す

⊟ 表示例：内線18



2 内線番号を押す

3 内線相手と通話する

リセットコール

呼び出した内線相手が通話中または応答しないときに、そのままで別の内線番号を押すと呼び出しができます。

キーロックの設定

持ち運ぶ途中に誤ってダイヤルなどを押さないように、キーをロックすることができます。

設定のしかた

1 待機状態で フック 機能/クリア を長く押す

キーロックの設定状態になります。

フック 機能/クリア と 電源 以外は無効となります。

解除のしかた

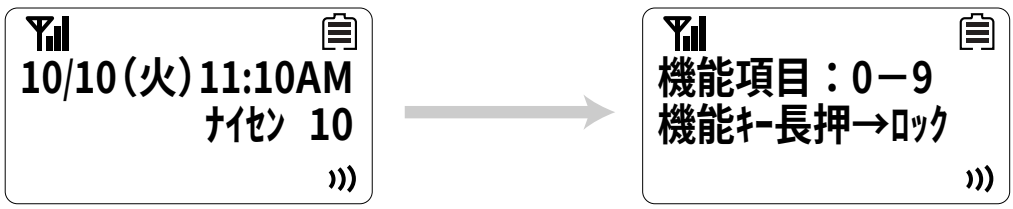
1 キーロック設定の状態で フック 機能/クリア を長く押す

キーロックの解除状態になります。

機能モードの使い方

待機状態で フック 機能/クリア を押すと、デジタルコードレス電話機機能メニュー表示となります。機能メニュー表示から次のページの項目番号を選ぶことで、各種機能の設定／変更をすることができます。

1 待機状態で フック 機能/クリア を押す



2 機能メニュー表示になる

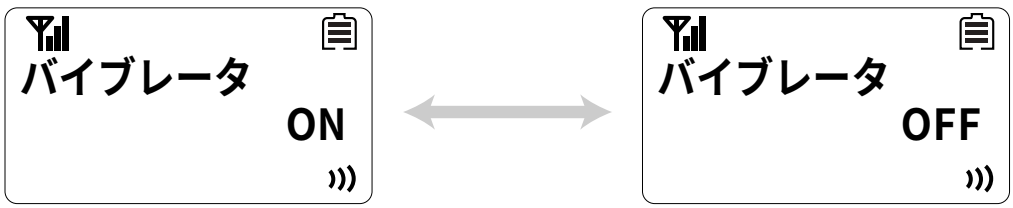
項目番号１桁または２桁を入力することで、次のページに示す表の項目を設定することができます。

例：5 JKL 1 を押すとバイブレータの設定モードになります。

⇨ 表示例

3 数字ボタンで番号や文字を入力したり、＊ ＃ で設定を切り替える

⇨ 表示例



4 保留 再送/決定 を押すと、表示中の設定が登録され、待機状態に戻る

機能項目一覧表

項目番号		項　　目	内　　容	購入時の設定
0		自局番号表示	この機能には対応していません ※内線番号は通常の待ち受け画面に表示されます	000
1		自営発信モード		
1	0	自動モード	この機能には対応していません	―
1	1	会社1モード	会社１モードに設定します	
1	2	会社2モード	この機能はご使用になれません	―
1	3	会社3モード		
1	4	家庭モード		
2		トランシーバ発信モード	この機能はご使用になれません ※誤って設定したときは会社１モード（機能11）に設定し直してください	―
2	1	トランシーバ１モード		
2	2	トランシーバ２モード		
2	3	トランシーバ３モード		
2	4	トランシーバ４モード		
3		パスワードロック機能	パスワードロックを設定します	ＯＦＦ
4		アラーム機能		
4	0	カレンダー時刻設定	年月日・時分・曜日を設定します ※本システムでは自動的に設定します	不定 （自動的に設定）
4	1	アラーム1設定	アラーム1の時刻およびその有無を設定します	00時00分 アラーム1：ＯＦＦ
4	2	アラーム2設定	アラーム2の時刻およびその有無を設定します	00時00分 アラーム2：ＯＦＦ
5		着信機能		
5	1	バイブレータ設定	バイブレータ（振動着信）の有無を設定します	ＯＦＦ
5	2	着信音種選択	着信音の種類を設定します ※家庭およびトランシーバについては現在ご使用になれません	会社外線：１ 会社内線：２
5	3	リレー着信モード	バイブレータと着信音を時間差で起動する機能を設定します	ＯＦＦ
5	4	着信自動応答回数	この機能はご使用になれません	―
5	5	外線一般着信鳴動	この機能には対応していません ※設定しないでください	ＯＦＦ
6		キー機能		
6	1	キータッチトーン設定	キーを操作したときなどの確認音の有無を設定します	ＯＮ
6	2	Ｆキーモード設定	外線ボタンをワンタッチダイヤルとして使用するときに設定します ※設定するときは注意事項があります	システム
6	3	ワンタッチダイヤル設定	ワンタッチダイヤルの電話番号・名前を設定します	（登録なし）

項目番号		項　　目	内　　容	購入時の設定
7		オプション機能		
7	1	データ通信モード	この機能はご使用になれません	―
7	2	ＰＣ編集モード	メンテナンス用に使用します	―
8		保守機能		
8	1	パスワード設定	パスワードロックおよび全設定初期化に使用するパスワードを設定します	0000
8	2	ＬＣＤコントラスト設定	ＬＣＤのコントラストを調節します	不定 （最後の調整値）
8	3	内線データ通信特番	この機能はご使用になれません	―
8	4	圏外警告音	通話時に圏外になったときの警告音の有無を設定します	ＯＮ
8	5	マイネーム（家庭）	この機能はご使用になれません	―
8	6	全設定初期化	機能モード内の全設定データおよび発着信履歴を工場出荷状態に戻します	
9		着信履歴機能	この機能には対応していません ※システムの着信記録機能をご利用ください	―

文字入力表

設定モード、メモリダイヤル登録で文字を入力するときの、各入力モードにおけるボタンと文字の対応を表わします。

ボタン名称	カタカナモード	英字モード	数字モード	記事
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.,-:;'"!#$%&()＊+/<=>?@	1	
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2	
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3	
4	ﾀﾁﾂﾃﾄ	GHIghi	4	
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5	
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6	
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7	
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8	
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9	
0	ﾜﾝﾞﾟ（ｽﾍﾟｰｽ）’-。 「」、･[\]^_	（ｽﾍﾟｰｽ）} {	0	
＊	カーソルを左に移動			
＃	カーソルを右に移動			
フック	一文字クリア（長く押すと一項目すべてクリア）			クリア
コール	文字の入力モード切替（カタカナ→英字→数字）			ｶﾅ／ 英／数

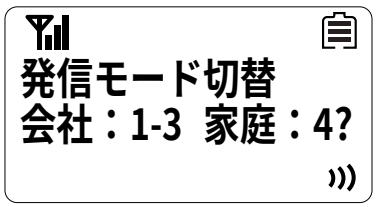
※システムの電話帳を登録するときの文字入力は、メモリ登録の場合と異なりますので、ご注意ください。

自営発信モードの設定

※現在、発信モードは会社１モードのみ対応しています。誤って他の発信モードを設定したときは、次の操作で必ず「会社１モード」に変更してください。

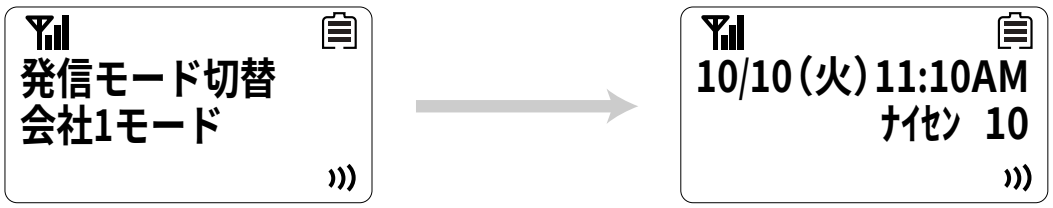
1 フック 機能/クリア 1 を押す

会社／家庭モード切替メニューを表示します。



2 1 を押す

エリア内のときは、数秒後に発信できる状態になります。



パスワードロックの設定・解除

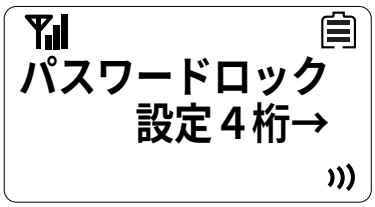
他の人が不正に使用するのを防止するためにパスワードを必要とするキーロックをかけることができます。

※パスワードを忘れると、パスワードロックを解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。

設定のしかた

1 フック 機能/クリア 3 サ DEF を押す

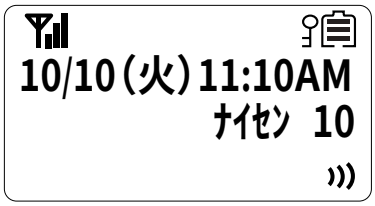
パスワードロックの設定モードに入ります。



2 設定したパスワード４桁を 0 ワ゛ ～ 9 ラ WXYZ のいずれかで入力して 保留 再送/決定 を押す

設定完了表示をしたのち、待受け状態に戻ります。

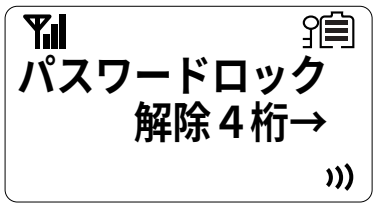
パスワードロック状態を ⚷ マークで表示します。



解除のしかた

1 フック 機能/クリア 3 サ DEF を押す

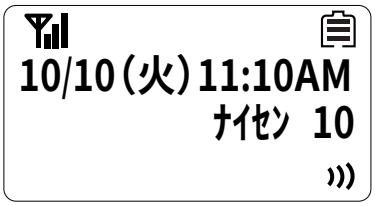
パスワードロックの解除モードに入ります。



2 設定したパスワード４桁を 0 ワ゛ ～ 9 ラ WXYZ のいずれかで入力して 保留 再送/決定 を押す

解除完了表示をしたのち、待受け状態に戻ります。

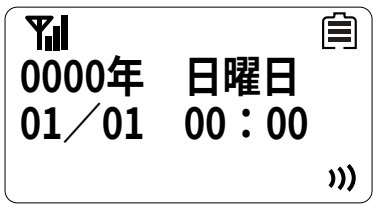
⚷ マークが消灯します。



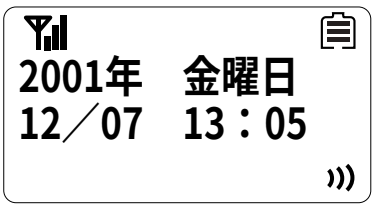
カレンダー時刻の設定

デジタルコードレス電話機の日付、時刻を設定することができます。
※本システムでは自動的に時計データがダウンロードされますので設定は不要です。

1 フック 機能/クリア　4タッ GHI　0ﾜﾞ を押す
時計の設定モードになります。



2 西暦、曜日、月、日、時、分の順序でダイヤル入力する
例：2001年12月７日（金）午後１時５分に設定するときは
2001612071305と入力します。



曜日の入力は下表を参照してください。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

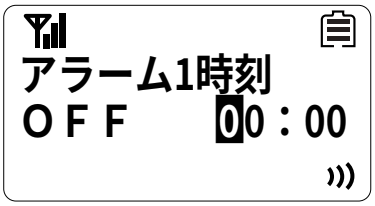
3 保留 再送/決定 を押して設定する

メモ
操作の２のとき フック 機能/クリア を押すと、秒の単位を０秒にクリアすることができます。

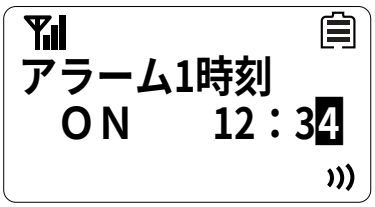
アラームの設定

設定した時刻になるとアラームが鳴るアラーム機能を２つの時刻設定ができます。
※アラーム音の音量については、小さめになっています。騒がしい場所などでは聞こえにくいことがありますので、ご注意ください。

1 フック 機能/クリア 4タッ GHI 1ｱｧ と押す
（アラーム２のときは 4タッ GHI 2カ ABC と押す）
アラーム１時刻設定モードになります。



2 アラーム設定時刻を00：00～23：59の24時間制で入力し、＊ または # で、「ON」／「OFF」の設定を切り替える
例：午後３時15分のときは1515と入力します。



3 保留 再送/決定 を押して設定する

メモ
アラームは30秒間、鳴ります。鳴動中に 電源 を押すと止まります。

バイブレータ（振動着信）の設定

着信音が他の人の迷惑になるような場所、または着信音が聞えないほどの騒音の大きな場所などで使用するときなどにバイブレータ着信の設定ができます。
※ドアホンおよびテレビドアホンの着信については、バイブレータになりませんので、ご注意ください。

1 フック 機能/クリア 5 ナ JKL 1 ア と押す
バイブレータの設定モードになります。

2 ＊ または # で、「ON」「OFF」の設定を切り替える

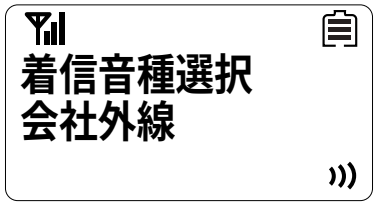
3 保留 再送/決定 を押して設定する

着信音種の選択

着信音を16種類の中から選ぶことができます。
また、外線と内線の着信音を個別に設定できます。
※家庭およびトランシーバについては、現在ご使用になれません。

1 フック 機能/クリア　5 ナ JKL　2 カ ABC を押す

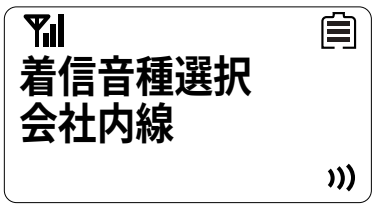
着信音種類の設定モードになります。



2 設定を変更する項目を ＃ （または ＊ ）で選ぶ

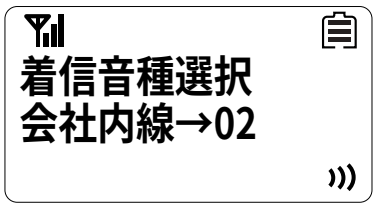
「会社外線」➡「会社内線」➡「家庭外線」➡「家庭内線」
➡「トランシーバ」の順に表示します。

設定する項目は「会社外線」「会社内線」のみです。



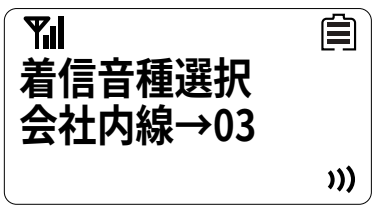
3 変更する項目を表示しているときに 保留 再送/決定 を押す

変更する項目の設定状態になります。



4 着信音の種類を ＃ （または ＊ ）で選ぶ

「01」～「16」までの番号が順次切り替わります。
切り替えと同時に、それぞれの音が３秒間鳴ります。



5 設定したい番号を表示しているときに 保留 再送/決定 を押す

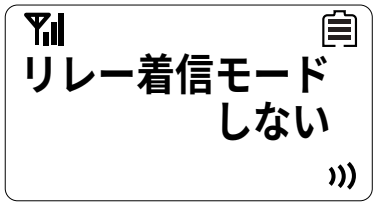
メモ　デジタルコードレス電話機は、システムで設定した着信音種別指定とは異なります。

リレー着信モードの設定

着信のときに、初めに音で知らせて約10秒間応答しなかったときにバイブレータに切り替えることができます。
また、同様にバイブレータから音に切り替えることもできます。

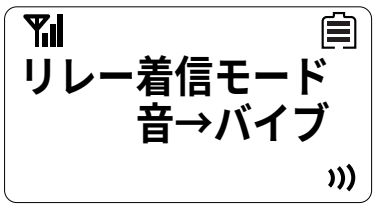
1 フック 機能/クリア　5 ナ JKL　3 サ DEF を押す

リレー着信の設定モードになります。



2 #（または ＊）を押して、設定する内容を選ぶ

「しない」➡「音→バイブ」➡「バイブ→音」の順に表示します。



3 設定したい番号を表示しているときに 保留 再送/決定 を押す

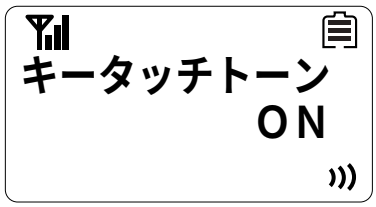
バイブレーターの設定	着信音量	リレー着信機能の設定		
		「音→バイブ」表示	「バイブ→音」表示	「しない」表示
ON	入	バイブレータと音が交互に動作		―
ON	切	バイブレータだけ	リレー着信（バイブ→音）	―
OFF	入	リレー着信（音→バイブ）	音だけ	―
OFF	切	しばらくしてバイブレータ動作	しばらくして音が漸増	―

キータッチトーンの設定

キー操作音、設定時の確認音などを鳴らさないように設定できます。

1 フック 機能/クリア 6 MNO 1 と押す

キータッチトーンの設定モードになります。



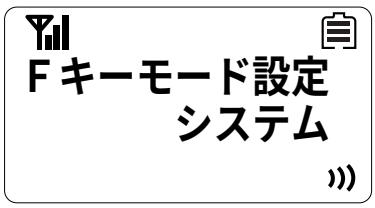
2 ＊ または ＃ で、「ON」「OFF」の設定を切り替える

3 保留 再送/決定 を押して設定する

Fキーモードの設定

外線ボタンをワンタッチダイヤル（73ページ）として使うことができます。
※ワンタッチに設定すると、外線ボタンとしての機能（割り付け機能を含む）は全て使用できなくなります。

1 フック 機能/クリア 6 MNO ハ 2 ABC カ を押す
Fキーの設定モードになります。



2 ＊ または # で「システム」「ワンタッチ」の設定を切り替える

3 保留 再送/決定 を押して設定する

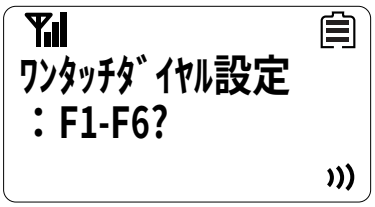
メモ

ワンタッチに切替えると、6個の外線ボタンはすべてワンタッチに切り替わります。外線ボタンとしては利用できなくなります。

ワンタッチダイヤルの設定

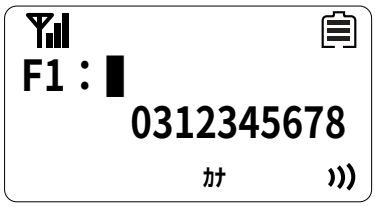
６個のＦキー（外線ボタン）にワンタッチダイヤルを設定することができます。電話番号と共に名前も設定できます。
「Ｆキーモード」（72ページ）の設定を「ワンタッチ」にする必要があります。

1 フック 機能/クリア 6 ハ MNO ＊ と押す
ワンタッチダイヤルの設定モードになります。

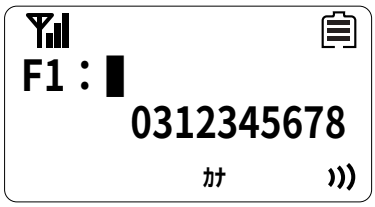


2 設定するＦキー 1 ～ 6 のいずれかを押す

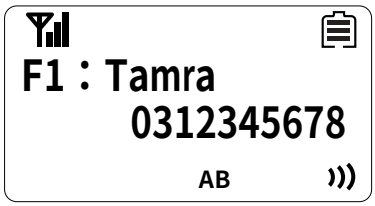
3 電話番号を数字ボタンで入力する
例：03-1234-5678のとき



4 名前を設定するときは 保留 再送/決定 を押す
名前の入力モードになります。
コール 文字/P で（カナ／英／数）入力モードを切り替えます。



5 数字ボタンと ＊ 、# で文字を入力する
（63ページの文字入力表を参考にしてください）



例えば

「Tamra」を設定する場合

コール 文字/P **（英字「AB」表示にする）→** 8 ヤ TUV **（１回）** # **→** 2 カ ABC **（４回）** # **→** 6 ハ MNO **（４回）** # **→**
→ 7 マ PQRS **（７回）** # **→** 2 カ ABC **（４回）**

6 名前を入力したあとで、保留 再送/決定 を押す

メモ

電話番号の設定桁数は、最大32桁までです。
名前の設定桁数は最大13桁までです。

パスワードの設定

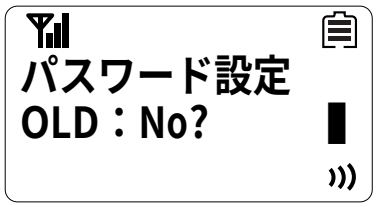
パスワードロックに使用するパスワードを設定します。

※パスワードを忘れるとパスワードロックを解除できなくなります。お手元に控えて保管するようにしてください。

※パスワードの初期値は「0000」です。

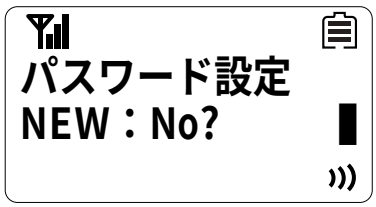
1 フック 機能/クリア 8ヤ TUV 1ア ,.-を押す

旧パスワードの入力状態になります。



2 旧パスワードを数字４桁（0ワ゛～9ラ WXYZ のいずれか）で入力し、保留 再送/決定 を押す

新パスワードの入力状態になります。

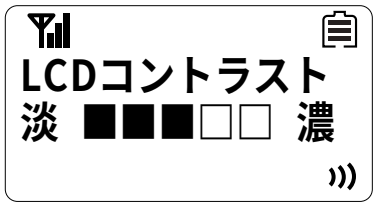


3 新パスワードを数字４桁（0ワ゛～9ラ WXYZ のいずれか）で入力し、保留 再送/決定 を押す

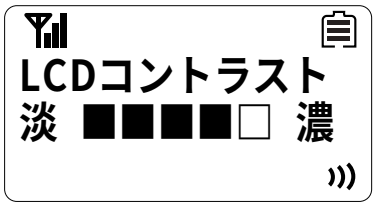
LCDコントラストの設定

LCDコントラストを５段階で調節します。

1 フック 機能/クリア 8ヤ TUV 2カ ABC と押す
LCDコントラストの設定モードになります。



2 ＊ または # で、濃淡の調節をする



3 保留 再送/決定 を押して設定する

圏外警告音の設定

通話中に圏外になったときの警告音の有無を設定することができます。

1 フック 機能/クリア 8ヤ TUV 4タ GHI と押す
圏外警告音の設定モードになります。

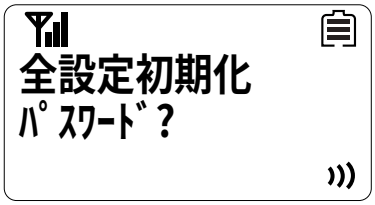
2 ＊ または # で、「ON」「OFF」の設定を切り替える

3 保留 再送/決定 を押して設定する

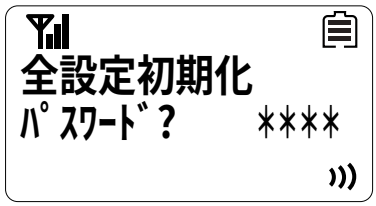
全設定初期化

機能モード内の全設定データおよび発着信履歴を工場出荷状態に戻します。
※全設定初期化を行うとパスワードも初期値「0000」に戻ります。

1 フック 機能/クリア 8 ヤヤ TUV 6 ハ MNO を押す
パスワード入力待ち状態になります。



2 設定したパスワード４桁（0 ﾜﾟ ～ 9 ﾗ WXYZ のいずれか）で入力する



3 保留 再送/決定 を押して初期化する

ダイヤル回線で相手応答後プッシュに切り替わる〔自動ＰＢ切替〕

ダイヤル回線をお使いの方でも、外線発信のときに電話がつながると自動的にPBダイヤルに切り替わり、プッシュ信号「ピポパポ」音が送出されます。
銀行の残高照会、航空券予約などのサービス、ディスプレイポケベルの操作などができます。
※サービスの利用方法は、各サービス提供先へお問い合わせください。
※PBダイヤルからDPダイヤルに切り替えることはできません。

1 サービス提供先へ電話をかける

2 サービス提供先につながる

3 サービス提供先の指示にしたがってダイヤルボタンを押す
プッシュ信号を送出します。

メモ

工事設定により、自動PB切替を使用できないように設定できます。
お買い上げ時のプッシュ信号送出時間は100msです。
70 ms、400 ms、600 ms、900 msのいずれかに工事設定で変更することができます。
ＪＲの指定席予約（＃9500）やＮＴＴの伝言ダイヤルなどのサービスは、ダイヤル回線（DP）では利用できません。
外線着信、ＮＴＴへのお問い合わせ「113」・「116」（局番なし）、およびフリーダイヤル0120などはDPダイヤルになります。（自動PB切替になりません）プッシュ信号を送出したいときは（＊）、（＃）を押します。
構内交換機（PBX）に接続している場合の外線発信は、プッシュ信号が送出されないものがあります。

キャッチホンサービスなどを受ける〔フラッシュ機能〕

キャッチホンサービスなどを受けるときや、相手の番号を押し間違えてかけ直すときなどに便利です。

1 外線通話中にキャッチホン信号が聞こえたら……
㊀キャッチホン信号音「プルルップップッ…（連続）」

2 (フック 機能/クリア)を押す
(フック 機能/クリア)を押すたびに、通話相手が切り替わります。

キャッチホンサービス

キャッチホンサービスとは、通話中に他から電話がかかってきたときに、通話相手を切り替えることができるＮＴＴの電話サービスです。
キャッチホンサービスのご依頼は、最寄のＮＴＴ窓口にお問い合わせください。

メモ

キャッチホンサービスを受けていないときや、キャッチホンの信号が聞こえないときに(フック 機能/クリア)を押すと通話が切れることがあります。

チェーンダイヤル

オートダイヤル、短縮ダイヤル、普通のダイヤル操作などを順不同に連続してダイヤルすることができます。電話番号やディスプレイポケベル番号などの長い桁数のときに便利です。

※発信したいオートダイヤル（37ページ）、短縮ダイヤル（27ページ）などが登録されていることを確認してください。
※(外線)に(オート)と(短縮)を割り付けます。（21ページ）

例えば

オートダイヤルのあとに短縮ダイヤル、普通のダイヤル番号をダイヤルする
(オート)➡(短縮)➡短縮番号 (0ワ゛)(1アァ)➡(1アァ)(1アァ)(1アァ)(1アァ)（普通のダイヤル番号）

外線会議通話

「外線１人と内線２～３人」または「外線２人と内線１～２人」の会議通話ができます。（最大４人）
※外線に会議を割り付けます。（21ページ）

外線会議通話（外線1人・内線2人）

外線通話中に、もう１人の内線を参加させたい場合

1 外線通話中に保留 再送/決定 を押す

2 会議に加えたい内線番号を押す

3 内線相手が応答したら会議することを伝える

4 会議 を押す
⇨ 会議ランプ：赤点灯
※操作１で保留 再送/決定 を押した人が会議 を押します。

外線会議通話（外線1人・内線3人）

外線会議通話中（外線１人・内線２人）に、もう１人の内線を参加させたい場合
上項の「外線会議通話（外線１人・内線２人）」と同じ操作をします。

2外線会議通話（外線2人・内線1人）

外線通話中に、もう１人の外線を参加させたい場合

1 外線通話中に保留 再送/決定 を押す

2 あいている外線 を押す

3 会議に加えたい外線相手の電話番号を押す

4 外線相手が応答したら会議することを伝える

5 会議 を押す
⇨ 会議ランプ：赤点灯
※操作１で保留 再送/決定 を押した人が会議 を押します。

2外線会議通話（外線2人・内線2人）

外線会議通話中（外線２人、内線１人）に、もう1人の内線を参加させたい場合
上項の「外線会議通話（外線１人・内線２人）」と同じ操作をします。

メモ 外線どうしの通話音量は、局線の状態により小さくなることがあります。

内線会議通話

内線４人までの会議通話ができます。
※外線に会議を割り付けます。（21ページ）

内線会議通話（内線3人）

内線通話中に、もう１人の内線を参加させたい場合

1 内線通話中に保留 再送/決定 を押す

2 会議に加えたい内線番号を押す

3 内線相手が応答したら会議することを伝える

4 会議を押す
⇨ 会議ランプ：赤点灯
※操作１で保留 再送/決定 を押した人が会議 を押します。

内線会議通話（内線4人）

内線会議通話中（内線３人）に、もう１人の内線を参加させたい場合
上項の「内線会議通話（内線３人）」と同じ操作をします。

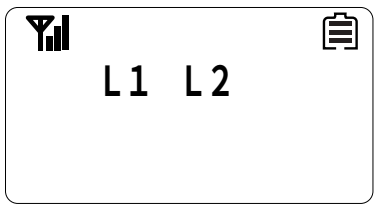
外線会議転送

外線会議転送（外線2人・内線1人）

デジタル回線で、外線会議中（外線２人・内線１人）に、内線１人が終話する（ぬける）と外線２人がそのまま外線転送状態になります。

1 外線２人・内線１人が外線会議通話中
⇨ 外線ランプ１：緑点灯
⇨ 外線ランプ２：緑点灯
⇨ 会議ランプ：赤点灯

⇨ 表示例：外線１、２と内線10が外線会議通話



2 内線１人が通話を終了します。
外線２人が外線転送状態に移行します。
⇨ 外線ランプ：２外線赤点灯

メモ 上記内容は外線会議通話中の外線２人・内線１人の場合のみ機能する内容です。（デジタル回線のみ）

ネスティングダイヤル

短縮ダイヤルに、いくつかの短縮ダイヤルを組み合わせて登録しておくと、1回の短縮ダイヤル発信操作で長い電話番号へかけることができます。
※詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください。
※外線に短縮を割り付けます。（21ページ）

かけかた

（または外線）→ 短縮 → 共通短縮番号を押す

指定外線捕捉

外線発信のとき下記の操作手順でも、いずれかの外線をつかむことができます。
特に該当する外線ボタンのないデジタルコードレス電話機で外線をつかむときに便利です。

内線 → ＊ （または 9 6 3 ）→ ダイヤルボタンで外線番号を押す※1 →
→ 電話番号を押す

※1　MT100se/sxのときは 0 1 ～ 0 8 、MT200se/sxのときは 0 1 ～ 2 0
を押します。

コールピックアップ

外線着信中に、その外線に対応する外線ボタンがない場合、コールピックアップの番号をダイヤルすると着信の外線に応答できます。

外線着信中 → 内線 → 内線特番（３桁）を押す → 外線相手と通話する
9 6 6 ：自テナント
9 6 0 ：他テナント

外線通話割込

※工事設定により、「割込可能」に設定したデジタルコードレス電話機は、外線通話を行っている他電話機に割り込むことができます。

他電話機で外線通話が行われているときに → 内線 → キノウ(F) → 会議 → 割り込む 外線 を押す※1

外線に会議、キノウ(F)を割り付けます。(21ページ)

※1 該当する外線ボタンのないデジタルコードレス電話機は、「割り込む 外線 を押す」代わりに「＊ → ダイヤルボタンで外線番号を押す → キノウ(F)」の操作もできます。

送話ミュート付き外線通話割込

工事設定によりこちらの声が外線通話中の相手に聞こえないように割り込むことができます。(外線通話割込指定)

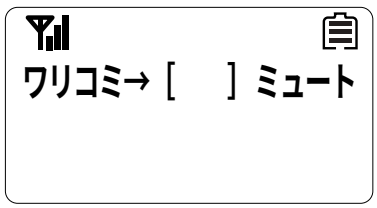
他の電話機が外線通話中

1 他の電話機で外線通話が行われているときに、内線 を押す

⇨ 内線ランプ：緑点灯

2 9 8 6 を押す

⇨ 表示例：外線 入力待ち



3 割り込む 外線 を押す

⇨ 内線ランプ：消灯
⇨ 外線ランプ：緑点灯
⇨ 会議ランプ：赤点灯

メモ

操作2の内線特番は、オート(未使用外線)に登録できます。(詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください)
登録後は次のような操作になります。
オート → 割り込みたい 外線 を押す
「割り込む 外線 を押す」代わりに次のように操作しても外線通話割り込みができます。
① ＊ → ダイヤルボタンで割込む外線番号(MT100se/sxは01～08、MT200se/sxは01～20)のいずれかを押す → キノウ(F) を押す
② ダイヤルボタンで割込む外線を使用している内線番号(10～89)のいずれかを押す → キノウ(F) を押す

Fランプのリセット

各デジタルコードレス電話機ごとに設定されている不在転送（59ページ）などを解除します。
※外線にキノウ(F)を割り付けます。（21ページ）

キノウ(F) ⇨キノウ(F)ランプ：赤点灯 → 9ワ 9ワ ⇨キノウ(F)ランプ：赤点滅 →
→ キノウ(F) ⇨キノウ(F)ランプ：消灯 「トクシュランプ　リセット」表示 → 電源

送話ミュート

外線・内線通話中に、送話ミュートを設定することにより、相手の音声のみがこちらに聞えます。（こちらの音声は相手に聞えません）
※送話ミュート状態から通話が終了すると自動的に解除されます。
※外線にキノウ(F)を割り付けます。（21ページ）

外線・内線通話中 → キノウ(F) 2カ を押す ⇨「セット　ソウワミュート」表示（5秒後に消える）
※同じ操作を繰り返すと解除されます。⇨「リセット　ソウワミュート」表示（5秒後に消える）

外線着信鳴動拒否

外線着信鳴動拒否機能をセットすることにより、電話機ごとに外線着信音を鳴動しないようにすることができます。

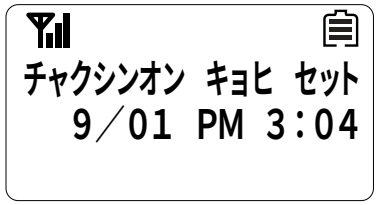
セット／解除のしかた

1 キノウ(F)を押す
⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 6ハ 5ナ を押す
⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

3 キノウ(F)を押す
⇨ キノウ(F)ランプ：赤ゆっくり点滅
F 6ハ 5ナ F の繰り返しでセット→解除→セットになります。
約5秒後に表示が消えます。

⇨ 表示例：外線着信鳴動拒否セット



メモ　操作1～3は、オート（未使用外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

通話時間表示

外線着信に応答して、通話を終了すると時間表示されます。

1 通話時間（分、秒）を表示する

⇨ 表示例：２分10秒の通話

メモ

構内交換機（PBX）に接続してあると、通話時間が表示されない場合があります。
通話時間は目安としてご利用ください。

通話料金表示

ＩＳＤＮ回線の料金情報サービス（基本サービス）を利用して通話料金を電話機に表示させることができます。通話終了後、その通話にかかった料金が表示されます。

1 (電源) を押す

通話が終了します。

⇨ 表示例：料金９円

メモ

料金情報サービスを利用できないときなどは、通話時間表示になります。
104電話番号案内、携帯電話、ＰＨＳ、船舶無線、ダイヤルQ²などにかけたときは通話料金が表示しなかったり、正しく表示しないことがあります。
マイライン・マイラインプラスでＮＴＴグループ以外をご契約された場合は、料金表示しません。

夜間モード切替

システム全体の昼間モード⇔夜間モード（着信音の鳴る電話機等）の切り替えができます。夜間モードには夜間モードＡ／Ｂの２種類があり、選択し切り替えることができます。夜間モード切り替え時間が毎日同じ場合は、自動的に切り替えることもできます。（夜間モード自動切替は夜間モードＡのみで工事設定が必要です。）
初期は、昼間モードでは「全電話機が鳴動する」、夜間モードＡ／Ｂでは、「内線10、11のみ鳴動する」です。昼間モードと夜間モードＡ／Ｂは工事設定で鳴動する電話機の変更ができます。
以下、操作の繰り返しで **→ 夜間モードＡ → 夜間モードＢ → 夜間モード解除 →** モード切り替えします。

夜間モードＡセット

1 (キノウ(F)) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点灯

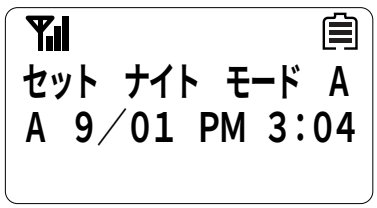
2 (8ヤャTUV)(0ワ゛) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅

3 (キノウ(F)) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯
約５秒後に表示が消えます。
時計表示横に夜間モードを示すＡ（またはＢ）が表示されます。
なお、Ａ（またはＢ）の表示については、待機状態では表示されませんが、内線または外線の発信捕捉状態のときなどに表示されます。

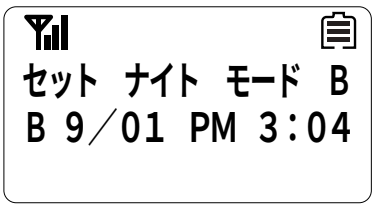
⇨ 表示例：夜間モードＡセット中



夜間モードBセット

「夜間モードAセット」状態から続けて「キノウ(F)→8TUV 0ワ゛→キノウ(F)」と同じ操作をします。

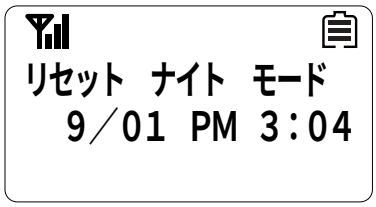
表示例：夜間モードBセット中



夜間モード解除

「夜間モードBセット」状態から続けて「キノウ(F)→8TUV 0ワ゛→キノウ(F)」と同じ操作をします。

表示例：夜間モード解除



メモ

夜間モードセット／解除の操作は、オート（未使用 外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）
登録後は、オートを押します。
外線にキノウ(F)を割り付けます。（21ページ）

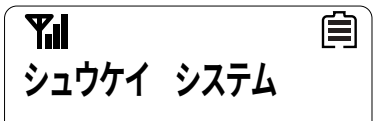
通話料金集計、システム／テナント

いままでに電話をかけた通話料金集計をシステム全体、テナントごと、および電話機ごとに表示できます。
※通話料金集計表示とＮＴＴで集計した料金の内容が異なることがあります。同一料金とは限りません。あくまで目安としてご利用ください。（最大9,999,999円まで表示されます。）

システム全体の通話料金集計の場合

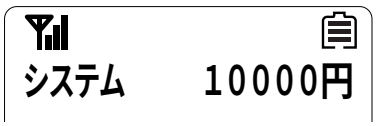
1 キノウ(F)を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点灯

2 9ラ 0ワ゛ 0ワ゛ を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅



3 キノウ(F)を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：消灯
約５秒後に表示が消えます。

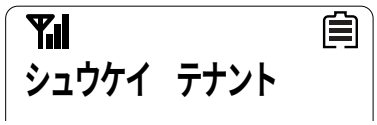
⇨ 表示例：システム全体10000円



テナントごとの通話料金集計の場合

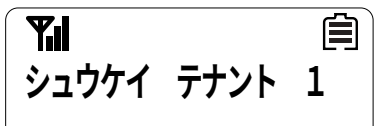
1 キノウ(F)を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点灯

2 9ラ 0ワ゛ 9ラ を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅



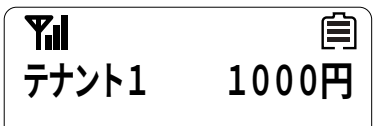
3 つづけて、各テナント番号を選択し押す
番号を指定しないと自テナントの集計を表示する
0ワ゛：テナント0
1ｱ：テナント1
2カ：テナント2
3サ：テナント3

⇨ 表示例：テナント１



4 キノウ(F)を押す
⇨ キノウ（F）ランプ：消灯
約５秒後に表示が消えます。

⇨ 表示例：テナント１の集計は1000円



メモ
通話料金集計の操作は、オート（未使用外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）
外線にキノウ(F)を割り付けます。（21ページ）

通話料金集計、外線／電話機

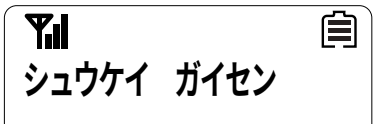
外線ごと通話料金集計の場合

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

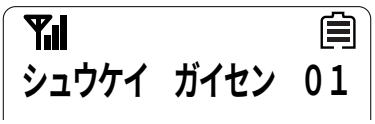
2 9 0 ＊ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



3 外線番号（MT100se/sxは 0 1 ～ 0 8 、MT200se/sxは 0 1 ～ 2 0 ）を押す

⇨ 表示例：外線1

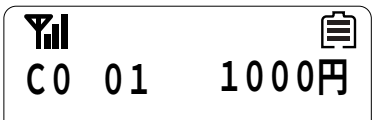


4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

約5秒後に表示が消えます。

⇨ 表示例：外線1は1000円



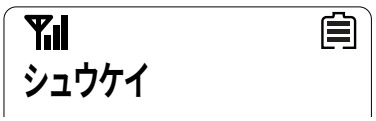
電話機ごと通話料金集計の場合

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 9 0 を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



3 内線番号（ 1 0 ～ 8 9 ）を押す

自電話機の通話料金集計を表示させる場合は、自内線番号を押す必要はありません。

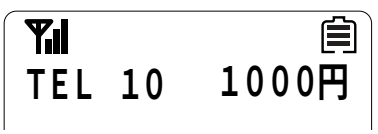
⇨ 表示例：内線10

4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

約5秒後に表示が消えます。

⇨ 表示例：内線10　1000円



メモ

通話料金集計の操作は、オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

通話料金集計の消去、システム／テナント

システム全体の通話料金集計クリア

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 9ラ WXYZ 2カ ABC 0ワ゛゜ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

3 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

約５秒後に表示が消えます。

テナントごとの通話料金集計クリア

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 9ラ WXYZ 2カ ABC 9ラ WXYZ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

3 つづけて、各テナント番号を選択し、押す

番号を指定しないと自テナントの集計を消去する

0ワ゛゜：テナント0

1ア ,.;-：テナント1

2カ ABC：テナント2

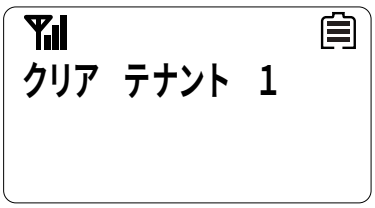
3サ DEF：テナント3

4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

約５秒後に表示が消えます。

⇨ 表示例：テナント１



メモ

通話料金集計のクリア操作は、オート（未使用外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

外線にキノウ(F)を割り付けます。（21ページ）

通話料金集計の消去、外線／電話機

外線ごと通話料金集計のクリア

1 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 9 2 ＊ を押す

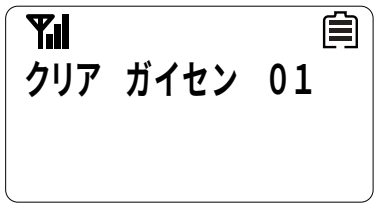
⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

3 外線番号（MT100se/sxは 0 1 ～ 0 8 、
MT200se/sxは 0 1 ～ 2 0 ）を押す

4 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯
約５秒後に表示が消えます。

⇨ 表示例：外線１をクリア



電話機ごと通話料金集計のクリア

1 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 9 2 を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

3 内線番号を押す

自電話機の通話料金集計クリアさせる場合は、自内線番号を押す必要はありません。

⇨ 表示例：内線10をクリア

4 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯
約５秒後に表示が消えます。

メモ

通話料金集計のクリア操作は、オート（未使用外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

話中設定

使用しない外線を一時的に話中状態（発信、着信不可）にできます。

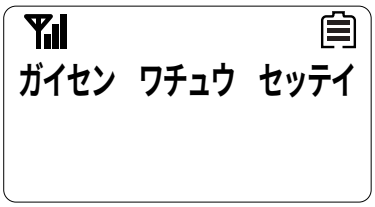
設定のしかた

1 キノウ(F) を押す

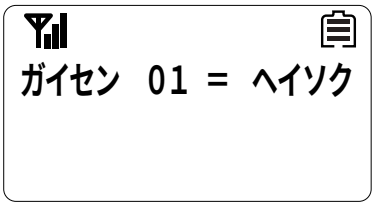
⇨ キノウ（F）ランプ：赤点灯

2 8ヤ TUV 4タ GHI を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：赤点滅



3 外線番号（MT100se/sxは 0ワ゛ 1 ～ 0ワ゛ 8ヤ TUV 、MT200se/sxは 0ワ゛ 1ア゛ ～ 2カ ABC 0ワ゛ ）を押す
（または 外線 を押す）



4 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ（F）ランプ：消灯

⇨ 外線ランプ：赤点灯

メモ

設定のしかた、および解除のしかたの操作１、２は オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

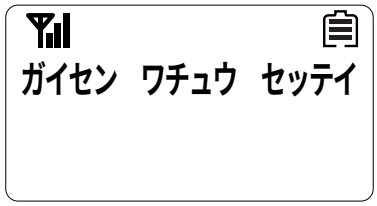
解除のしかた

1 キノウ(F)を押す

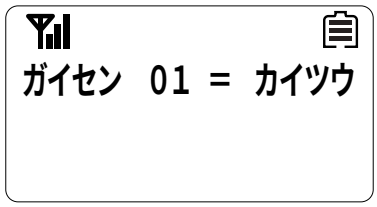
⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 8ヤ TUV 4タ GHI を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



3 外線番号（MT100se/sxは 0ワ゛ 1ア゛ ～ 0ワ゛ 8ヤ TUV 、MT200se/sxは 0ワ゛ 1ア゛ ～ 2カ ABC 0ワ゛ ）を押す
（または 外線 を押す）



4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

⇨ 外線ランプ：赤点灯

ドアホンからの呼び出しで通話する〔ドアホン通話〕

ドア・ページングユニットを接続し、ドアホン（DR71）と組み合わせるとデジタルコードレス電話機とドアホンで通話ができます。

1 ドアホンの 呼出 ボタンを押す

⇨ 表示例

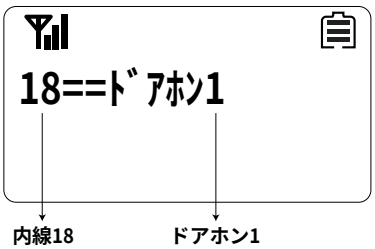
2 ドアホン呼出音が鳴る

⇨ ドアホン１：４秒ごとに１回ピンポン
　ドアホン２・３：４秒ごとに２回ピンポン

⇨ ドアホンからも鳴ります。

3 ドアホン呼出音が鳴り始めてから約15秒以内に 内線 を押す

⇨ 表示例：ドアホン１，内線18



4 ドアホン通話ができる

5 通話が終わったら 電源 を押す

メモ

工事設定により、呼出音を「鳴動する／しない」および、繰り返し「鳴動／１回鳴動」の設定もできます。
ドアホン１～３のいずれかとドアホン通話ができます。
ドアホン呼出音が鳴ってから約15秒経過後に応答すると、ドアホン通話はできません。
このときは、ドアホンモニタ（94ページ）の操作をしてください。
内線、サブアドレス着信の着信中のドア着についての表示は、内線、サブアドレス着信が優先となります。

ドアホンのまわりをモニタする〔ドアホンモニタ〕

1 内線特番（３桁）を押す

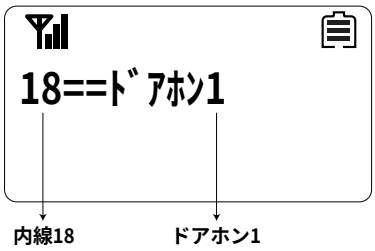
9 8 1：**ドアホン１**
9 8 2：**ドアホン２**
9 8 3：**ドアホン３**

⇨ 表示例：ドアホン１

2 内線 を押す

⇨ 内線ランプ：緑点灯
操作１、２が逆でも操作できます。

⇨ 表示例：ドアホン１，内線18



3 ドアホンモニタができる

4 モニタが終わったら 電源 を押す

⇨ 内線ランプ：消灯

メモ

ドアホン呼出音を停止してあるデジタルコードレス電話機からも、ドアホンモニタはできます。
操作１、２は **オート**（未使用 **外線**）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

テレビドアホンからの呼び出しで通話する〔テレビドアホン通話〕

ドア・ページングユニットを接続し、テレビドアホン（DR62C）、テレビモニタユニット（TM−22）と組み合わせると、テレビドアホンの、まわりの映像をモニタしながらデジタルコードレス電話機とテレビドアホンで通話ができます。

1 テレビドアホンの 呼出 ボタンを押す

2 ドアホン呼出音が鳴る

- ドアホン1：4秒ごとに1回ピンポン　ドアホン2・3：4秒ごとに2回ピンポン
- テレビドアホンからも鳴ります。
- 着信ランプ：赤点滅

3 テレビモニタに映像がうつる

4 ドアホン呼出音が鳴り始めてから約15秒以内に 内線 を押す

- 着信ランプ：消灯
- 内線ランプ：緑点灯

※呼出音が鳴り終わってから応答しないと約45秒後に、テレビモニタの映像が消えます。

5 テレビドアホン通話ができる

※通話が約2分30秒経過すると、映像とテレビドアホン通話が切れます。
通話を続けたいときは、次ページのテレビドアホンモニタの操作をしてください。

6 通話が終わったら 電源 を押す

- 内線ランプ：消灯

メモ

工事設定により、呼出音を鳴らさないか、繰り返し鳴らさない設定もできます。
ドアホン1～3のいずれかとテレビドアホン通話ができます。
ドアホン呼出音が鳴ってから約15秒経過後に応答すると、テレビドアホン通話はできません。
このときは、次ページのテレビドアホンモニタの操作をしてください。

テレビドアホンのまわりをモニタする〔テレビドアホンモニタ〕

1 内線特番（3桁）を押す

9 8 1 **：ドアホン1**　　9 8 2 **：ドアホン2**　　9 8 3 **：ドアホン3**

2 内線 を押す

- 内線ランプ：緑点灯

操作1、2が逆でも操作できます。

3 テレビドアホンモニタができる

※約2分30秒間の映像がうつり、モニタができます。　※テレビドアホン通話もできます。

4 モニタが終わったら 電源 を押す

- 内線ランプ：消灯

メモ

ドアホン呼出音を停止してあるデジタルコードレス電話機からも、テレビドアホンモニタはできます。
操作1、2は オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

FAXへ転送する

かかってきた電話がFAX送信のときFAXへ転送できます。

単独電話機用ポートまたはSLTアダプタにFAXを接続すると、単独電話、FAXが使えるとともにFAX用の回線をデジタルコードレス電話機の通話用にも使用できます。
※各種工事設定が必要です。
※FAXの送信は、FAXの操作方法にしたがってください。

1 着信音が鳴っている 外線 を押すと相手からのFAX自動送信（「ポ……ポ」が聞こえる）、またはFAXを送信したい旨を伝えられた

- 外線ランプ：緑点灯
- 発信／応答ランプ：緑点灯

2 保留 再送/決定 を押し、内線番号（または内線特番）を押す※1

※1 MT100se/sxのときは 1 8TUV（または 9WXYZ 9WXYZ 9WXYZ ）、MT200se/sxのときは 4GHI 2ABC （または 9WXYZ 9WXYZ 9WXYZ ）を押します。

- 発信／応答ランプ：消灯
- 外線ランプ：緑点滅
- 内線ランプ：緑点灯

3 電源 を押す

- 外線ランプ：赤点滅
- 内線ランプ：消灯

※約30秒以内にFAX受信操作をする。
約30秒経過すると、デジタルコードレス電話機から「プルル　プルル　プルル　プルル…（断続）」音が鳴ります。そのときは保留中の 外線 を押し外線相手と通話します。
※操作２の 保留 再送/決定 、 9WXYZ 9WXYZ 9WXYZ のときは、操作３の 電源 を押さなくても転送されます。

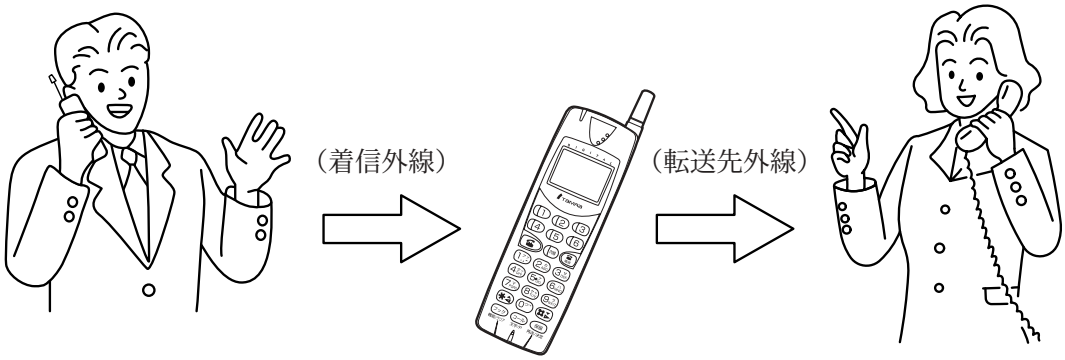
外線転送について

本システムは、外線からかかってきた電話を外出先などの電話に転送する、外線転送機能が利用できます。
※転送先が一般回線または遠方の場合、転送先で電話に応答しても、初めの約2秒間の通話が途切れる場合があります。

外線自動転送や外線手動転送およびリモコン機能などができます。
転送先の電話や携帯電話などへ転送することができます。
リモコン機能などは、システムの取扱説明書をご覧ください。
「電話をかけた相手」と「転送先相手」の二人が直接通話できます。

手動転送と自動転送

・外線転送は着信応答後、転送先を呼び出して転送する外線手動転送と、工事設定で指定した外線に着信があった場合、あらかじめ登録した転送先に自動的に転送する外線自動転送とがあります。（MT100se/sxの場合、同時に最大２組の転送が可能。ただし、設定は３組できます。MT200se/sxの場合、同時に最大３組の転送が可能）



デジタル回線による外線転送

・本システムにデジタル回線が収容されている場合のみで、アナログ回線を利用する場合の外線転送はできません。

外線転送機能の種類

サービス名	内　　容
外線自動転送	かかってきた電話を転送先外線から、あらかじめ登録された転送先に自動転送します。外線自動転送には「転送１～３」があり、MT100se/sxの場合は最大２組、MT200se/sxの場合は最大３組の転送が可能です。
一次応答付き外線自動転送	オプションの録音ユニット（REC200）を接続すると、電話をかけてきた相手にメッセージを1回流したあと、転送先へ自動転送できます。一次応答メッセージは次の固定内蔵メッセージ「ただ今電話を転送いたします。すこしお待ちください。」もしくは、ご自身が入れていただいたメッセージが流れます。
外線手動転送	通話中の電話をダイヤル操作により、転送先へ転送します。
リモコン機能	外出先の電話機から、リモコン操作で外線自動転送セットまたは解除したり、転送先電話番号の変更などができます。
外線転送コールバック	外線転送の通話終了後、電話をかけてきた相手が先に受話器をおろし、転送先相手がそのまま待っていると、転送先外線が着信状態になり、応答すると通話が出来ます。

転送先電話番号の登録

転送先は最大６ヵ所まで登録できます。外線自動転送をセットする際、ここで登録した中から転送先を選んでセットすることができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。

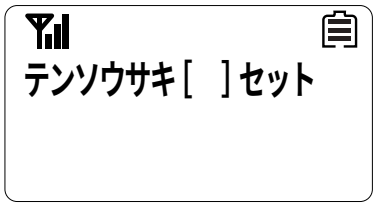
転送先電話番号の登録のしかた

1 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

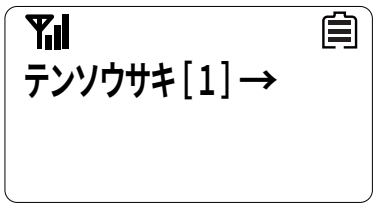
2 6ハMNO 3サDEF を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

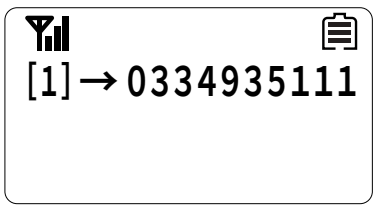


3 転送先指定番号 1ア.,- ～ 6ハMNO のいずれかを選択し押す

⇨ 表示例：転送先指定番号1の登録



4 転送先電話番号（最大24桁）を押す



5 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

メモ

電話番号を誤って入力した場合は、会議で消去してから入力してください。

外線 に キノウ(F) と 会議 と 短縮 を割り付けます。（21ページ）

１～５の操作は、 オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

登録後は オート を押すだけで転送先電話番号が登録できます。

ポーズ（Ｐ表示）（待ち時間：お買い上げ時は約３秒）は 短縮 を押します。転送先電話番号の途中にポーズを入れないでください。相手につながらないことがあります。

（登録されたポーズの後の番号は、相手応答がなくても続けて番号を送出します。）

フック機能/クリア を押すと「―」（ハイフン）を入力することができます。

転送先電話番号の確認／変更／消去

転送先電話番号確認のしかた

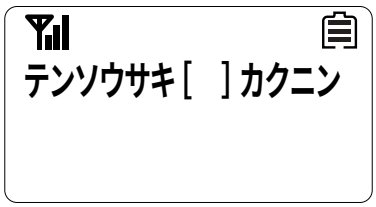
登録されている転送先電話番号を確認します。

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

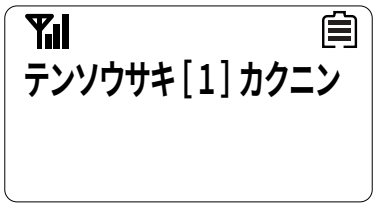
2 6ハMNO 4タッGHI を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



3 転送先指定番号 1アア、- ～ 6ハMNO のいずれかを選択し押す

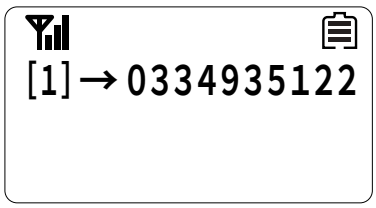
⇨ 表示例：転送先指定番号1を確認



4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

⇨ 約20秒後にカレンダー時計表示に戻る



メモ

転送先の電話番号が12桁以上のときは、転送先表示中に 会議 を押して番号のつづきを確認してください。
外線 に キノウ(F) と 会議 を割り付けます。(21ページ)
転送先が登録されていない場合は「ミセッテイ」と表示されます。
1～4の操作は電話機の オート (未使用 外線) に登録できます。(詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください)
登録後は オート を押すだけで転送先電話番号が確認できます。

転送先電話番号変更のしかた

「転送先電話番号登録のしかた」と同じ操作をします。(98ページ)

転送先電話番号消去のしかた

「転送先電話番号の登録のしかた」の操作1、2、3、5をします。(98ページ)

メモ

外線自動転送がセットされているときには、転送先電話番号の変更はできませんので、外線自動転送を解除してから転送先電話番号を変更してください。

外線自動転送セット／変更

外線自動転送セットのしかた

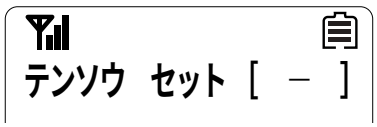
外線自動転送を行うときのセットの方法です。転送１～３を同時にセットすることができます。

1 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

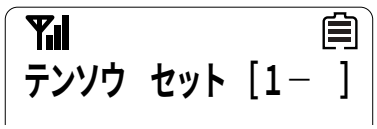
2 6ハMNO 1ｱｱ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



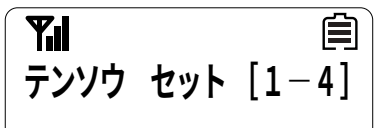
3 セットする転送の番号 1ｱｱ ～ 3サDEF のいずれかを選択し押す

⇨ 表示例：転送セット１を選択



4 転送先指定の番号 1ｱｱ ～ 6ハMNO を押す

⇨ 表示例：転送セット１、
転送先番号４



5 キノウ(F) を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

発信側に指定された外線の外線ランプが赤で点灯し、着信側に指定された外線の外線ランプが赤で点滅します。

⇨ 表示例：転送１は転送先４でセット

メモ

転送先相手が（発信側）話し中のとき、電話にでないときは60秒呼び出したあと、自動的に電話を切って約10秒後に再度かけ直します。（合計３回）

外線自動転送後の通話中に「電話をかけた相手」と「転送先相手」との通話が、プログラム設定による通話時間が経過すると両方の相手に「ピー」音が聞こえ30秒後に電話が切れます。工事設定により30分、１時間、２時間、３時間のいずれかに設定できます。お買い上げ時の設定は２時間です。

外線自動転送セット中は、着信側外線は通常どおり発信、着信ができます。転送先（発信側）外線は発信できません。ただし、着信は受けることができます。

転送先の電話番号が登録されていない場合はセットされません。

工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を変更することができます。また、着信側外線に着信があった場合、鳴動しないようにすることができます。

１～５の操作は、電話機の オート（未使用 外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

登録後は、 オート を押すだけで、外線自動転送のセット／解除ができます。

外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

外線自動転送セット変更のしかた

「外線自動転送セットのしかた」と同じ操作をします。

外線自動転送解除

解除のしかた

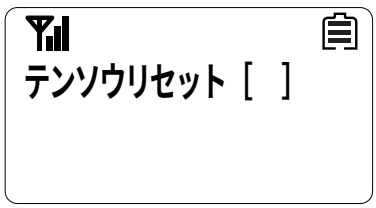
外線自動転送を解除して、普通の着信に戻します。

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

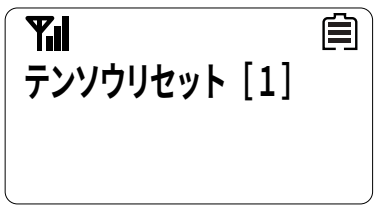
2 6ハMNO 2カABC を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



3 解除する転送セット番号 1アァ.,-/? ～ 3サDEF のいずれかを押す

⇨ 表示例：転送セット1をリセット



4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

メモ

外線自動転送を解除しても、登録してある転送先の電話番号は消去されません。

外線 に キノウ(F) を割り付けます。(21ページ)

外線自動転送の時刻登録

決まった時刻に外線自動転送のセット・解除を自動的に行います。

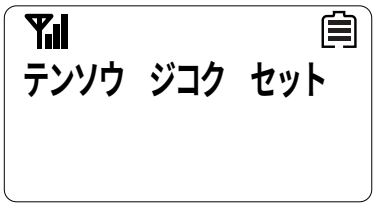
登録のしかた

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

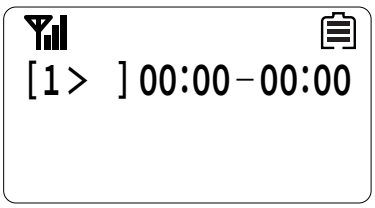
2 6MNO ＊ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



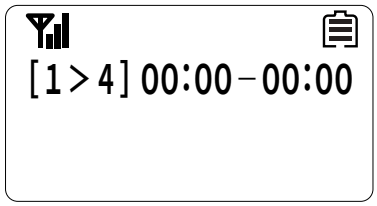
3 セットする転送番号 1 ～ 3DEF のいずれかを押す

⇨ 表示例：転送セット1を選択



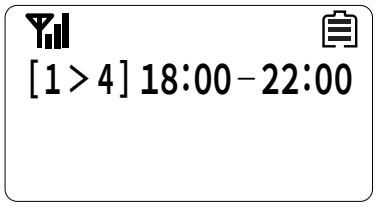
4 転送先指定番号 1 ～ 6MNO を押す

⇨ 表示例：転送セット1、
転送先番号4



5 開始時刻と終了時刻を入力する（24時間制）

⇨ 表示例：18時から22時に設定



6 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

⇨ 約5秒後に表示が消えます。

メモ

外線自動転送の時刻登録は、オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

外線自動転送の時刻確認／解除

確認のしかた

1 キノウ(F)を押す

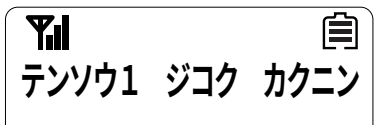
⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 6MNO #▷ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅

3 確認する転送番号 1ｱｱ ～ 3ｻDEF のいずれかを押す

⇨ 表示例：転送セット１を選択

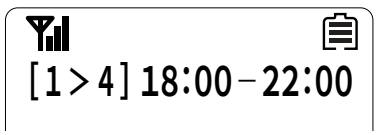


4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

⇨ 約５秒後に表示が消えます。

⇨ 表示例：転送セット１を確認



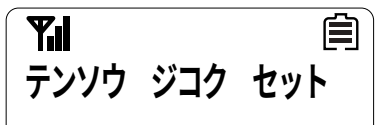
解除のしかた

1 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

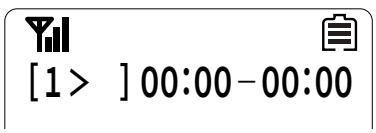
2 6MNO *◁ を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：赤点滅



3 解除する転送番号 1ｱｱ ～ 3ｻDEF のいずれかを押す

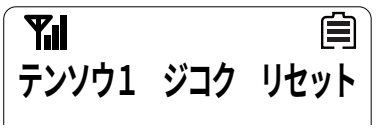
⇨ 表示例：転送セット１を選択



4 キノウ(F)を押す

⇨ キノウ(F)ランプ：消灯

⇨ 約５秒後に表示が消えます。



メモ

確認のしかたは、オート（未使用 外線 ）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

一次応答付き外線自動転送

オプションの録音ユニット（REC200）を接続すると、本システムにかけてきた相手に、一次応答メッセージを送出しながら外線自動転送をすることができます。この機能を使用される場合は工事設定が必要です。一次応答メッセージの録音／確認／消去のしかたは留守番機能の各種メッセージの録音のしかたを参照してください。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

メモ

一次応答メッセージは、次の固定内蔵メッセージ「ただいま電話を転送いたします。すこしお待ちください。」も用意してあります。
工事設定により、着信してから転送先を呼び出すまでの時間を変更することができます。

外線手動転送

かかってきた電話はダイヤル操作により、転送先へ転送します。

1 電話をかけてきた相手と通話中に(保留 再送/決定)を押す

- 着信外線ランプ：緑点灯から緑点滅に変わります。
- 内線ランプ：緑点灯

2 未使用の(外線)を押す

- 転送先外線ランプ：緑点灯
- 内線ランプ：消灯
- ☎ ランプ：緑点灯

3 転送先電話番号を押す

4 転送先の相手が応答したら転送することを話す

5 (キノウ(F)) を押す

- キノウ(F)ランプ：赤点灯

6 (フック 機能/クリア)を押す

- キノウ(F)ランプ：消灯
- ☎ ランプ：消灯

7 「電話をかけた相手」と「転送先の相手」が通話をする

- 外線転送中の外線ランプは赤点灯です。通話が終わると消灯します。

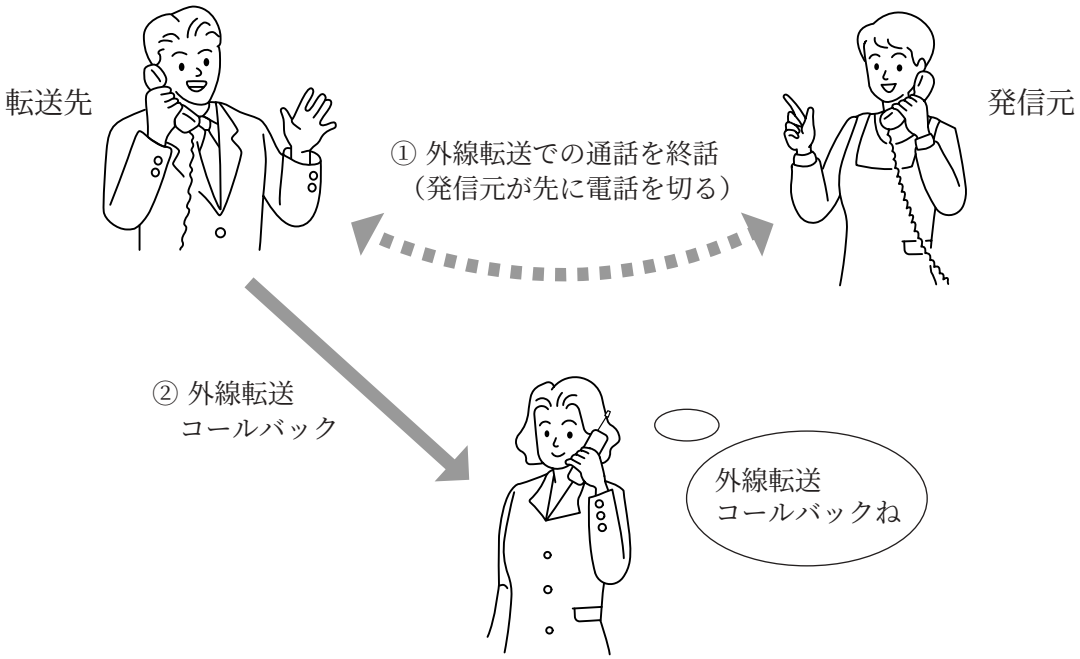
※通話が約２時間経過すると両方の相手に「ピー」音が聞こえ30秒後に電話が切れます。
工事設定により２時間を30分、１時間、３時間のいずれかに変更できます。

メモ

電話番号を誤って入力した場合は、(フック 機能/クリア)で消去してから再度入力し直してください。
５、６の操作は、電話機の(オート)（未使用(外線)）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）
(外線)に(キノウ(F))を割り付けます。（21ページ）

外線転送コールバック

外線転送（手動／自動）の通話が終了後、電話をかけてきた相手が先に電話を切った場合、転送先の通話者が電話を切らずにそのまま待っていると転送先から本システムへの外線着信となり、本システムが呼び出されます。



1 外線転送通話中
「電話をかけてきた相手」と「転送先相手」が通話しています。

2 通話が終わって「電話をかけてきた相手」が受話器をおろす

3 転送先相手はそのまま待っていると（受話器はあげたまま）
約４秒間、ビジートーン「プープー…（連続）」が聞こえる

4 ２秒後※1に本システムに着信音が鳴る
※1 お買い上げ時は２秒です。工事設定により０（コールバックしない）～６秒のいずれかに変更できます。

5 本システムの電話機で応答すると転送先相手と通話できる

メモ
外線自動転送、外線手動転送のどちらからも外線転送コールバックができますが、お買い上げ時は外線手動転送のみです。工事設定により、外線自動転送を「コールバックする」に設定できます。

ドアロック解除

ドアホン通話中に電気錠などを解除します。
※工事設定により「リレー制御指定」の設定を「電気錠」にします。
※ 外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

ドアホン通話中に キノウ(F) を押す➡ 6ハ MNO ⊟ 表示例：「ドアホン１　カイジョ」
約５秒後に「18=ドアホン1」表示に戻る ➡
└→ 内線18

➡ ドアロックを解除する

ページング（構内放送）機能

ドア・ページングユニットを接続し、ページング（構内放送）装置と組み合わせると、デジタルコードレス電話機から構内放送ができます。
※工事設定により構内放送からの予告音「ピンポン・パンポン」を停止することができます。

構内放送をする

内線特番を押す※1 ➡ 内線※1 ➡ 放送する
- 9ラ WXYZ 7マ PQRS 5ナ JKL：外部スピーカ１
- 9ラ WXYZ 7マ PQRS 6ハ MNO：外部スピーカ２
- 9ラ WXYZ 7マ PQRS 8ヤ TUV：構内放送一斉

※1「内線 ➡ 内線特番」でも操作できます。

構内放送に応答する

9ラ WXYZ 7マ PQRS 4タ GHI※2 ➡ 内線※2 ➡ 構内放送をした内線相手と通話する

※2「内線 ➡ 9ラ WXYZ 7マ PQRS 4タ GHI 」でも操作できます。

お待たせメッセージ応答〔手動応答のしかた〕

外線通話中に別外線に電話がかかってきたとき、すぐに応答できない場合は、外線通話中の電話機の操作により、お待たせメッセージを別外線の相手に1回流したあと、保留音を流します。
※録音ユニットの実装が必要です。
※外線 に キノウ(F) を割り付けます。（21ページ）

（例）外線1で通話中に、外線2に着信が入ったときの操作

基本的な操作

1 キノウ(F) を押す
⇨ キノウ(F)ランプ：赤点灯

2 着信が入った 外線2 を押す
⇨ キノウ(F)ランプ：消灯
⇨ 外線２ランプ：緑点滅
外線２の相手にお待たせメッセージを１回流したあと、保留音を流します。
外線１の通話終了後に、保留中の 外線2 を押し、外線２の相手と通話することができます。

ワンタッチでの操作

オートダイヤルに お待たせ ボタンを登録しておくと、ワンタッチでの手動応答操作が可能となります。
※外線ボタンにオートダイヤルボタン〔またはキノウ(F)オート(13または14)ボタン〕を割り付けます。
さらに、お待たせ ボタンを登録するときは、短縮ボタン、キノウ(F)ボタンを割り付けます。

1 外線着信中に お待たせ を押す
⇨ 外線２ランプ：緑点滅
外線２の相手にお待たせメッセージを１回流したあと、保留音を流します。
外線１の通話終了後に、保留中の 外線 を押し、外線２の相手と通話することができます。

お待たせ ボタンの登録方法

「 短縮 → オート → キノウ(F) → 2カ → 1ア → 2カ → キノウ(F) → 電源 」

メモ

留守番指定電話が他の留守番機能を操作中のとき、お待たせ応答は使用できません。
外線通話中以外に、内線通話中、ドアホン通話中、未使用状態からでも操作できます。
お待たせ応答できる外線は、着信鳴動している外線で、お待たせメッセージ送出中に他の外線着信に対してもお待たせ応答できます。
お待たせ応答後３分経過すると再び着信音が鳴動します。(初期設定)
（工事設定により、再び着信音が鳴動するまでの時間設定および鳴動する電話機を外線毎に変更できます）
アナログ回線でお待たせ応答中に、相手が通話を切っても保留状態のままです。一度 外線 を押してから切ってください。

INSネット64

NTTのISDNサービス（INSネット64）は、デジタル通信のメリットを生かし、通話からデータ通信、画像通信まで幅広く利用できる新しい通信網サービスです。
下記のサービスについての詳細は、最寄のNTTの窓口にお問い合わせください。

サービス名	内　　容	参照ページ
サブアドレス通知	電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、指定した電話機に着信させることができます。	109
ダイヤルイン※1	ダイヤルイン番号を設定することにより、指定した外線に着信させることができます。MT200se/sxでは32個まで、MT100se/sxでは8個まで使用できます。	—
迷惑電話おことわり※1 （いたずら電話防止）	迷惑電話を受けた直後、契約者の電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号から着信がある場合、自動的にメッセージで応答します。	110
INSボイスワープ※1	転送元（契約者）にかかってきた電話を転送先の電話や携帯電話へ自動転送できます。 転送方法には「無条件転送」、「無応答時転送」、「話中時転送」があります。	112

※1　付加機能使用料（月額）がかかります。

サブアドレス通知

電話番号にサブアドレス（内線番号）を付加してダイヤルすることにより、内線を個別に呼び出すことができます。相手の電話設備がサブアドレスに対応している必要があります。

電話をかける場合

例えば

電話番号が「03-3493-5111」でサブアドレスが「12」の相手へ発信する場合

0 3 3 4 9 3 5 1 1 1 → ＊ → 1 2

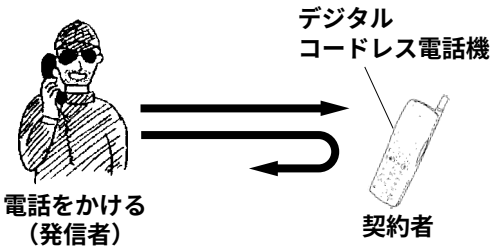
電話番号　　サブアドレス

電話を受ける場合

サブアドレスに対応している電話設備（PHSやISDN公衆電話、ICカード公衆電話など）から本システムに電話をかける場合は、内線番号がサブアドレスになります。

迷惑電話おことわり（いたずら電話防止）

迷惑電話を受けた直後、契約者の電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号から着信がある場合、自動的にメッセージで応答します。



発信者から電話をかけます。
デジタルコードレス電話機に着信後または通話終了後、登録操作を行ないます。
相手が再度、電話をかける、「こちらはｘｘ-ｘｘｘｘ-ｘｘｘｘ（契約者の電話番号）です。
この電話はお受けできません。ご了承ください。」などのメッセージが流れます。

※登録は最大６件または30件です。限度を越えて登録したら一番古い電話番号から解除されます。（新しい電話番号が登録される）
※相手が再度、電話をかけたときは、メッセージで応答しますので、着信音が鳴りません。
※登録以外の電話番号から電話がかかってきた場合、通常どおりの着信となります。（着信音が鳴ります）
※迷惑電話おことわりは、契約したデジタル回線のみで行ないます。

登録のしかた

「外線通話中」または「通話終了後、1分以内」に、登録操作をします。

外線通話中の場合

※外線にキノウ(F)を割り付けます。（21ページ）

外線通話中 → キノウ(F) → 0 → 1 4 4 2 → #（※1）

※1 オート（未使用外線）に登録できます。（詳細はシステムの取扱説明書をご覧ください）

通話終了後、1分以内の場合

電源 → 外線 → 1 4 4 2 → # → 電源

解除のしかた

外線 →
- 最新の１つを解除するときは 1 4 4 3 # を押す
- すべてを解除するときは 1 4 4 9 # を押す

→ 電源

確認のしかた

外線 → 1 4 4 4 → # → 登録された、すべてのメッセージを流す → 電源

メモ

構内交換機（PBX）の種類によっては、本サービスをご利用できない場合があります。
電話をかける側の構内交換機（PBX）によっては、登録できない場合があります。
メッセージによる応答のときは、発信者に通常の通話料がかかります。

INSボイスワープ

転送元（契約者）にかかってきた電話を転送先の電話や携帯電話へ自動転送できます。転送方法には「無条件転送」、「無応答時転送」、「話中時転送」があります。

※「電話をかけた相手」と「転送先相手」の2人が直接通話できます。

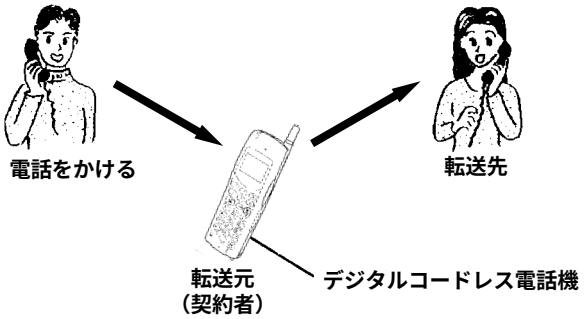
※INSボイスワープはNTTのネットワーク転送型の転送サービスです。

※転送先を5ヵ所まで登録でき、5ヵ所の中から転送先を選べます。

※電話をかけた相手から転送条件を自由に変更することができます。〔リモートコントロール機能〕
無応答時転送と話中時転送を組み合わせてご利用できます。

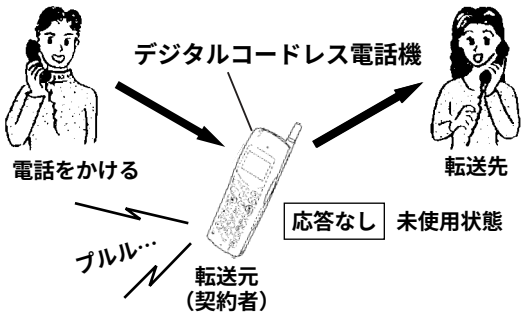
1. 無条件転送

デジタルコードレス電話機に電話がかかってきた場合、転送先へ無条件に通話を自動転送します。



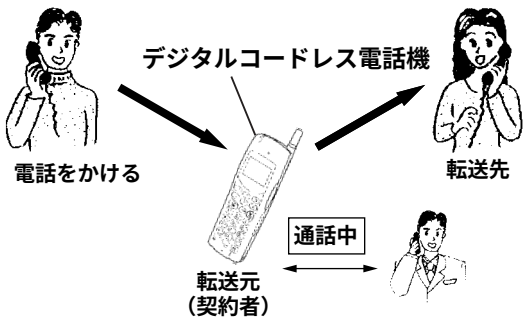
2. 無応答時転送

一定時間の着信音に応答しないと、自動的に転送先へ通話を自動転送します。



3. 話中時転送

INSボイスワープを契約したデジタル回線が通話中でふさがっているときだけ、転送先へ通話を自動転送します。



INSボイスワープの設定

1 転送サービス開始のしかた（転送方法の選択）

電話を転送する方法を４パターンから選択できます。

外線 → 1 → 4 → 2 → 1 → パターン番号 1 ～ 4 のいずれかを押す → # ⇨アナウンス → 電源

- 1：無条件転送
- 2：無応答時転送
- 3：話中時転送
- 4：無応答時転送および話中時転送

2 転送サービス停止のしかた

外線 → 1 → 4 → 2 → 0 → # ⇨アナウンス → 電源

3 転送サービス開始／停止の確認のしかた

外線 → 1 → 4 → 2 → 8 → # ⇨確認のアナウンス → 電源

4 転送先電話番号の登録のしかた

転送先電話番号は最大５ヵ所まで登録できます。

※転送先電話番号の登録は上書き方式です。（新しい電話番号を登録すると、同じ転送先電話番号リストで前の電話番号は消去されます）市外局番から登録します。

■転送先電話番号リスト 0 の場合

外線 → 1 → 4 → 2 → 2 → # ⇨アナウンス → 転送先電話番号 → # ⇨アナウンス → 電源

■ 転送先電話番号リスト 1 ～ 4 の場合

外線 → 1 → 4 → 2 → 4 → # ⇨アナウンス → 0 → # ⇨アナウンス → 転送先電話番号リスト → 1 ～ 4 のいずれかを押す → # ⇨アナウンス → 転送先電話番号 → # ⇨アナウンス → 電源

114ページへ続く

INSボイスワープの設定

5 転送先電話番号の確認のしかた

外線 → 1 4 2 8 # ⇨ 確認のアナウンス → 0 # ⇨ 確認のアナウンス → 電源

6 転送先リストの指定

前ページの「 4 転送先電話番号の登録のしかた 」で登録した転送先電話番号リストの中から、実際に転送を行なう電話番号をひとつだけ指定します。

外線 → 1 4 2 4 # ⇨ アナウンス → 1 # ⇨ アナウンス →

→ 転送先電話番号リスト 0 ～ 4 のいずれかを押す → # ⇨ アナウンス → 電源

7 無応答時転送の起動時間（転送待ち時間）の設定のしかた

転送先（デジタルコードレス電話機）が応答しないとき、転送を行なう場合の待ち時間を指定します。（待ち時間は５～60秒までの間で５秒単位で指定します）

外線 → 1 4 2 3 # ⇨ アナウンス → 0 ～ 1 1 のいずれかを押す →

0：５秒	3：20秒	6：34秒	9：50秒
1：10秒	4：25秒	7：40秒	1 0：55秒
2：15秒	5：30秒	8：45秒	1 1：60秒

→ # ⇨ アナウンス → 電源

115ページへ続く

8 転送通知用トーキ(電話をかけた相手へのアナウンス)の設定のしかた

転送のとき発信者にアナウンスをするかどうかを指定します。電話をかけた相手へのアナウンスには３種類の内容があります。

外線 → 1 4 2 4 # ⇨アナウンス → 2 # ⇨アナウンス →

→ 0 ～ 3 のいずれかを押す → # → 電源

電話をかけた相手へのアナウンス
- 0：アナウンスなし
- 1：「ただいまより電話を転送いたします」
- 2：「ただいまより電話を転送いたします。転送先までの電話料金は当方で負担いたします」
- 3：「ただいま電話を呼び出しております」

9 転送通知用トーキ(電話をかけた相手へのアナウンス)の確認のしかた

外線 → 1 4 2 8 # ⇨アナウンス → 1 # ⇨確認のアナウンス → 電源

10 転送元案内トーキ(転送先へのアナウンス)の設定のしかた

転送のとき転送先にアナウンスするかどうかを指定します。転送先へのアナウンスは１種類です。

外線 → 1 4 2 4 # ⇨アナウンス → 4 # ⇨アナウンス →

→ 0 ～ 1 を押す → # → 電源

転送先へのアナウンス
- 0：アナウンスなし
- 1：「この電話は××××－××××から転送されました」
  - ××××－××××：転送先の電話番号

11 転送元案内トーキ(転送先へのアナウンス)の設定のしかた

外線 → 1 4 2 8 # ⇨アナウンス → 3 # ⇨確認のアナウンス → 電源

116ページへ続く

INSボイスワープの設定

12 リモートコントロール機能の設定（暗証番号の設定）のしかた

リモートコントロール機能を利用して、電話をかける相手から転送オン・オフを切り替え、および転送先電話番号の変更をする場合に、必要となる暗証番号（4桁）を登録します。
※1111など４桁連続の同一暗証番号や＃、＊を含んだ暗証番号では、設定できません。

外線 → 1 4 2 4 # ⇨アナウンス → 3 # ⇨アナウンス →

→ 0※1 または 1 を押す → 暗証番号（４桁）を押す → # ⇨アナウンス → 電源

0：リモートコントロール機能を利用しない
1：リモートコントロール機能を利用する

※1 0（リモートコントロール機能を利用しない）を選んだ場合、暗証番号の入力はしません。

13 リモートコントロール機能あり／なしの確認のしかた

外線 → 1 4 2 8 # ⇨アナウンス → 2 # ⇨アナウンス → 電源

14 リモートコントロール機能のしかた

公衆電話など外出先の電話からも、転送サービスを契約した電話の転送オン・オフの切り替えや転送先の電話番号の変更ができます。
※リモートコントロール機能を利用するときは、セキュリティ対策として暗証番号を事前にNTTへ登録します。

プッシュ信号が送出できる外出先の電話 → 機から電話をかける

→ ⇨アナウンス → 市外局番から契約電話番号を押す ⇨アナウンス →

→ 暗証番号（４桁）を押す →
（転送サービスの停止）を押す
（転送サービスの開始）を押す
（転送リストの指定） → 転送先電話番号リスト ～ のいずれかを押す

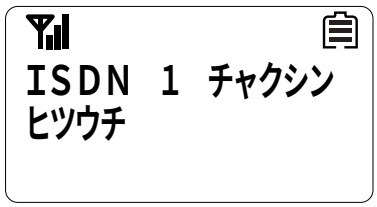
→ 電話を切る

INSナンバーディスプレイ

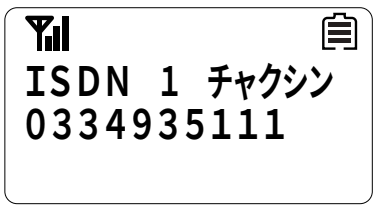
着信時に発信者の電話番号もしくは番号を通知されないときに、その理由を通知するサービスです。
また、アナログ回線やアナログ携帯電話からの着信時も、発信者の電話番号が表示されます。

1 外線の着信音が鳴る

表示例：相手番号非通知



通知内容一覧

通知内容	表示内容
一般回線から発信	例：03−3493−5111 
公衆電話機から発信	「コウシュウデンワ」
相手非通知	「ヒツウチ」
サービス提供不可	「ヒョウジケンガイ」 ※ 番号通知不可のネットワークからの着信など

停電について

停電用電源を接続すると、停電になっても通常と同様にお使いいただけます。

※停電用電源がない場合、停電になると使用できません。

故障かな？とお考えになる前に

修理をご依頼される前に、もう一度、次の内容を確認してください。
それでも直らないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

こんなときは	お確かめください	参照ページ
まったく作動をしない	電源は入っていますか？ 電話をかけられない設定にしていませんか？ 電池パックは十分に充電されていますか？ 電池パックは正しく取り付けられていますか？ ＡＣアダプが充電器または電源コンセントから抜けていませんか？	19 61 18 17 18
電話がかけられない	電池パックは十分に充電されていますか？ 表示部に「圏外」と表示されていませんか？ 接続装置から離れすぎていませんか？ 近くに雑音を発生する機器がありませんか？ 電話をかけられない設定にしていませんか？ 発信モードが正しく設定されていますか？ 接続装置の電話機コードが正しく接続され電源と通話のランプが正常に点灯または点滅していますか？	18 19 19 9 61 64 12
着信音が鳴らない	電池パックは十分に充電されていますか？ 接続装置から離れすぎていませんか？ 表示部に「圏外」と表示されていませんか？ 近くに雑音を発生する機器がありませんか？ 着信音が鳴らないように設定されていませんか？ 発信モードが正しく設定されていますか？ 接続装置の電話機コードが正しく接続され電源と通話のランプが正常に点灯または点滅していますか？	18 19 19 9 22 64 12
通話が時々とぎれる	接続装置から離れすぎていませんか？ 近くに雑音を発生する機器がありませんか？ 接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか？	19 9 9

119ページへ続く

こんなときは	お確かめください	参照ページ
充電しても、すぐに警報音が鳴る	電池パックは十分に充電されていますか？ デジタルコードレス電話機や充電器の充電端子が汚れていませんか？ 電池パックの寿命がきていませんか？ ＡＣアダプが充電器または電源コンセントから抜けていませんか？	18 19 17 18
充電中に充電ランプが点灯しない	デジタルコードレス電話機や充電器の充電端子が汚れていませんか？ ＡＣアダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか？ 極端に寒いところで使用していませんか？	19 18 9
電池パックが暖かい	充電すると多少温度が上がりますが、故障ではありません。	18
登録や設定ができない	電話をかけられない設定にしていませんか？ 電池パックは十分に充電されていますか？ 近くに雑音を発生する機器がありませんか？ 登録や設定の方法が間違っていませんか？ ボタンを押す間隔が約15秒以上あいていませんか？ 登録ができない設定にしていませんか？	61 18 9 － － －
発信や着信応答の操作ができない	アンテナの表示が消灯していませんか？消灯している場合は、点灯を待ってから、もう一度操作してください。	－

ご注意

プリセット発信時、ダイヤルを押しているときに着信があると、電話番号の表示が消え、ボタンの入力を受けつけなくなり発信ができなくなります。着信に応答するか、空いている外線ボタンを押したあとにダイヤルを入力して発信してください。

外線再捕捉をすぐに行なうとエラーとなることがあります。その時は、アンテナが表示されていることを確認してからかけ直してください。

外線着信時、他の電話機とほぼ同時に応答すると、外線ランプが一瞬緑点滅して、赤点灯になります。

主な仕様

	接続装置	デジタルコードレス電話機	充　電　器
電波の周波数	1.9GHz帯		―
送信出力	10mW		―
使用電源	主装置から給電	電池パック（リチウムイオン電池） ＤＣ3.7Ｖ	ＡＣアダプタ ※入力：AC100V、出力：DC8V
消費電力	―	―	充電時：約2.8VA以下
動作温度	0～40℃	0～40℃	5～35℃
相対湿度範囲	常温85%以下（結露なし）	常温85%以下（結露なし）	常温85%以下（結露なし）
使用可能時間 （満充電時）	―	連続通話時：約5時間 連続待ち受け時間：約150時間※1	―
満充電完了時間	―	約3.5時間	―
寸法 （幅Ｘ高さＸ奥行） （単位mm）	約126Ｘ43Ｘ154 （アンテナを除く）	約40Ｘ123Ｘ19 （アンテナを除く）	約60Ｘ41Ｘ66
質量（重量）	約308g	約74g（電池パックを含む）	約34g（ACアダプタを除く）

※1 通話をしないで電源が入った状態で、正常に電波を受信できている場合の平均的な時間です。
それ以外（圏外の場合など）は短い時間となります。

- **本製品を分解したり、改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行なわないでください。**

- **本製品は外国為替および外国貿易管理法で定められた戦略物資・技術に該当します。本製品を輸出するとき、または国外に持ち出すときは、日本国政府の輸出許可が必要です。**

株式会社 田村電機製作所
本社　〒153-8923　東京都目黒区下目黒 2-2-3

この資料の内容は平成14年９月現在のものです。

●お問い合わせ、ご用命は ――――

ご購入年月日	**年　　月　　日**
ご購入店名	
	TEL.

605BT	01Z-4	K

4270064000
この資料は再生紙を使用しています。